

**日野病院組合 日野病院**

**事業年報**  
**(平成23年度)**

# 巻 頭 言

## 平成23年度日野病院組合日野病院事業年報発刊によせて

平成23年度は、4月1日に江府町との間で介護老人保健施設あやめの2度目の指定管理契約を結ぶことから始まりました。あやめは平成18年の開設以来、この地域の福祉・介護を支える重要な施設に成長してきました。しかし、開設時に比較して、介護報酬が削減されたり、人材確保の困難さが格段に厳しくなるなど、運営面での困難さが増しています。高齢化が進む当地域であやめが担う役割は今後さらに大きくなると思われます。関係各位のご支援ご協力を切にお願いする次第です。

4月26日には大谷副病院長の指導のもとに編成された災害医療支援チームが東日本大震災後の石巻市に出向きました。メンバーはリーダーの大谷副病院長以下、小村看護局長、佐々木看護師長、川上医事課長の4人でした。与えられた責務をしっかりと果たし、無事帰還しました。

5月12日の看護の日には、小村看護局長の発案で看護師があいきょう安達商事の移動販売車に同行し、各地区で広報活動や保健指導を行うというユニークな試みが行われました。その後、この試みは「看護の宅配便」と命名され、日野病院の定期的な活動に発展しました。小村看護局長の元には多くのマスクミや自治体から問い合わせが寄せられ、「看護の宅配便」は全国的に注目される活動となりました。

以上のようなすばらしい業績を上げた大谷副病院長と小村看護局長のお二人には、日野病院職員表彰を授与いたしました。

平成22年度が大震災の年であったとすると、本年度は台風の年でした。特に、9月4日に鳥取県を北上した台風12号は紀伊半島を中心に記録的な大雨をもたらしました。今後もこのような大規模災害の発生が予想されるため、10月12日には「震度6の地震が発生し、病院の建物には被害はないが停電・断水状態である」という想定で災害訓練を実施しました。さまざまな課題が明らかとなり、訓練を継続する重要性が認識されました。

本年度は残念な出来事で終わりを迎えました。大谷副病院長が当院を退職し、小児外科准教授として鳥取大学へ帰られることになったのです。平成17年から6年8ヶ月の長きにわたり当地域の外科診療を支えていただいたことに心からお礼を申し上げますとともに、先生の今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

病院長 檀田 豊

# 日野病院の基本理念

平成8年3月策定

- 1 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す。
- 2 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める。



疾病統計（入院患者）	疾病別（大分類）・診療科別統計 疾病別・診療科・男女別統計 疾病別・年齢階層別・男女別統計 疾病別・在院期間別・男女別統計 上位疾病別統計
部門別統計	手術件数・内視鏡検査・超音波診断検査 薬局状況・放射線室状況・理学療法状況 言語聴覚療法状況・訪問リハビリ状況 栄養管理室状況・検査室状況・訪問看護 状況・訪問入浴状況・人工透析状況 検診実施状況・居宅支援(介護・予防)状況 メディカルソーシャルワーカー活動状況

### 3、業績

誌上発表

学会等発表（出席）

### 4、新聞記事

### 5、広報誌 せせらぎ

日野病院組合だよりせせらぎ 第4 1号（平成2 3年5月発行）

日野病院組合だよりせせらぎ 第4 2号（平成2 3年9月発行）

日野病院組合だよりせせらぎ 第4 3号（平成2 4年1月発行）

### 編集後記

# 1、概 要

## 主な出来事

平成 23 年

- 4 月 1 日 新規採用職員オリエンテーション  
あやめの指定管理契約の締結（継続、3 年間）  
遠隔放射線画像診断の導入
- 4 月 26 日 東日本大震災被災地支援チームの派遣
- 5 月 12 日 看護の日イベント（あいきょう安達商事の移動販売車に同行）
- 7 月 16 日 ねう祭りに参加
- 7 月 29 日 夕涼みイベント
- 8 月 22 日 玉井嗣彦名誉病院長が白内障手術千人達成記念感謝状を構成 3 町  
（日野町、江府町、伯耆町）の町長から贈呈
- 8 月 29 日 平成 22 年度日野病院組合事業会計決算認定  
病院 3 事業：収益的収支で 108,361 千円の黒字、資金収支で 92,896  
千万円の黒字  
介護老人保健事業：収益的収支で 11,156 千円の黒字、資金収支で  
11,214 千円の黒字
- 10 月 12 日 院内災害対策訓練の実施
- 11 月 1 日 開院記念イベント
- 11 月 11 日 檀田 豊病院長が医療福祉功勞により日野町表彰を受賞
- 12 月 10 日 クリスマスイベント
- 12 月 28 日 仕事納め

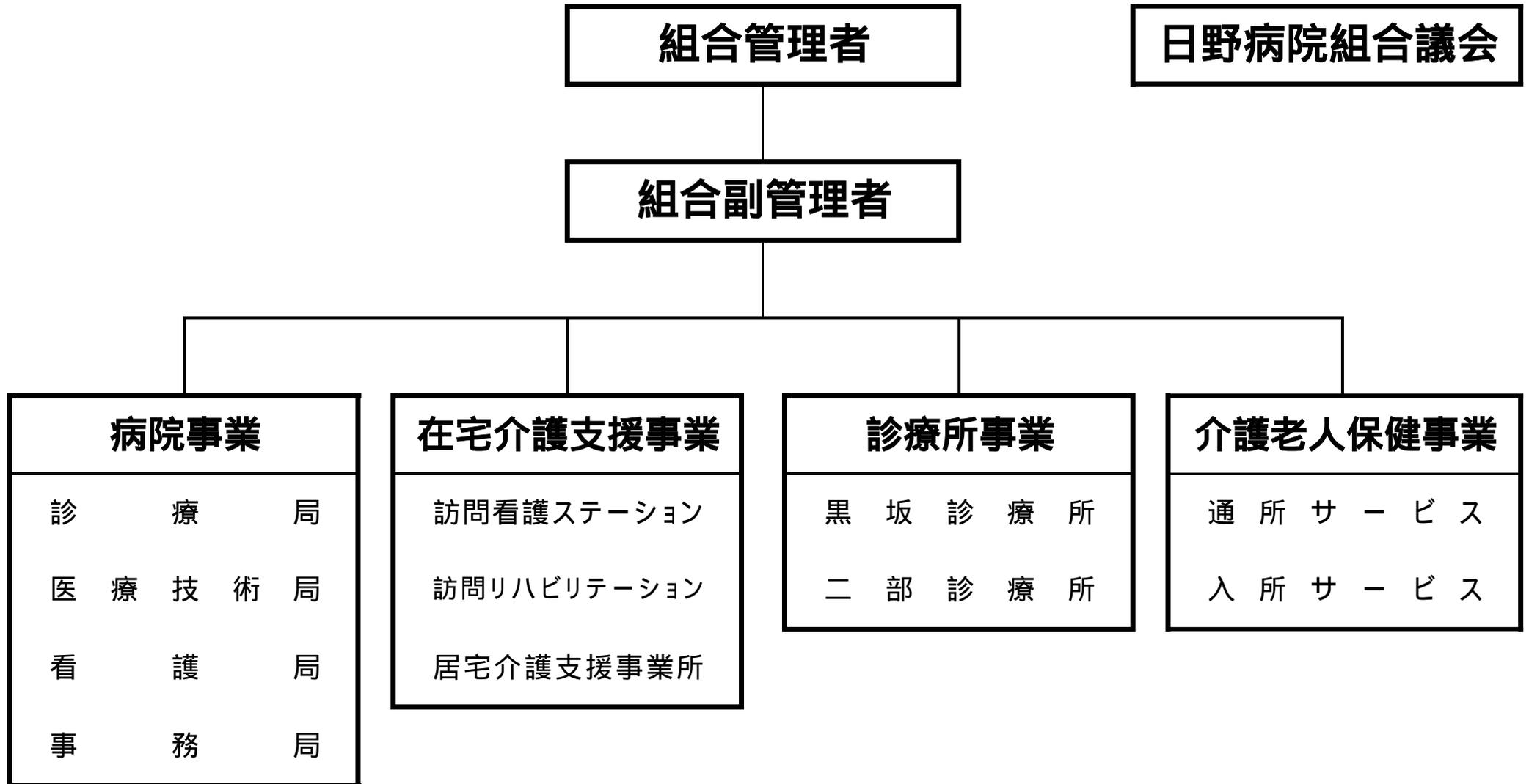
平成 24 年

- 1 月 4 日 仕事始め
- 2 月 1 日 へき地医療拠点病院に指定
- 3 月 30 日 大谷眞二副病院長、小村裕美子看護局長が日野病院職員表彰を受賞
- 3 月 31 日 大谷眞二副病院長辞職  
松田泰彦先生黒坂診療所勤務を辞す

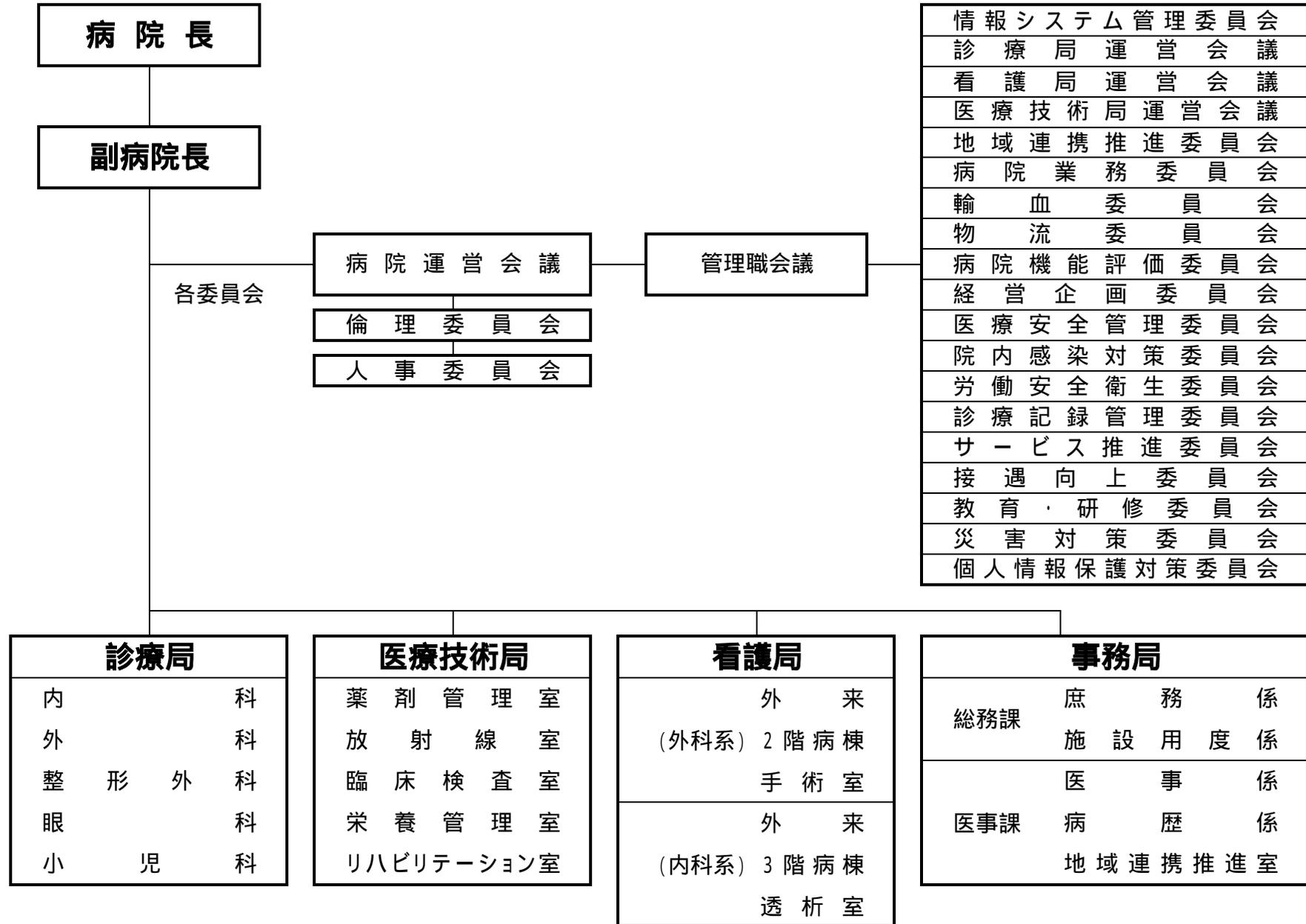
へき地医療拠点病院：へき地診療所等への代診医等の派遣、へき地の医療従事者に対する研修、遠隔診療支援等の診療支援事業等が実施可能な病院。数年にわたりへき地診療所（黒坂診療所、日野病院組合二部診療所）へ医師を派遣した実績などが評価され、指定を受けた。県内で日野病院以外に指定を受けたのは鳥取県立中央病院と鳥取大学医学部附属病院のみである。

# 組織図

# 日野病院組合組織図(平成24年3月現在)



# 日野病院組織図(平成24年3月現在)



病院長

副病院長

病院運営会議

倫理委員会

人事委員会

管理職会議

- 情報システム管理委員会
- 診療局運営会議
- 看護局運営会議
- 医療技術局運営会議
- 地域連携推進委員会
- 病院業務委員会
- 輸血委員会
- 物流委員会
- 病院機能評価委員会
- 経営企画委員会
- 医療安全管理委員会
- 院内感染対策委員会
- 労働安全衛生委員会
- 診療記録管理委員会
- サービス推進委員会
- 接遇向上委員会
- 教育・研修委員会
- 災害対策委員会
- 個人情報保護対策委員会

診療局	
内科	科
外科	科
整形外科	科
眼科	科
小児科	科

医療技術局	
薬剤管理室	
放射線室	
臨床検査室	
栄養管理室	
リハビリテーション室	

看護局	
外来 (外科系)	2階病棟
	手術室
外来 (内科系)	3階病棟
	透析室

事務局	
総務課	庶務係 施設用度係
医事課	医事係 病歴係 地域連携推進室

# 施設の状況

## 施設規模等

- (1) 病床数 99床(一般74床・亜急性期25床)
- (2) 病室数 51部屋(1人部屋35、4人部屋16)
- (3) 敷地面積 11,045.27m<sup>2</sup>
- (4) 延べ床面積 8,247.16m<sup>2</sup>
- (5) 建設費 31億1,209万9千円

<主な内訳>	建築費	23億6,250万円
	用地費及び補償費	1億8,254万7千円
	医療機器及び備品購入費	4億2,195万6千円
<財源内訳>	補助金	5億2,791万1千円
	病院事業債	25億6,610万円
	一般財源	1,808万8千円

## 主な医療機器

気管支ファイバースコープ	十二指腸ファイバースコープ
大腸ファイバースコープ	画像診断用超音波装置
MRI装置	レーザーメス
長時間心電図分析装置	生化学自動分析装置
血液ガス測定装置	脳波計
人工腎臓装置	人工呼吸器
マンモグラフィー装置	手術用顕微鏡
上部消化管ファイバースコープ	骨塩定量測定装置
ヘリカルCT装置(16列)	光凝固装置

## 施設基準

一般病棟入院基本料 10 : 1 (99床)

薬剤管理指導料

麻酔管理料

ペースメーカー移植術・ペースメーカー交換術(電池交換を含む)

検体検査管理加算( )

入院時食事療養費( )

呼吸器リハビリテーション科( )

療養環境加算

運動器リハビリテーション科( )

脳血管疾患等リハビリテーション科( )

栄養管理実施加算

電子化加算

小児科外来診療科

褥瘡患者管理加算

診療録管理体制加算

無菌製剤処理加算

重症者等療養環境特別加算

救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算

医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術

地域連携診療計画退院時指導料

ニコチン依存症管理料

亜急性期入院医療管理料(25床)

(指定等) 生活保護法指定医療機関

救急告示病院

結核予防法指定医療機関

労災保険指定医療機関

原爆被爆者一般疾病医療機関

病院群輪番制病院

へき地医療拠点病院

# 日野病院組合議会開催状況

## 平成23年度日野病院組合議会開催状況

会議名	開催年月日	議案	内容
臨時会	H23.6.3	第10号 第11号	職員の給与に関する条例の一部改正について 地方公益企業法施行令第24条の3の規定に基づく欠損の処理について
定例会	H23.8.29	第12号 第13号	平成22年度日野病院組合病院事業会計決算の認定について 平成23年度日野病院組合診療所事業会計補正予算(第1号) 議案以外の協議・報告事項 平成23年度 病院事業等決算見込み及び今後の推計について 平成23年度 介護老人保健施設事業決算見込み及び今後の推計について 職員住宅共用部分(駐車場等)整備に係る負担金について 二部方面及び二部診療所の送迎変更(デマンド方式)について(7月~) 電話による内科受付の開始について(7月11日~) 外来インフォメーションシステムの導入について(待ち時間対策)
定例会	H23.11.25	第14号	日野病院組合監査委員の選任について 議案以外の協議・報告事項 平成23年度 病院事業等決算見込み及び今後の推計について 平成23年度 介護老人保健施設事業決算見込み及び今後の推計について 電子カルテ導入事業について 新たな地域医療再生計画に係る該当事業について 日野病院中長期計画(H24~H28)について 直近の経営状況について
定例会	H24.2.29	第1号 第2号 第3号 第4号 第5号 第6号 第7号 第8号 第9号	日野病院組合個人情報保護条例の一部改正について 平成23年度日野病院組合病院事業会計補正予算(第1号) 平成23年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第1号) 平成23年度日野病院組合診療所事業会計補正予算(第2号) 平成23年度日野病院組合介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号) 平成24年度日野病院組合病院事業会計予算 平成24年度日野病院組合在宅介護支援事業会計予算 平成24年度日野病院組合診療所事業会計予算 平成24年度日野病院組合介護老人保健施設事業会計予算 議案以外の協議・報告事項 平成23年度 日野病院組合病院事業等の決算見込みについて 平成23年度 日野病院組合介護老人保健施設事業の決算見込みについて 平成24年度 日野病院組合各事業の概況及び今後の推計について 日野病院組合職員の異動及び採用について 日野病院中長期計画(H24~H28)について

# 職員の状況

## 部署別職員数 (平成24年3月31日現在)

### (1) 病院事業

- ・診療局 常勤医師9名 (うち嘱託医師1名)  
(内科4名、小児科1名、外科2名、整形外科1名、眼科1名)

- ・看護局 77名 (人)

区分	看護師			准看護師			看護助手			合計			ク ラ イ ク
	正職	嘱託	臨時	正職	嘱託	臨時	正職	嘱託	臨時	正職	嘱託	臨時	
看護局長	1									1			
外来	3	2			1					3	3		2
2階病棟	14			6	2	1	1	4		21	6	1	1
3階病棟	19			4	4		1	5		24	9		1
手術室	1			2			1			4			
透析室	1									1			
合計	39	2		12	7	1	3	9		54	18	1	4

- ・医療技術局 26名  
臨床検査室 3名 (臨床検査技師 3名)  
薬剤管理室 4名 (薬剤師 3名、嘱託事務 1名)  
放射線室 3名 (診療放射線技師 2名、診療エックス線技師 1名)  
リハビリテーション室 14名  
(理学療法士 8名 (うち在宅介護支援事業所兼務 2名)、作業療法士 2名、言語聴覚士 2名 (うち在宅介護支援事業所兼務 2名)、マッサージ師 1名、看護助手 1名)  
栄養管理室 2名 (管理栄養士 2名)

- ・事務局 17名  
事務局長 1名  
総務課 7名 (うち嘱託職員 2名)  
医事課 9名 (うち嘱託職員 5名)

### (2) 在宅介護支援事業所

- ・所長 1名 (病棟と兼務)
- ・看護師 3名 (嘱託職員 1名)
- ・理学療法士 2名 (病院と兼務)
- ・作業療法士 1名 (病院と兼務)

- ・言語聴覚士 2名（病院と兼務）
- ・介護支援専門員 3名（嘱託職員2名）
- ・事務職員 1名（嘱託職員）

### （3）診療所事業

- ・医師 2名（病院と兼務）
- ・看護師 1名（病院と兼務）
- ・事務職員 1名（病院と兼務）

### 年度別職員数推移（平成24年3月31日現在）

#### 病院事業 (人)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
診療局		8	10	8	8	8	9
看護局		67	66	67	74	74	77
医療技術局	薬剤	4	4	4	4	4	4
	栄養	2	2	2	2	2	2
	検査	3	4	3	3	3	3
	放射線	3	3	3	2	3	3
	リハビリ	9	11	12	13	13	14
事務局		15	16	19	19	18	17
合 計		111	116	118	125	125	129

#### 在宅介護支援事業所 (人)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
医師（病院と兼務）	1	1	1	1	1	0
看護職（病院と兼務含）	7	7	5	5	5	4
リハビリ（病院と兼務）	2	2	2	4	4	5
事務職	2	2	2	4	4	4
合 計	12	12	10	14	14	13

### 職員の表彰（平成23年度中）

受賞年月日	職 員 名	職 名	表 彰 名
平成23年8月22日	玉井 嗣彦	名誉病院長	白内障手術千人達成記念感謝状贈呈
平成23年11月11日	檀田 豊	病院長	日野町表彰
平成24年3月30日	大谷 眞二	副病院長	日野病院職員表彰
平成24年3月30日	小村 裕美子	看護局長	日野病院職員表彰

# 経営状況

平成23年度日野病院組合決算(事業別内訳)

収益の収支

(単位:千円)

区分	病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所			(イ)+(ロ)+(ハ)	22年度	増減
			計(ハ)	黒坂	二部			
医療収益								
入院収益	795,516		0			795,516	784,437	11,079
外来収益	308,719		4,685	4,292	393	313,404	320,491	7,087
室料差額収益	25,643		0			25,643	25,313	330
保健予防活動収益	23,380		546	507	39	23,926	24,545	619
その他医療収益	18,267		2	2		18,269	18,283	14
事業間負担金	13,691		0			13,691	9,794	3,897
計	1,185,216		5,233	4,801	432	1,190,449	1,182,863	7,586
介護サービス収益								
介護サービス収益		51,221	0			51,221	49,602	1,619
計	0	51,221	0	0	0	51,221	49,602	1,619
医療外収益								
預金利息	270		0			270	0	270
国県等補助金	38,234		0			38,234	38,967	733
負担金交付金	311,326	13,870	18,737	11,324	7,413	343,933	332,183	11,750
負担金交付金(本部費)	429		0			429	429	0
その他医療外収益	5,580		0			5,580	16,034	10,454
計	355,839	13,870	18,737	11,324	7,413	388,446	387,613	833
収益合計	1,541,055	65,091	23,970	16,125	7,845	1,630,116	1,620,078	10,038
医療費用								
給与費	801,472	44,153	0			845,625	838,471	7,154
退職給与金(繰延資産)(A)			0			0	0	0
退職給与引当金(通常)	55,900		0			55,900	55,250	650
退職給与引当金(追加分)			0			0	47,000	47,000
材料費	231,678		528	504	24	232,206	228,200	4,006
経費	81,459	1,396	531	311	220	83,386	77,119	6,267
委託費	113,212	244	1,758	1,757	1	115,214	108,711	6,503
減価償却費(B)	108,728	879	292		292	109,899	101,340	8,559
資産減耗費			0			0	0	0
資産減耗費(現金を伴わない)(C)			0			0	907	907
研究研修費	6,074	87	0			6,161	5,552	609
本部費	429		0			429	429	0
事業間負担金		6,951	6,740	4,388	2,352	13,691	9,794	3,897
計	1,398,952	53,710	9,849	6,960	2,889	1,462,511	1,472,773	10,262
医療外費用								
企業債償還金(利子)・支払利息	35,871		33		33	35,904	36,657	753
その他医療外費用	2,414		0			2,414	2,287	127
その他医療外費用(現金を伴わない)(D)			0			0	0	0
計	38,285	0	33	0	33	38,318	38,944	626
予備費								
予備費			0			0	0	0
費用合計	1,437,237	53,710	9,882	6,960	2,922	1,500,829	1,511,717	10,888
収益の収支(決算額)	103,818	11,381	14,088	9,165	4,923	129,287	108,361	20,926
年度末累積欠損金・累積剰余金	114,678	47,413	59,274			7,991	137,278	129,287

資本的収支

区分	病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所			(イ)+(ロ)+(ハ)	22年度	増減
			計(ハ)	黒坂	二部			
企業債補助金	36,200		0			36,200	120,100	83,900
補助金	2,053		0			2,053	0	2,053
貸付金償還	66		0			66	66	0
資本的収入計	38,319	0	0	0	0	38,319	120,166	81,847
建設改良費								
固定資産購入費	38,699		593	593		39,292	125,339	86,047
企業債償還金	126,522		1,360		1,360	127,882	111,339	16,543
貸付金	2,400		0			2,400	1,200	1,200
奨学金貸付金								
資本的支出計	167,621	0	1,953	593	1,360	169,574	237,878	68,304
資本的収支	129,302	0	1,953	593	1,360	131,255	117,712	13,543

(単年度資金収支)

0

現金を伴わない費用(A)+(B)+(C)+(D)	108,728	879	292	0	292	109,899	102,247	7,652
単年度資金収支	83,244	12,260	12,427	8,572	3,855	107,931	92,896	15,035

資金不足負担金発生までの額	現金預金等残高(引当金除)(A)	年度末流動負債残高(B)	資金不足負担金発生までの額((A)-(B))	
	563,738	100,810	462,928	357,694
			105,234	

退職給与引当金残高	前年度引当金残高	退職給与引当金	退職給与金	引当金残高
	163,166	55,900	3人	19,442
				199,624
				36,458

## 平成23年度日野病院組合事業会計決算（概略）



### 1、退職手当引当金の実施について

平成19年度から実施している退職給与引当てについて、平成23年度は通常率(165/1000)による引当て55,900千円を実施した。

3名の退職者に対し総額19,442千円の退職給与金の支払いを行い、残高は199,624千円となった。

### 2、不採算地区病院及びへき地医療に対する交付税措置について

普通交付税については、1床あたりに対する措置額が増加したため、3,848千円の増となり、全体で201,331千円の措置額となった。

特別交付税については、平成19年度から不採算地区病院の対象となっており、また平成20年度からはへき地医療に対する措置も対象となっている。措置額は158,922千円となった。

交付税措置額は、全体で11,031千円の増額となった。

### 3、在宅介護支援事業について

訪問看護収益については、延べ利用者数が75人減少したことにより1,071千円の減収となったが、訪問リハビリ事業は利用者数が345人増加したため2,758千円の増収、居宅支援収益は21件増加したものの、68千円の減収となり、全体では1,619千円の増収となった。

### 4、診療所事業について

黒坂診療所は松田先生の協力をいただき月・水・金曜日の週3日、二部診療所については火曜日のみの週1日の診療日で診療所事業を行ったが、患者数が188人減少したため591千円の減収となった。

### 5、単年度資金収支について

平成23年度単年度資金収支(現金)は、107,931千円増加した。この額が運転資金(留保資金)に追加されることになる。

### 6、負担金(追加分)発生の状況について

平成20年度に構成町の負担金(追加分)について支出の条件を、単年度資金収支の減による補てん(赤字補てん)から、運転資金(留保資金)不足の補てんへ変更した。このことにより、留保資金が病院の運営をしていく上での運転資金(資金不足額)を下回った場合に限り、その額を負担金(追加分)として受けることになった。

したがって、仮に単年度において単年度資金収支(留保資金)が減少しても、運転資金を下回らない限り構成町からの負担金(追加分)が発生することはなくなった。

平成23年度末時点で、資金不足発生までの額は462,928千円となり、当分の間負担金(追加分)は発生することはない状況である。

### 7、日野病院安定経営プラン(公立病院改革プラン)の評価について

日野病院は平成20年度に「日野病院安定経営プラン」を策定。

プランの内容は、最近の日野病院の経営状況から経営を改善するための改革プランではなく、日野病院が今後この地域にあってどのような役割を担い、どのような病院を目指すべきかを示し、それを行うために安定的な経営を維持するための経営計画を再考したプランとしている。

プランの評価については、決算の公表により行うこととしている。

## 8、看護の宅配便事業について

地域へ出かけていくことで、日野病院がより身近な相談窓口となるため、また、日野病院の医療・看護を地域住民目線で考え、看護の質を高める機会とするため、看護の日のイベントをきっかけに看護の宅配便事業を実施した。（平成23年度は、7月から毎月1回実施し、計9回79箇所、延べ人数251名の住民の方と接することができた。）

実施の内容については、「あいきょう」の訪問販売車と一緒に町内へ出かけ、買い物に訪れた住民の方への声かけや健康相談とともに、時期にあわせたチラシを作成し、熱中症や食中毒、インフルエンザ予防等の注意喚起をおこなった。

この活動は、テレビや新聞等各種マスコミに取り上げられ、鳥取県内はもとより全国にも発信する事業となった。

また、平成23年10月に東京で行われた「全国自治体病院学会」において、それぞれの角度から見た事業の分析2例の研究発表を行った。



（看護の宅配便の様子 江府町洲河崎にて）

## 9、外来インフォメーションシステム導入について

各診療科の壁に設置していた番号表示について、診療科の近くにいないと進行状況を把握することができなかつたため、その場を離れることができず待ち時間が更に長く感じられる状況となっていた。

外来インフォメーションシステムを導入したことにより、外来待合ロビー以外（食堂や外来待合棟等）でも、各診療科（最大9診療科）の進行状況を確認することができるようになった。

また、病院からの各種案内（診察医師の変更やイベント等の案内）についても、ポスター等を掲示するだけでは周知不足の事案も生じていたが、病院からのインフォメーション等を、事務室からパソコンに入力することで画面に表示することができるようになり、緊急を要する案内等も即時に行うことが可能となった。

診察進行状況やインフォメーションが不要のディスプレイについては、各ディスプレイの設定でテレビに切り替えることが可能なため、診察がはじまるまでの時間に現在の場所（救急外来前と受付横）以外でもテレビを見ることも可能となり、患者サービスの向上につながった。

### 1、ディスプレイ設置場所（計8台）

外来待合ロビー（4台）・リハビリ室・食堂・外来待合棟  
事務室（モニター用）

### 2、番号入力機器（計10台）

各診察室（10台）

平成24年08月21日(火曜日)		10時10分			
内科1	5	外科	6	女性診	4
榎田		佐藤		秦	
—		整形	11	小児科	1
—		谷田		頭本	
内科3	12	眼科	8	皮膚科	13
佐々木		玉井		伊東	

本日の診療科及び担当医師と、各診療科の進行状況を受付番号で表示しています（診療科によっては番号を表示しない科がありますのでご注意ください）

（ディスプレイ表示画面）

(総括)

平成23年度決算について、外来患者数は1,610人の減少、入院患者数は131人減少となったため、医業収支(減価償却費等を除く)は、平成22年度と比較し19,231千円の減となった。しかし、不採算地区病院やへき地医療に対する負担金の増加等により、収益的収支は129,287千円の黒字決算となり、平成19年度決算(23,845千円)、平成20年度決算(27,904千円)、平成21年度決算(94,614千円)、平成22年度決算(108,361千円)に続き、5年連続の黒字決算を計上することができた。

各事業の内訳は、病院事業が103,818千円の黒字(24,237千円増)、在宅介護支援事業が11,381千円の黒字(2,222千円減)、診療所事業が14,088千円の黒字(1,089千円減)となっている。

累積欠損金の状況について、平成18年度において最高599,583千円であった累積欠損金が、平成23年度末で7,991千円となった。

今後、剰余金が発生する状況となれば減価基金等の積立てを行い、更なる経営の安定化を図る予定である。

単年度資金収支は107,931千円の増額で、資金不足による構成町からの追加負担金の発生までの額は462,928千円となり、引き続き安定経営を行うことができている。

退職給与引当金の残高については、平成23年度末で199,624千円となり、当面の目標であった200,000千円をほぼ確保できた状況である。

しかし、今後は退職予定者が多数見込まれているため、残高の確保に努める必要がある。

患者数の減少が継続している状況や負担金(交付税)の動向を踏まえ、日野病院の機能(病床のあり方や病床数等)について今後検討していく必要がある。

# 医業収支について

平成23年度の決算の中から、収入については構成町からの負担金・補助金等、支出については起債償還額等を除いた医業収支については…

医業収支…診療報酬等を収入とし、医業にかかる給与費・経費等を支出とした収支（平成19年度から実施している退職給与引当ては、本来は給与費として医業収支に含めるべきものであるが、前年度との比較を分かりやすくするため、この表においては除外している。）

**収益は、病院事業（外来・入院）、診療所事業、在宅事業（訪問看護）とも患者数が減少したが、入院診療単価の増と、在宅事業（訪問リハ）の利用者数の増により、全体で5,308千円の増収となった。**

**費用は、人件費、経費、材料費、委託費等とも増加したため、全体で24,539千円の増となった。**

**結果、平成22年度と比較し19,231千円の収支の減となった。**

## （医業収入）

病院事業について、外来患者数は41,893人となり、平成22年度と比較し1,610人の減となった。1人あたりの診療単価は7,383円となり186円増加したが、収益は6,496千円の減収となった。

入院患者数は26,631人で、平成22年度と比較し131人減少したが1人あたりの診療単価は30,248円となり、300円増加したため収益は11,079千円の増収となった。

診療所事業については、黒坂診療所、二部診療所とも患者数の減少により、収益は591千円の減収となった。

在宅介護支援事業については、訪問看護利用者は75人の減少となったが、訪問リハビリ利用者の増加により1,619千円の増収となった。

その他の医業収益については、室料差額は330千円の増、ドック検診活動による保健予防活動収益は619千円の減、文書料等によるその他収益は14千円の減となった。

## （医業費用）

職員給与費については7,154千円の増となった。（退職給与引当金除くまた、材料費が4,006千円の増、経費が6,267千円の増、また委託費が6,503千円の増となり、全体で24,539千円の増となった。

## 平成23年度決算 医業収支(介護・診療所)年度比較表

(収益)

(単位:千円)

内訳	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引	備 考	
外来収益	病院	320,586	332,869	304,773	320,706	309,136	315,063	315,215	308,719	6,496	年間外来患者数 41,893人(1人あたり 7,383円)
	在宅	42,846	52,800	44,512	35,935	35,698	47,758	49,602	51,221	1,619	訪問看護16,923千円・訪問リハビリ19,882千円・居宅介護等14,416千円
	診療所	504	5,140	4,879	5,400	8,575	6,062	5,276	4,685	591	黒坂(4,292千円)・二部(393千円)
入院収益	859,317	821,200	775,986	788,250	769,926	843,754	784,437	795,516	11,079	年間入院患者数 26,631人(1人あたり30,248円)	
室料差額	36,875	34,632	30,840	30,055	27,028	27,847	25,313	25,643	330		
保健予防	32,677	24,144	24,406	25,559	23,782	30,900	24,545	23,926	619	ドック・各種検診	
その他	13,847	13,867	12,820	12,952	16,743	17,163	18,283	18,269	14	文書料・あいご指導料等	
計(A)	1,306,652	1,284,652	1,198,216	1,218,857	1,190,888	1,288,547	1,222,671	1,227,979	5,308		

(費用)

(単位:千円)

内訳	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引	備 考
給与費	832,164	825,904	756,266	748,930	765,375	814,170	838,471	845,625	7,154	
退職給与金等	26,210	35,039	142,922	91,974	87,955	123,765	102,250	55,900	46,350	給与費 * 165/1000
材料費	259,608	243,509	225,476	249,847	232,142	270,647	228,200	232,206	4,006	
経費	103,962	93,630	76,010	75,981	78,208	76,716	77,119	83,386	6,267	消耗品・光熱水費等
委託費	125,632	122,457	110,874	107,408	104,852	109,140	108,711	115,214	6,503	給食・寝具・検査委託等
減価償却費等	301,311	150,329	134,909	110,461	100,956	105,455	102,247	109,899	7,652	減価償却費(109,899千円)・資産減耗費(0千円)
その他	6,007	3,982	3,546	4,027	4,193	5,150	5,981	6,590	609	研究研修費(6,161千円)・本部費(429千円)
計(B)	1,654,894	1,474,850	1,450,003	1,388,628	1,373,681	1,505,043	1,462,979	1,448,820	14,159	

(収支)

(単位:千円)

内訳	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引	備 考
計(A) (B)	348,242	190,198	251,787	169,771	182,793	216,496	240,308	220,841	19,467	医業収益計(A) 医業費用計(B)
(前年度との比較)	-	158,044	61,589	82,016	13,022	33,703	23,812	19,467		

\* 医業収支以外の主なもの

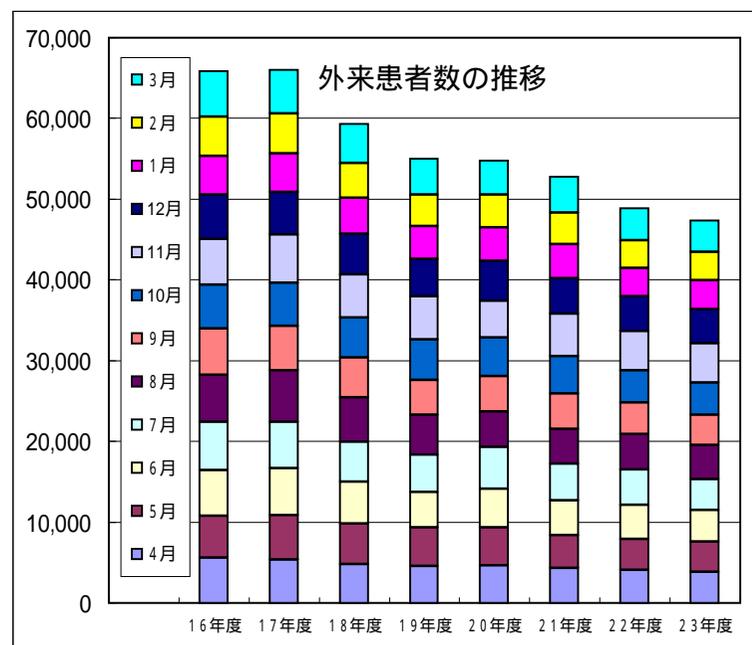
(単位:千円)

(収入)	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引	備 考
負担金	162,916	169,099	182,794	202,261	218,825	313,784	332,612	344,362	11,750	交付税措置額(不採算地区病院・へき地医療含む)・本部費(429千円)
補助金	23,489	23,319	42,552	41,218	40,990	38,620	38,967	38,234	733	建設費にかかる支払利子の1/2・輪番制補助金
(支出)	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引	備 考
起債償還等	174,462	189,732	142,499	126,056	129,792	135,149	147,996	163,786	15,790	元金 127,882千円・利子 35,904千円・一時借入金利子 0千円

(外来患者数の推移)

(単位:人)

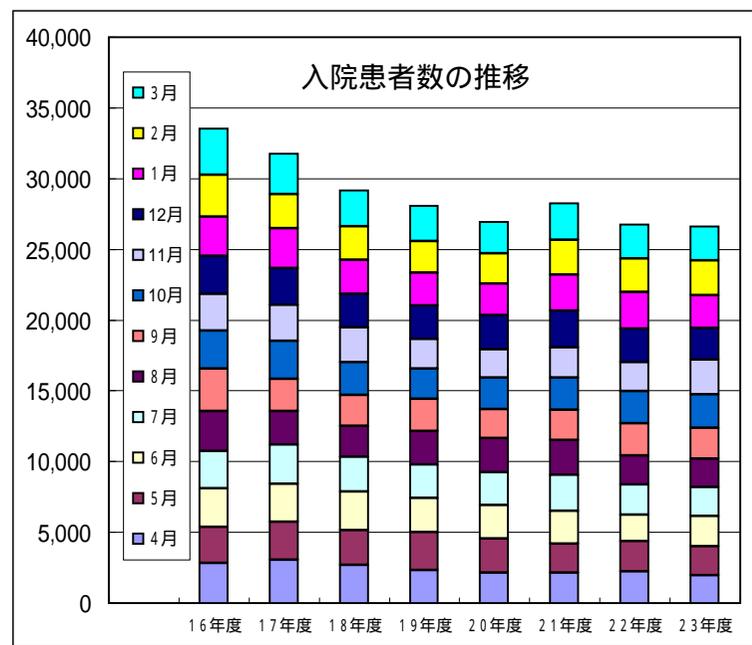
患者数	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
4月	5,599	5,369	4,750	4,522	4,629	4,342	4,073	3,806	267
5月	5,201	5,445	5,028	4,780	4,718	4,050	3,855	3,780	75
6月	5,659	5,828	5,194	4,405	4,730	4,288	4,216	3,889	327
7月	5,917	5,726	4,959	4,655	5,179	4,536	4,334	3,807	527
8月	5,820	6,396	5,524	4,924	4,400	4,299	4,376	4,214	162
9月	5,748	5,528	4,945	4,330	4,418	4,399	3,974	3,792	182
10月	5,436	5,368	4,901	4,980	4,735	4,612	3,932	3,984	52
11月	5,660	5,940	5,323	5,339	4,616	5,274	4,904	4,850	54
12月	5,492	5,232	5,058	4,663	4,944	4,414	4,297	4,252	45
1月	4,835	4,827	4,430	4,011	4,082	4,157	3,511	3,542	31
2月	4,807	4,949	4,346	3,926	4,058	3,935	3,415	3,540	125
3月	5,700	5,416	4,866	4,447	4,289	4,449	3,967	3,870	97
計	65,874	66,024	59,324	54,982	54,798	52,755	48,854	47,326	1,528



(入院患者数の推移)

(単位:人)

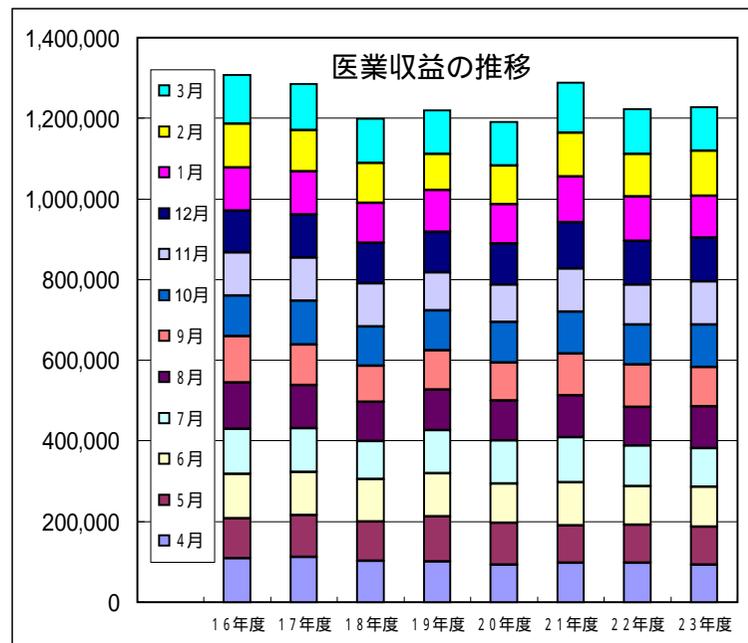
患者数	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
4月	2,806	3,065	2,701	2,314	2,149	2,158	2,233	1,960	273
5月	2,563	2,660	2,456	2,671	2,406	2,041	2,132	2,056	76
6月	2,709	2,689	2,736	2,454	2,340	2,304	1,872	2,129	257
7月	2,683	2,796	2,453	2,338	2,359	2,559	2,134	2,062	72
8月	2,819	2,359	2,166	2,352	2,387	2,450	2,062	2,006	56
9月	2,992	2,277	2,179	2,303	2,053	2,161	2,284	2,172	112
10月	2,658	2,661	2,351	2,122	2,230	2,266	2,252	2,363	111
11月	2,609	2,553	2,435	2,126	2,014	2,128	2,035	2,436	401
12月	2,669	2,589	2,359	2,325	2,393	2,571	2,379	2,246	133
1月	2,799	2,815	2,424	2,355	2,235	2,568	2,583	2,304	279
2月	2,936	2,434	2,355	2,197	2,136	2,452	2,373	2,487	114
3月	3,297	2,870	2,557	2,500	2,225	2,603	2,423	2,410	13
計	33,540	31,768	29,172	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	131



(収益の推移)

(単位:千円)

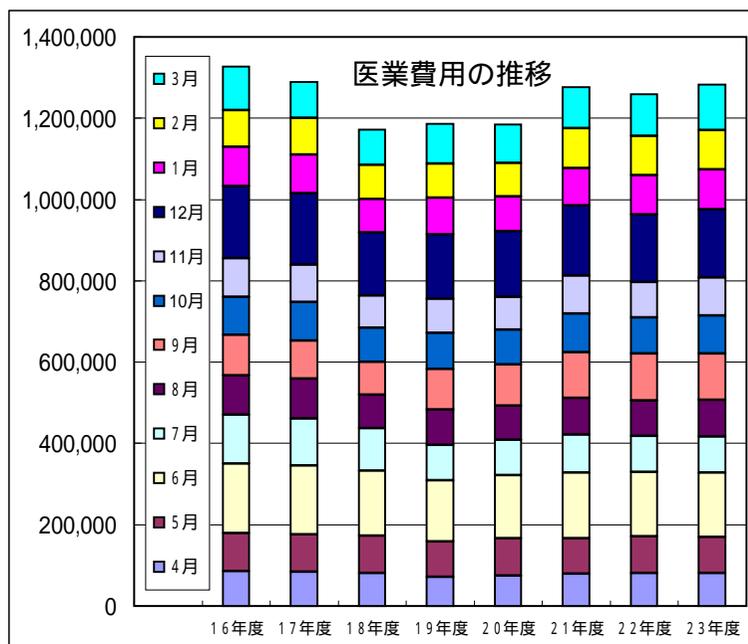
収益	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
4月	108,050	112,119	101,890	99,881	91,893	96,799	97,222	93,129	4,093
5月	99,487	103,423	98,274	112,525	104,315	92,480	94,933	93,323	1,610
6月	110,169	106,353	105,148	106,685	97,832	107,721	94,857	99,813	4,956
7月	111,348	109,822	94,254	107,544	106,994	111,804	100,710	95,533	5,177
8月	115,654	105,643	97,405	100,296	98,338	103,986	96,379	103,533	7,154
9月	114,201	100,903	89,425	97,191	93,858	103,118	104,669	98,115	6,554
10月	101,340	108,545	97,387	98,426	101,600	103,635	99,669	104,143	4,474
11月	106,103	108,007	105,766	95,240	92,625	108,052	97,871	108,031	10,160
12月	104,430	105,422	101,110	99,879	102,124	115,017	109,497	107,397	2,100
1月	107,416	107,024	98,980	103,921	97,724	113,249	109,363	104,209	5,154
2月	108,014	102,955	99,838	89,362	95,433	108,316	106,083	112,044	5,961
3月	120,441	114,436	108,739	107,907	108,152	124,049	111,418	108,709	2,709
計	1,306,653	1,284,652	1,198,216	1,218,857	1,190,888	1,288,226	1,222,671	1,227,979	5,308



(費用の推移)

(単位:千円)

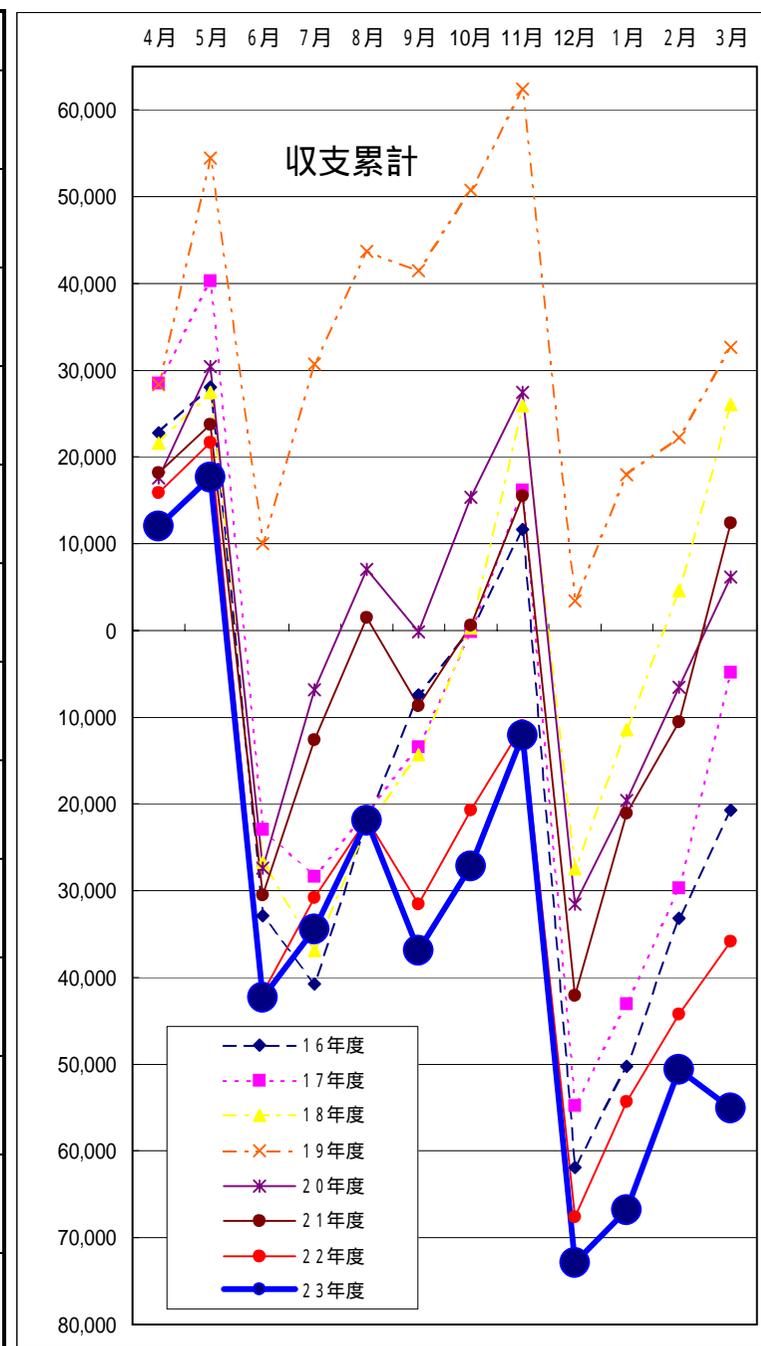
費用	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
4月	85,258	83,617	80,309	71,533	74,291	78,617	81,334	81,080	254
5月	94,245	91,622	92,432	86,445	91,471	86,941	89,124	87,717	1,407
6月	171,063	169,628	159,308	151,121	155,669	161,942	158,360	159,770	1,410
7月	119,265	115,213	104,428	86,826	86,463	93,921	89,738	87,686	2,052
8月	96,822	98,283	83,040	87,285	84,455	89,883	87,267	90,964	3,697
9月	99,673	93,340	81,184	99,424	101,027	113,308	114,517	113,095	1,422
10月	93,886	95,288	82,783	89,167	86,110	94,328	88,825	94,450	5,625
11月	94,489	91,666	80,170	83,580	80,512	93,135	88,133	92,950	4,817
12月	177,946	176,333	154,433	158,862	161,136	172,614	166,105	168,168	2,063
1月	95,760	95,353	82,957	89,378	85,800	92,276	96,127	98,122	1,995
2月	91,010	89,593	83,803	85,084	82,330	97,735	95,935	95,861	74
3月	107,956	89,546	87,325	97,488	95,506	101,117	103,017	113,158	10,141
計	1,327,373	1,289,482	1,172,172	1,186,193	1,184,770	1,275,817	1,258,482	1,283,021	24,539



(収支の推移)

(単位:千円)

収支	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
4月	22,792	28,502	21,581	28,348	17,602	18,182	15,888	12,049	3,839
5月	5,242	11,801	5,842	26,080	12,844	5,539	5,809	5,606	203
6月	60,894	63,275	54,160	44,436	57,837	54,221	63,503	59,957	3,546
7月	7,917	5,391	10,174	20,718	20,531	17,883	10,972	7,847	3,125
8月	18,832	7,360	14,365	13,011	13,883	14,103	9,112	12,569	3,457
9月	14,528	7,563	8,241	2,233	7,169	10,190	9,848	14,980	5,132
10月	7,454	13,257	14,604	9,259	15,490	9,307	10,844	9,693	1,151
11月	11,614	16,341	25,596	11,660	12,113	14,917	9,738	15,081	5,343
12月	73,516	70,911	53,323	58,983	59,012	57,597	56,608	60,771	4,163
1月	11,656	11,671	16,023	14,543	11,924	20,973	13,236	6,087	7,149
2月	17,004	13,362	16,035	4,278	13,103	10,581	10,148	16,183	6,035
3月	12,485	24,890	21,414	10,419	12,646	22,932	8,401	4,449	12,850
計	20,720	4,830	26,044	32,664	6,118	12,409	35,811	55,042	19,231



# 平成23年度 外来患者(介護・診療所含)分析(請求ベース)

(単位:人)

収益

(単位:千円)

患者数	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引	稼動	平均
4月	5,599	5,369	4,750	4,522	4,629	4,342	4,073	3,806	267	22	173.0
5月	5,201	5,445	5,028	4,780	4,718	4,050	3,855	3,780	75	21	180.0
6月	5,659	5,828	5,194	4,405	4,730	4,288	4,216	3,889	327	24	162.0
7月	5,917	5,726	4,959	4,655	5,179	4,536	4,334	3,807	527	22	173.0
8月	5,820	6,396	5,524	4,924	4,400	4,299	4,376	4,214	162	24	175.6
9月	5,748	5,528	4,945	4,330	4,418	4,399	3,974	3,792	182	22	172.4
10月	5,436	5,368	4,901	4,980	4,735	4,612	3,932	3,984	52	22	181.1
11月	5,660	5,940	5,323	5,339	4,616	5,274	4,904	4,850	54	22	220.5
12月	5,492	5,232	5,058	4,663	4,944	4,414	4,297	4,252	45	21	202.5
1月	4,835	4,827	4,430	4,011	4,082	4,157	3,511	3,542	31	21	168.7
2月	4,807	4,949	4,346	3,926	4,058	3,935	3,415	3,540	125	22	160.9
3月	5,700	5,416	4,866	4,447	4,289	4,449	3,967	3,870	97	23	168.3
計	65,874	66,024	59,324	54,982	54,798	52,755	48,854	47,326	1,528	266	177.9

病院	訪問	診療所
27,112	4,192	367
25,577	4,054	475
25,703	4,066	442
25,786	4,232	336
27,535	4,534	428
24,775	4,464	376
26,342	4,412	423
25,440	4,386	434
25,488	4,440	403
24,905	3,924	229
24,008	4,237	389
26,617	4,280	383
309,288	51,221	4,685

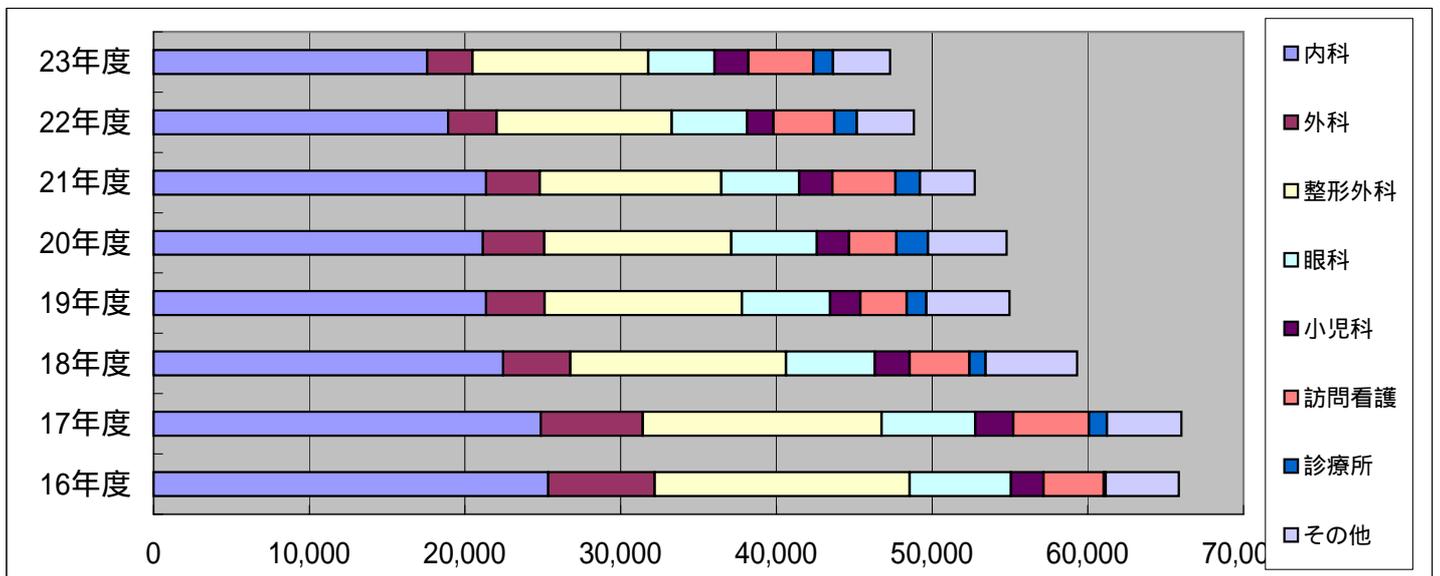
(内訳)

(単位:人)

(単位:千円)

診療科	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引	稼動	平均
内科	16,081	18,198	19,464	18,602	18,405	18,328	16,242	14,928	1,314	266	56.1
循環器内科	1,746	997	842	727	616	810	922	770	152	25	30.8
消化器内科	960	712	803	712	818	955	851	868	17	49	17.7
脳神経内科	6,550	4,953	1,334	1,307	1,300	1,261	900	1,010	110	48	21.0
外科	5,797	5,960	3,803	3,302	3,497	3,078	2,751	2,580	171	254	10.2
脳神経外科	258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
整形外科	16,380	15,350	13,855	12,683	12,019	11,640	11,251	11,302	51	253	44.7
心臓血管外科	797	597	528	463	456	386	367	326	41	23	14.2
眼科	6,508	6,018	5,703	5,654	5,488	5,006	4,832	4,255	577	234	18.2
耳鼻咽喉科	1,151	950	917	845	922	727	698	760	62	47	16.2
泌尿器科	1,660	1,462	1,505	1,391	1,350	1,304	1,438	1,495	57	46	32.5
皮膚科	594	479	466	430	476	522	565	451	114	22	20.5
婦人科	483	566	285	445	174	167	78	68	10	24	2.8
小児科	2,076	2,443	2,220	1,955	2,069	2,142	1,702	2,161	459	266	8.1
心療科	538	951	828	756	653	716	799	766	33	49	15.6
アレルギー科	112	90	64	62	93	88	107	153	46	266	0.6
居宅管理	194	298	1,824	1,415	1,394	0	0	0	0	0	
訪問看護	3,873	4,858	3,854	2,967	3,043	4,051	3,912	4,182	270	338	12.4
黒坂診療所	116	1,142	1,029	1,042	1,814	1,442	1,311	1,157	154	138	8.4
二部診療所	0	0	0	224	211	132	128	94	34	49	1.9
計	65,874	66,024	59,324	54,982	54,798	52,755	48,854	47,326	1,528	-	-

収益	診療単価	備考
156,854	10,507	月～土
5,365	6,968	火(隔週)
6,494	7,482	水
5,439	5,385	木
21,081	8,171	月～第4土
0	0	
53,721	4,753	月～第2土
2,601	7,979	第2・4土
21,131	4,966	月～金
2,828	3,721	木
21,623	14,464	月
1,533	3,399	第2・4土(12月まで)
363	5,338	金(月2回)
6,295	2,913	月～土
3,558	4,645	水
402	2,627	月～土
0	0	火～金
51,221	12,248	随時
4,291	3,709	月・水・金
394	4,191	火
365,194	7,717	



# 平成23年度 入院患者分析 (請求ベース)

(単位:人)

患者数	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引	稼働	平均	稼働率 (%)	平均在院日数
4月	2,806	3,065	2,701	2,314	2,149	2,158	2,233	1,960	273	30	65.3	66.0	16.2
5月	2,563	2,660	2,456	2,671	2,406	2,041	2,132	2,056	76	31	66.3	67.0	15.9
6月	2,709	2,689	2,736	2,454	2,340	2,304	1,872	2,129	257	30	71.0	71.7	16.0
7月	2,683	2,796	2,453	2,338	2,359	2,559	2,134	2,062	72	31	66.5	67.2	16.6
8月	2,819	2,359	2,166	2,352	2,387	2,450	2,062	2,006	56	31	64.7	65.4	15.6
9月	2,992	2,277	2,179	2,303	2,053	2,161	2,284	2,172	112	30	72.4	73.1	15.4
10月	2,658	2,661	2,351	2,122	2,230	2,266	2,252	2,363	111	31	76.2	77.0	14.9
11月	2,609	2,553	2,435	2,126	2,014	2,128	2,035	2,436	401	30	81.2	82.0	15.7
12月	2,669	2,589	2,359	2,325	2,393	2,571	2,379	2,246	133	31	72.5	73.2	15.0
1月	2,799	2,815	2,424	2,355	2,235	2,568	2,583	2,304	279	31	74.3	75.1	15.4
2月	2,936	2,434	2,355	2,197	2,136	2,452	2,373	2,487	114	29	85.8	86.6	15.8
3月	3,297	2,870	2,557	2,500	2,225	2,603	2,423	2,410	13	31	77.7	78.5	16.0
計	33,540	31,768	29,172	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	131	366	72.8	73.5	-

(内訳)

(単位:人)

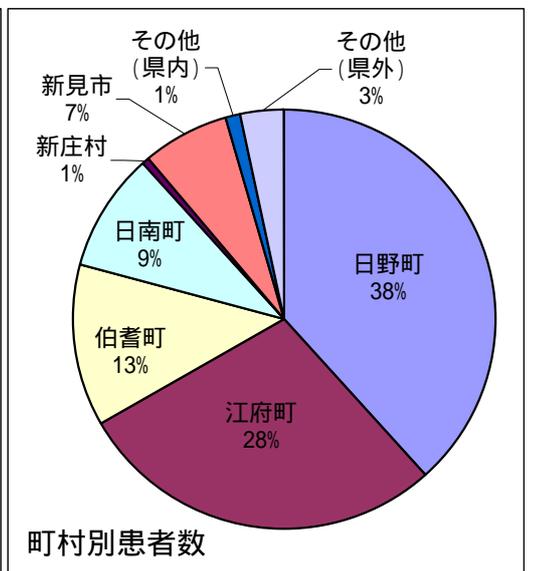
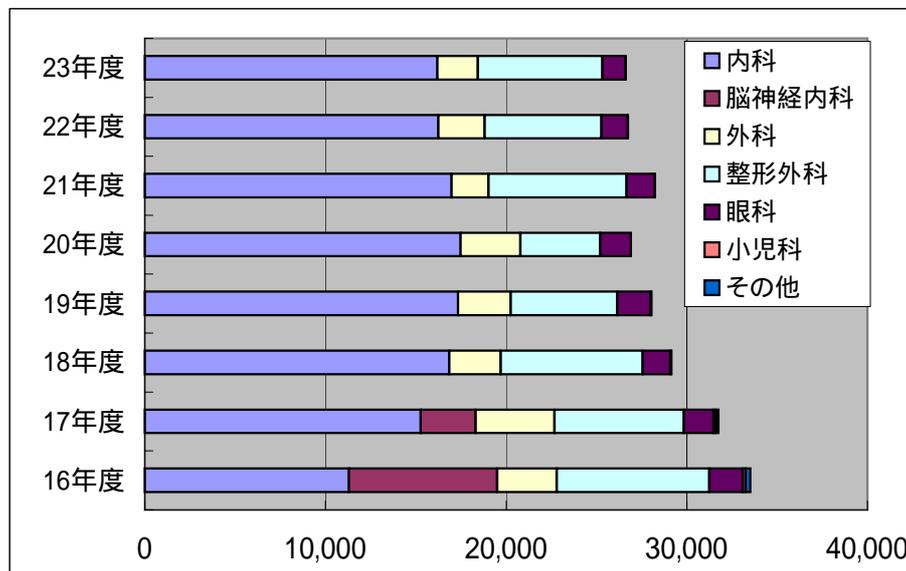
(単位:千円)

診療科	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引	稼働	平均	収益 (千円)	単価 (円)
内科	11,296	15,274	16,847	17,330	17,481	16,977	16,256	16,204	52	366	44.3	445,010	27,463
脳神経内科	8,206	3,048	0	0	0	0	0	0	0	366	0.0	0	0
外科	3,297	4,365	2,854	2,929	3,316	2,048	2,563	2,236	327	366	6.1	77,413	34,621
整形外科	8,450	7,152	7,859	5,904	4,411	7,655	6,464	6,895	431	366	18.8	230,941	33,494
眼科	1,855	1,636	1,533	1,842	1,706	1,566	1,467	1,291	176	366	3.5	52,005	40,283
小児科	165	152	79	52	13	15	12	5	7	366	0.0	167	33,400
その他	271	141	0	0	0	0	0	0	0	366	0.0		0
計	33,540	31,768	29,172	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	131	366	72.8	805,536	30,248
平均患者数	91.9	87.0	79.9	76.7	73.8	77.4	73.3	72.8	平成18年8月以前(一般病床101床・療養病床16床)				
稼働率	78.5	74.4	76.1	77.4	74.5	78.2	74.1	73.5	平成18年8月以後(一般病床99床)				

(内訳)

(単位:人・%)

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町(小計)	日南町	新庄村	新見市	その他(県内)	その他(県外)	構成町以外(小計)	合計
延患者数	10,211	7,549	3,337	21,097	2,426	143	1,811	260	894	5,534	26,631
割合(%)	38.3	28.3	12.5	79.2	9.1	0.5	6.8	1.0	3.4	20.8	100.0



## 施設・設備等整備状況

## 施設・設備等整備状況

### 1、施設

購入物件(整備事業名)	契約金額	契約年月日	契約の相手方
黒坂診療所外部標識・看板設置工事	593,250 円 (内消費税 28,250円)	平成23年8月31日	株式会社先本組

### 2、設備

購入物品名	契約金額	契約年月日	契約の相手方
清拭車	173,250 円 (内消費税 8,250円)	平成23年5月18日	村中医療器(株)
エアーマット(2台)	220,500 円 (内消費税 10,500円)	平成23年5月18日	村中医療器(株)
シェーバーシステム	1,703,730 円 (内消費税 81,130円)	平成23年5月18日	村中医療器(株)
マイクロカプセル剪刀	152,250 円 (内消費税 7,250円)	平成23年5月18日	小西医療器(株)
超音波・内視鏡DICOM接続	5,670,000 円 (内消費税 270,000円)	平成23年5月25日	東芝メディカルシステムズ(株)
レセプト電算システム	472,500 円 (内消費税 22,500円)	平成23年5月30日	(株)ケイズ
医療機器管理システム	388,500 円 (内消費税 18,500円)	平成23年8月1日	宮野医療器(株)
イリゲーションシステム	624,750 円 (内消費税 29,750円)	平成23年8月9日	村中医療器(株)
調剤注射支援統合システム	16,275,000 円 (内消費税 775,000円)	平成23年9月15日	(株)ユヤマ
外来インフォメーションシステム	2,961,000 円 (内消費税 141,000円)	平成23年10月3日	オフィスオートメーションシステム(株)
昇降式平行棒	330,750 円 (内消費税 15,750円)	平成23年11月9日	村中医療器(株)
ベッドサイドモニタ	1,186,500 円 (内消費税 56,500円)	平成23年11月9日	村中医療器(株)
セントラルモニタ	2,047,500 円 (内消費税 97,500円)	平成23年11月9日	村中医療器(株)
非常用発電機(2台分)	356,000 円 (内消費税 16,952円)	平成24年1月6日	鳥取西部農協日野農機自動車センター
自動血球計数装置	5,890,500 円 (内消費税 280,500円)	平成24年1月31日	成和産業(株)

# 委員会活動状況

## 日野病院委員会(ワーキング)構成表

番号	会議・委員会	ワーキング
	管理者会議	幹事会
1	病院運営会議	人事委員会 倫理委員会
2	管理職会議	
3	情報システム管理委員会	
4	診療局運営会議	
5	看護局運営会議	看護助手会議
6	医療技術局運営会議	リハビリ運営委員会 放射線室運営委員会 検査室運営委員会 栄養管理委員会 薬剤管理室運営委員会
7	地域連携推進委員会	
8	病院業務委員会	外来業務委員会 病棟運営委員会 手術室運営委員会 透析室運営委員会
9	輸血委員会	
10	物流委員会	薬事審議委員会 SPD委員会 委託業者連絡委員会 医療機器購入検討委員会
11	病院機能検討委員会	医師負担軽減対策委員会
12	経営企画委員会	保険診療委員会 クリニカルパス委員会 褥瘡委員会・NST委員会 がん対策委員会 ドック検診委員会
13	医療安全管理委員会	医薬品安全管理委員会 医療機器安全管理委員会 医療機器安全管理委員会 診療記録開示検討委員会
14	院内感染対策委員会	ICT委員会
15	労働安全衛生委員会	
16	診療記録管理委員会	電子カルテ導入検討委員会
17	サービス推進委員会	
18	接遇向上委員会	
19	教育・研修委員会	図書委員会
20	災害対策委員会	
21	個人情報保護対策委員会	

## 1. 病院運営会議

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第62回	H23.4.20	7名	委員会・ワーキングの編成(委員委嘱)及び要綱の変更(確認)について(5月～) 平成22年度委員会・ワーキングの活動報告のまとめについて 平成22年度部門別目標の評価及び平成23年度部門別目標の提出について 平成22年度決算見込みについて 死亡診断書の確認について(お願い) 5月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 職員の駐車場所について 鳥取県医師会JMATによる日野病院チーム派遣について(4/26～29) 看護の日イベントについて 病室テレビの地上デジタル対応交換作業について
第63回	H23.5.26	7名	日野病院組合議会臨時会の開催について(6/3) 平成22年度決算状況について 平成22年度部門別各種統計数値の確認について 中長期計画の策定について 電子カルテ導入について 病院機能評価認定更新について 6月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 日野病院・日野町住民座談会の開催について 日野病院組合議会議員の決定について 鵜の池マラソン協力にについて 介護相談コーナー開始について 看護学生対象アルバイト募集について PACSのおしどりネット接続について 日野病院倫理委員会要綱の変更について
第64回	H23.6.23	6名	各部門別中長期計画(基本方針に基づく計画)について 職員の夏期休暇について 看護宅配便の実施について 7月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 鳥取県情報ハイウェイ接続について 二部方面の送迎変更について(デマンド方式) 空調の設定温度について(病室25・共用部分28) 黒坂診療所看板及び案内板設置について 液体酸素タンク設置について 訪問診察患者からの診察依頼について 夕涼み会の開催について(7/29) 鵜の池マラソン協力体制にについて 平成22年度病院事業等決算及び平成21年度鳥取県公営事業会計 (病院事業)の決算状況について
第65回	H23.7.21	6名	日野病院組合議会定例会の開催について(8/29) 会計検査院実地検査における指摘事項について 外来インフォメーションシステムの導入について 当直体制の変更について 8月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 夕涼み会の開催について(7/29) 鵜の池マラソン協力体制にについて 1日食品相談窓口の実施について
第66回	H23.8.25	6名	9月1日付辞令交付について

			<p>外来診察の変更について(10月1日～)  職員説明会の開催について(9/7・9)  インフルエンザ予防接種の実施について  患者さまの声について  その他 医療監視の実施について(9/21予定)  地域医療学講座の学生受け入れについて</p>
第67回	H23.9.22	6名	<p>外来診察の変更について(10月31日～)  日野病院災害対策訓練の実施について(10/12)  送迎バスの運行について(上菅・新庄村方面)  インフルエンザ予防接種について  皮膚科診察中止について(平成24年1月～)  10月1日付辞令交付について  患者さまの声について  その他 液体酸素タンク設置について  職員グラウンドゴルフ大会の開催について(10/15)  人権学習研修会の開催について(10/3～7)  管理栄養士(嘱託)の募集について  鹿島病院と松江日赤病院との連携について(10/26視察実施)  外来インフォメーションシステムの導入について(10月～)  地域医療学講座の学生受け入れについて</p>
第68回	H23.10.27	7名	<p>日野町の医療・介護・健康を考える住民座談会の開催について(11/4)  日野病院中長期計画(H24～28)(案)について  平成22年度年報について  黒坂診療所の送迎について  11月1日付辞令交付について  患者さまの声について  その他 開院記念イベントの開催について  熊野医師の研修について  日野病院組合議会の開催について(11/25)  せせらぎ発行について  新たな地域医療再生計画内示について  外来インフォメーションシステムの稼動について(10月31日)  日野町表彰受賞について(院長)</p>
第69回	H23.11.25	5名	<p>厚生局施設基準等にかかる適時調査(11/7実施)の結果について  平成24年度当初予算要求について  人事評価の実施について  日野病院組合議会定例会について(11/25)  12月1日付辞令交付について  患者さまの声について  その他 日野町の医療・介護・健康を考える住民座談会の開催について(11/29)  消防避難訓練の実施について(11/30)  クリスマスイベント及び職員互助会忘年会の開催について(12/10)</p>
第70回	H23.12.16	6名	<p>負担金(地方交付税)の確定について  奨学生の募集について  日野病院表彰規定について(職員表彰)  皮膚科(第2・4土曜日)休止に伴う診療体制の検討について  仕事納め(12/28)及び仕事始め(1/4)について  1月1日付辞令交付について  患者さまの声について  その他 婦人科の診療体制について(平成24年4月～)  訪問リハ時のカルテ取扱いについて</p>
第71回	H24.1.27	7名	<p>日野病院職員表彰の推薦について  日野病院組合議会定例会の開催について(2/29開催予定)  医療機器購入検討委員会の結果について  日野病院中長期計画(H24～28)について  病院機能評価の受審について  2月1日付辞令交付について  患者さまの声について  その他 平成24年度医師及び外来診察の変更について(1/27現在)</p>

			平成24年度自治医科大学卒業医師の派遣について 平均在院日数について 光熱水費の増について
第72回	H24.2.24	6名	医師及び外来診察体制の変更について 平成24年4月1日付け人事異動について 2012診療報酬改定の対応について(研修会3/26予定) 3月1日付辞令交付について 地域医療研修医の受け入れについて 患者さまの声について その他 日野病院組合議会对応(電子カルテ導入)について 病床(療養病床)及び透析業務拡充の検討について 看護師募集について(ポスター作成) 緊急入院患者の状況について 日野病院職員表彰について 大谷副病院長送別会実施について JA生命保険加入時の検査医委託について 胃がん及び大腸がん検診の対応について 子ども予防接種週間(3/1~7)の実施について 待ち時間調査・満足度調査・患者アンケート実施について
第73回	H24.3.23	6名	3月31日及び4月1日の辞令交付について 外来診察の変更について 平成24年度各委員会及びワーキングの編成について 平成23年度部門別目標の評価及び平成24年度部門別目標の提出について 患者さまの声について その他 新入職員オリエンテーションの実施について 職員表彰について(3/30) 診療報酬改定研修会について(3/26) 平成23年度決算見込みについて

## 2. 管理職会議 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H23.4.25	13名	(1)3月末経営概況について (2)3月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)5月1日付人事異動について (5)平成22年度年報作成に係る委員会活動及び業績等の入力について (6)委員会・ワーキングの編成及び業績等の入力について (7)平成22年度部門別目標の評価及び平成23年度部門別目標の提出について (8)平成22年度決算見込みについて (9)死亡診断書の確認について (10)患者様の声について (11)その他 ・病室テレビ入替等について ・新たな義肢装具会社算入について
第2回	H23.5.30	13名	(1)4月末経営概況について (2)4月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)6月1日付人事異動について (5)日野病院組合議会臨時会の開催について (6)平成22年度決算状況について (7)平成22年度部門別各種統計数値の確認について (8)患者様の声について (9)その他 ・日野病院・日野町住民座談会の開催について
第3回	H23.6.29	10名	(1)5月末経営概況について (2)5月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)7月1日付人事異動について (4-2)夏期におけるエアコン温度設定について (5)部門別中長期計画について (6)職員の夏期休暇について (7)看護の宅配便の実施について (8)患者様の声について (9)その他 ・二部地区の送迎及び二部診療所の送迎について ・鵜の池マラソンの対応について ・液化酸素ボンベの設置について
第4回	H23.7.27	11名	(1)6月末経営概況について (2)6月分各種統計について (3)各種委員会の議事録について (4)日野病院組合議会定例会の開催について (5)会計検査院実地検査における指摘事項について (6)8月1日付人事異動について (7)事務当直体制の変更について (8)患者様の声について (9)その他 ・日野病院夕涼み会の開催について ・鵜の池マラソンの協力体制について ・1日食品相談窓口の実施について
第5回	H23.8.30	8名	(1)7月末経営概況について

			<ul style="list-style-type: none"> <li>(2)7月分各種統計について</li> <li>(3)各種委員会の議事録について</li> <li>(4)9月1日付人事異動について</li> <li>(5)外来診察の変更について</li> <li>(6)職員説明会の実施について</li> <li>(7)インフルエンザ予防接種の実施について</li> <li>(8)医療監視の実施について</li> <li>(9)患者様の声について</li> </ul>
第6回	H23.9.28	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)8月末経営概況について</li> <li>(2)8月分各種統計について</li> <li>(3)各種委員会の議事録について</li> <li>(4)10月1日付人事異動について</li> <li>(5)外来診察の変更について</li> <li>(6)日野病院災害対策訓練の実施について</li> <li>(7)インフルエンザ予防接種の実施について</li> <li>(8)皮膚科の中止について</li> <li>(9)患者様の声について</li> <li>(10)その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・液体酸度タンクの設置について</li> <li>・職員グラウンドゴルフ大会の開催について</li> <li>・人権研修会の開催について</li> <li>・外来インフォメーションシステムの導入について</li> <li>・地域医療学講座の実施について</li> </ul> </li> </ul>
第7回	H23.10.31	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)9月末経営概況について</li> <li>(2)9月分各種統計について</li> <li>(3)各種委員会の議事録について</li> <li>(4)11月1日付人事異動について</li> <li>(5)日野病院組合議会定例会の開催について</li> <li>(6)日野町の医療、介護、健康を考える住民座談会の開催について</li> <li>(7)人事評価の実施について</li> <li>(8)患者様の声について</li> <li>(9)その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開院記念イベントについて</li> <li>・外来インフォメーションシステムについて</li> <li>・中国厚生局監査について</li> <li>・県病院協会西部支部定例会の議事報告</li> <li>・新たな地域医療再生計画について連絡事項</li> <li>・日野町表彰式について</li> </ul> </li> </ul>
第8回	H23.11.30	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)10月末経営概況について</li> <li>(2)10月分各種統計について</li> <li>(3)各種委員会の議事録について</li> <li>(4)12月1日付人事異動について</li> <li>(5)人事評価について</li> <li>(6)中国厚生局施設基準等に係る適時調査の結果について</li> <li>(7)平成24年度当初予算要求について</li> <li>(8)患者様の声について</li> </ul>
第9回	H23.12.27	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)11月末経営概況について</li> <li>(2)11月分各種統計について</li> <li>(3)各種委員会の議事録について</li> <li>(4)1月1日付人事異動について</li> <li>(5)仕事納め式及び仕事始め式について</li> <li>(6)看護師奨学生の募集について</li> <li>(7)日野病院職員表彰規程について</li> </ul>

第10回	H24.1.31	11名	<p>(8)患者様の声について</p> <p>(1)12月末経営概況について</p> <p>(2)12月分各種統計について</p> <p>(3)各種委員会の議事録について</p> <p>(4)2月1日付人事異動について</p> <p>(5)日野病院組合議会定例会の開催について</p> <p>(6)医療機器導入検討委員会の結果について</p> <p>(7)日野病院中長期計画について</p> <p>(8)患者様の声について</p> <p>(9)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度医師及び外来診察の変更について</li> <li>・平成24年度自治医科大学卒業医師の派遣について</li> <li>・卒後臨床プログラム研修医師の受入について</li> <li>・職員の表彰について</li> </ul>
第11回	H24.2.28	13名	<p>(1)1月末経営概況について</p> <p>(2)1月分各種統計について</p> <p>(3)各種委員会の議事録について</p> <p>(4)3月1日付人事異動について</p> <p>(5)卒後臨床プログラム研修医師の受入について</p> <p>(6)医師及び外来診療体制の変更について</p> <p>(7)日野病院組合議会定例会の開催について</p> <p>(8)平成24年4月1日付人事異動</p> <p>(9)平成24年度診療報酬改定について</p> <p>(10)患者様の声について</p> <p>(11)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急入院患者数について</li> </ul>
第12回	H24.3.27	11名	<p>(1)2月末経営概況について</p> <p>(2)2月分各種統計について</p> <p>(3)各種委員会の議事録について</p> <p>(4)3月31日及び4月1日付辞令交付について</p> <p>(5)外来診察の変更について</p> <p>(6)平成24年度各委員会及びワーキングの編成について</p> <p>(7)平成23年度部門別目標の評価及び平成24年度部門別目標の提出について</p> <p>(8)患者様の声について</p> <p>(9)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入職員オリエンテーションについて</li> </ul>

#### 4. 診療局会議

##### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.6.28	8名	夏季休暇についての説明 PACS導入について 入院カルテに挟める褥瘡診療計画書の運用について
第2回	H23.9.27	8名	松波医師来院について モーラステープ等の湿布の表記について 腹部CTのスライス厚についての依頼
第3回	H23.12.27	7名	急性期看護補助体制加算についての説明 CFを行う曜日の変更について
第4回	H24.1.24	9名	人事に関する報告 塩酸バンコマイシン、ハベカシン注、タゴシッド注の処方について
第5回	H24.2.8	9名	勤務医の賠償責任保険加入についての説明 HbA1cの検査結果について 血球計数器、アンモニア測定器変更についての報告 読影結果の所見を画面上で見れるようになったとの報告
第6回	H24.3.27	8名	入院患者の定期処方の処方日と服用開始日の統一についての説明 4月1日からの診療報酬改訂に伴い、外来患者の処方箋発行の変更について

## 5. 看護局運営会議

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.4.8	10名	平成23年度看護局運営方針 看護局各委員会活動について 目標管理スケジュール 「看護の日」イベントについて・東日本大震災義援バザーについて
第2回	H23.5.13	10名	「看護の日」イベント報告・東日本大震災義援バザー報告・JMAT活動報告 看護局各委員会活動活動計画 看護局慶弔規約の見直し 第31回鳥取県西部自治体病院看護部門懇談会開催について その他;「看護フェスタ」就職ガイダンスについて
第3回	H23.6.3	11名	「看護の宅配便」について 各委員会活動報告 職場体験実習について 各部署活動計画報告会(パワーポイントにてプレゼン)
第4回	H23.7.8	11名	各委員会活動報告 企画検討委員会(接遇向上マニュアル作成プロジェクト・申し送り検討プロジェクト・ 時間 外勤務時間短縮プロジェクト・「看護の宅配便」プロジェクト)活動報告 透析室業務に対するリリーフ体制について・訪問診察の兼務について
第5回	H23.8.12	11名	各委員会活動報告 「新人看護職員研修事業」受講者3名 新人教育ガイドライン作成完了 「鳥取県実践が活きる看護診断研究会」開催について・・・大会長(日野病院)
第6回	H23.9.8	11名	各委員会活動報告 緊急時連絡機能について 参画型の看護記録について
第7回	H23.10.14	8名	各委員会活動報告 イベント委員会報告・職能委員会報告 看護助手会議報告
第8回	H23.11.10	10名	各委員会活動報告 11/7厚生局監査指摘事項の改善について 住民座談会参加報告
第9回	H23.12.16	10名	各委員会活動報告 倫理カンファレンス実施について ポートフォリオの説明 鳥取県看護協会(社会経済福祉・医療安全委員会)報告
第10回	H24.1.13	9名	各委員会活動報告 倫理カンファレンス実施について 電子カルテシステム見学について(西伯病院) 職能委員会報告
第11回	H24.2.10	10名	各委員会活動報告 西伯病院見学報告 日野病院ブログ入力について 新人オリエンテーションについて・看護協会入会拡大について
第12回	H24.3.9	12名	平成23年度各委員会活動報告 平成23年度成果報告会(委員会部門・各部署部門)・・・パワーポイントにてプレゼン

## 活動報告

・平成23年度 看護局運営方針 スローガン: 出会えてよかったと思われる、あなたの看護力を 一歩前へ!!  
・看護局教育・研修プログラムの企画運営  
・鳥大コース研修会参加(糖尿病・救急・災害看護・感染対策・褥創ケア・がん看護)  
・JMAT化活動(4/26～4/29): 石巻へ看護師2名・医師1名・事務1名  
・西部自治体病院看護部門懇談会(6月・9月・1月)  
・鳥取県実践が活きる看護診断研究会11/19(土)大会長・ポスター1題  
・看護体験(日野高校3名;6/7～6/9・日野中学校4名;6/22～6/24・  
・米子北高等学校専攻科2年生(29名)学校訪問 就職ご案内プレゼン7/30(土)  
・学校訪問(新見県立大学)  
・就職ガイダンス(5/21)  
・「看護の宅配便」の実施  
・サマースクール参加者2名(鳥大保健学科4年生)8/29  
・「再チャレンジ教室」1名参加・・・1名採用  
・院内看護研究発表会  
・西部自治体病院看護研究発表会 2題発表  
・認定看護管理者コース;ファーストレベル2名・セカンドレベル1名合格(合計ファースト11名・セカンド2名)  
平成23年度「成果報告会」3/9

## (1) 看護助手会議

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.11	7名	メンバー紹介 平成23年度活動計画
第2回	H23.10.11	7名	各部署からの報告 病衣・寝具類の棚卸し報告
第3回	H24.3.12	10名	各部署からの報告 病衣・寝具類棚卸し報告 感染性汚染マットレスのクリーニングについて

## 活動報告

・寝具類棚卸し(10月・2月)  
・感染性汚染マットレスの提出方法をマニュアル化

## 6. 医療技術局会議

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.4.28	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告・平成22年度各WGのまとめ
第2回	H23.6.2	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告
第3回	H23.6.30	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、部門別中長期計画について
第4回	H23.7.28	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、医療監視について
第5回	H23.9.1	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、職員説明会の開催について
第6回	H23.9.29	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、災害対策訓練について
第7回	H23.11.2	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告
第8回	H23.12.1	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、24年度予算要求について
第9回	H23.12.28	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、日野病院職員表彰規程について
第10回	H24.2.2	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、高額医療機器の購入について
第11回	H24.3.1	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、外来診療体制の変更について
第12回	H24.3.29	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、来年度のワーキング編成について

### 活動報告

医療技術局内の医療機器の整備について各部門から意見を聞き整備を実施した  
薬剤部門システムの導入

## (1) 検査室運営委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.6.24	6名	委員会要綱見直し、平成23年度部門目標、収支報告、穿刺液検査オーダーについて
第2回	H23.11.30	5名	メーカーサーベイ、インフルエンザ検体輸送容器採用、AT 院内検査中止について
第3回	H24.2.24	6名	診療報酬改定、HbA1c 標記変更、平成23年度医師会臨床検査精度管理調査、血球計数器変更について
第4回	H24.4.27	6名	平成23年度部門目標評価、収支報告、検査項目別実施件数、平成24年度部門目標について

### 活動報告

- ・日本医師会精度管理調査参加
- ・鳥取医師会精度管理調査参加
- ・メーカーサーベイ参加(ニットウポー、協和メデックス、東ソー、バイエルメディカル)
- ・鳥取県臨床検査技師会主催の学会、勉強会に参加
- ・日本臨床検査技師会生涯教育研修課程修了(長尾)

## (2) 栄養管理室運営委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H.23.5.18	14名	身長・体重の入力もれについて 食器の使用について 半固形濃厚流動食リカバリーの採用について
第2回	H.23.8.3	12名	第8回栄養士地域連携会(5月25日開催)の報告 患者さんからの退院時の声
第3回	H.23.12.14	12名	施設基準の総括時指摘事項の報告 遅延食についての検討 患者さんからの退院時の声
第4回	H.24.2.22	13名	遅延食についての検討 朝食の食事提供時間について 患者さんからの退院時の声

### 活動報告

・院内栄養士会議を毎週開催し、入院患者の食事内容・残食量等を検討。  
・新入院患者全員の栄養スクリーニングを行い、多職種で栄養状態を検討。  
・日本病態栄養学会、日本静脈経腸栄養学会、栄養士会主催研修会、各種栄養関連研修会等への参加。  
・第8回栄養士地域連携会議を開催。  
日時:5月25日 18時00分～19時10分  
参加人数:5名  
内容:今回から日南病院も加わり、食事形態の情報交換、現状報告を行った。  
次回から日野郡の行政栄養士、あかねの郷栄養士の参加を呼びかけることとした。

## 7. 地域連携推進委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席人数	内容
第1回	H23.5.25	13名	(1) 昨年度運営状況 出張勉強ワーキング 健康教室ワーキング 延命治療を考える会(2) 平成23年度活動内容および目標
第2回	H23.6.15	8名	(1) 平成23年度活動内容 出張看護勉強ワーキング 出張リハビリ勉強ワーキング 延命治療を考えるワーキング(2) 退院援助依頼票について・退院フォローチャートの見直し・退院フォローチャートの見直し・介護老人保健施設あやめとの連携について
第3回	H23.8.12	8名	(1) 出張看護勉強ワーキング(2) 退院支援ツールの見直し(3) 介護老人保健施設あやめとの連携について
第4回	H23.10.5	5名	(1) 出張看護勉強ワーキング(2) 退院支援ツールの見直し(3)・訪問診察医師の訪問日程変更について・施設からの緊急時の日野病院への連絡について
第5回	H23.12.14	5名	(1) 出張看護勉強ワーキング(2) 退院支援ツールの見直し(3)・後期高齢者退院調整加算の算定について・電子カルテ導入にともなう地域連携関連マスターの作成
第6回	H23.1.18	4名	(1) 電子カルテ導入に伴う、地域連携関連マスターの作成(2) 後期高齢者退院調整加算の算定について
第7回	H23.2.22	3名	(1) 診療報酬改定について(2) 地域リハビリテーション協議会の報告
第8回	H23.3.29	4名	高齢者の服薬アドヒアランス不良への対応
第9回	H23.4.18	7名	(1) 診療報酬改定について・訪問診察点数・退院時共同指導、介護支援連携指導(医療・介護の連携)(2) 平成24年度出張看護勉強会(3) 入院中の患者に対する外泊時訪問看護利用について

### 活動報告

出張看護勉強会 (日野病院 あやめ)	H23.11.15開催: シャントケア、ストマケア、褥瘡ケア H23.12.21開催: 皮下輸液、PEG管理、栄養管理
平成24年度診療報酬改定	地域連携部門における新規算定について検討。
介護老人保健施設あやめとの 連携協議会	H23.6.16開催 H23.7.22開催
高齢者の 服薬アドヒアランス不良への対応	連携フロー作成
延命治療パンフレットの作成	懸樋医師作成
医療介護連携情報提供書作成	日野郡内の医療・福祉関係機関による協議にて修正。
退院支援専門ソーシャルワーク研	H23.10.1～10.2参加
日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会	H23.5.29～5.30参加

## 8. 病院業務委員会

### (1) 外来業務委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H23.5.13	8名	今年度の活動目標
第2回	H23.6.10	11名	電話での薬だけの受付は禁止 他院からのMR撮影の場合紹介状を持って行く
第3回	H23.7.8	8名	7月11日～内科のみ電話予約開始 受付時間は10時～11時まで再診で検査等ない人で内科のみの診察に限る。基本票の診療科の所に電話予約と記入 トイレの電気がセンサーになっています。 6月29日～エコー・内視鏡の画像がサーバーにとびます。
第4回	H23.8.12	6名	泌尿器科が予約制となる
第5回	H23.9.9	7名	内視鏡・エコーの画像もCDに入れられる
第6回	H23.10.14	8名	業務改善
第7回	H23.11.11	2名	業務改善
第8回	H23.12.9	3名	業務改善
第9回	H24.1.13	7名	業務改善
第10回	H24.2.10	7名	業務改善
第12回	H24.3.9	6名	業務改善

#### 活動報告

院内の各部署との連携強化の為 月1回定例会の開催（第2金曜）  
7月11日～内科のみ電話予約開始  
8月～泌尿器科予約制となる

### (2) 病棟運営委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H23.9.20	5名	ベッドコントロール・面会時間の徹底について
第2回	H24.1.12	7名	注射0時更新について、入院時の持参薬・胃カメラ当日の朝食について、 夜勤・休日入院の流れについて
第3回	H24.2.7	6名	注射0時更新について、家族が遠方・連絡がとりにくい患者の死亡時の対応について

活動報告

\* 注射0時更新H24年度より開始とした  
 \* 夜勤・休日入院の流れの再徹底

(3) 手術室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.19		外科手術手術の為 委員会中止とし議事配布
第2回	H23.6.15	9名	5月手術室使用状況、手洗い水水質検査結果、手術学会鳥取分会の報告
第3回	H23.7.21		手術の為 委員会中止とし議事配布
第4回	H23.8.18	6名	7月手術室使用状況、修理器械及び定期点検器械の結果報告。「地震発生時における手術室対応マニュアル作成」の報告
第5回	H23.9.22		手術の為 委員会中止とし議事配布
第6回	H23.10.20	7名	9月手術室使用状況、オートクレープ点検の報告。次年度購入物品について
第7回	H23.11.17	8名	10月手術室使用状況、レガシー点検及びEOG作業環境測定実施の報告
第8回	H23.12.15	8名	11月手術室使用状況、2OP手洗い装置を水道水に変更の報告。外科佐藤医師による症例報告実施
第9回	H24.1.19		手術の為 委員会中止とし議事配布
第10回	H24.2.16	7名	1月手術室使用状況、麻酔器及びEOG滅菌器の点検について。次年度購入器械について
第11回	H24.3.15	6名	2月手術室使用状況について、麻酔器及びEOG滅菌器点検結果報告。手術室接遇アンケート(患者対象)結果報告
第12回	H24.4.19	8名	3月手術室使用状況報告、環境モニタリング結果報告(サンククリーン)、EOG作業環境測定結果、H23年度科別・麻酔別手術件数報告

活動報告

\* 毎月の委員会開催で各項目について報告  
 \* 手術患者対象に接遇アンケート  
 \* 手術手順の見直し

(4) 透析室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.30	5名	透析室の現況・今年度の活動計画・人工呼吸器用エアアの配管整備について

第2回	H23.7.14	4名	透析室の現況・業務改善・
第3回	H23.8.31	4名	透析室の現況・業務改善・透析室開設からの動向調査・患者の送迎について

#### 活動報告

- \* 人工呼吸器用の圧縮空気の配管整備の決定
- \* 看護助手の配置によるメリットあり
- \* 血液回路・穿刺針の検討
- \* 透析室開設からの患者の動向を調査しておく
- \* HD患者の送迎について検討していく必要あり

## 9. 輸血委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.30	6名	4月分血液製剤使用状況について 開催日、開催回数について 平成23年度の目標について
第2回	H23.7.25	6名	5月、6月分血液製剤使用状況について 5月、6月、7月分オーソ輸血新聞配布 マニュアルの見直し(46P～48P)
第3回	H23.9.26	6名	7月、8月分血液製剤使用状況について 8月、9月号オーソ輸血新聞、日赤からのお知らせ配布 マニュアルの見直し(46P～48P)
第4回	H23.11.28	6名	9月、10月分血液製剤製剤使用状況について 10月分オーソ輸血新聞配布
第5回	H24.1.30	5名	11月、12月分血液製剤使用状況について 11月、12月号オーソ輸血新聞配布 移植検査部門研修会の参加報告
第6回	H24.3.26	7名	1月、2月分血液製剤使用状況について 2月、3月号オーソ輸血新聞配布 平成23年度血液製剤使用適正化懇談会参加の報告

### 活動報告

血液製剤使用状況の報告  
輸血情報の発信(オーソ輸血新聞、日赤からのお知らせ)  
学会、懇談会の参加  
マニュアルの見直し

## 10. 物流委員会

### (1) 薬事審議委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H23.6.28	7名	4月、5月、6月採用薬の報告 4月、5月採用中止薬の報告 アルブミン製剤についての検討
第2回	H23.7.28	9名	6月、7月、8月採用薬の報告 8月採用中止薬の報告 震災後の薬品の供給状況について メーカー欠品のためプロテアミン12X プロテアミン12に変更の依頼。 クラビット点眼液 0.5%、1.5%取り違いの注意 皮内反応テスト液の使用中止について
第3回	H23.9.27	10名	8月、9月採用薬の報告 8月、9月採用中止薬の報告 震災後の薬品の供給状況について アピドラ注メーカー欠品について 処方単位の統一について

### (2) 委託業者連絡委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H23.5.10	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第2回	H23.6.14	9名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第3回	H23.7.12	10名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第4回	H23.8.9	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第5回	H23.9.13	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第6回	H23.10.11	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第7回	H23.11.8	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第8回	H23.12.13	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第9回	H24.1.10	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

第10回	H24.2.14	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第11回	H24.3.13	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第12回	H24.4.10	9名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

### (3) SPD委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.4.15	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第2回	H23.5.9	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第3回	H23.6.13	8名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第4回	H23.7.11	8名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第5回	H23.8.8	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第6回	H23.9.12	8名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第7回	H23.10.17	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第8回	H23.11.14	5名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第9回	H23.12.12	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第10回	H24.1.16	5名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討

第11回	H24.2.13	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第12回	H24.3.12	5名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討

**(4) 医療機器購入検討委員会**

**開催状況**

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.1.19	14名	平成24年度購入希望機器聞き取り評価

## 11. 病院機能検討委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H24.2.16	12名	職務年数の浅い職員で集まり、「目指すべき日野病院の姿と、それへ向けた取組」についてブレイクスルー思考を用いて考える。
第2回	H24.3.8	9名	職務年数の浅い職員で集まり、「目指すべき日野病院の姿と、それへ向けた取組」についてブレイクスルー思考を用いて考える。
第3回	H24.3.22	10名	職務年数の浅い職員で集まり、「目指すべき日野病院の姿と、それへ向けた取組」についてブレイクスルー思考を用いて考える。

## 12. 経営企画委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.6.23	5名	ワーキング開催方法の確認と年間活動計画について ワーキング編成に伴う委員会要綱の見直しについて
第2回	H23.7.29	3名	ワーキング活動報告について
第3回	H23.10.27	5名	ワーキング活動報告について
第4回	H23.11.24	2名	ワーキング活動報告について
第5回	H24.2.23	5名	ワーキング活動報告について
第6回	H24.4.26	4名	ワーキング活動報告と23年度のまとめについて

## (1) クリニカルパス委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.7.7	8名	平成23年度クリニカルパス委員会活動計画 委員会開催方法 パスの見直しの必要について
第2回	H23.9.9	8名	パス見直し状況報告 パス使用状況（統計）の入力方法の確認
第3回	H23.11.11	8名	前期クリニカルパス使用状況報告 パス見直し状況報告（整形「TKAパス」完成） 電子カルテ導入に向けて
第4回	H24.1.13	6名	パス見直し状況報告（CF入院用パス（案）完成、各部署で検討） 電子カルテ導入に向け外科パス等を見直し検討
第5回	H24.4.25	4名	平成23年度クリニカルパス使用状況の報告 パス見直し状況報告 地域連携パス使用状況（平成23年度） 電子カルテ導入に向けての次年度の課題について 今後の課題

### 活動報告

\*整形用パスの作成(TKA)  
\*眼科用パス・指示書の修正

## (2) 褥瘡NST委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.19	12名	年間活動計画について

ミーティング	H23.5.25	10名	栄養検討1人。検討方法について
回診	H23.6.2	11名	褥瘡回診7人
ミーティング	H23.6.8	12名	褥瘡患者栄養検討6人、入院時ALB3.0以下患者栄養検討4人、皮下輸液のトラブルについて
回診	H23.6.16	10名	褥瘡回診4人、リスクマネジメント学会発表について
第2回	H23.6.22	14名	褥瘡とNST回診日変更。栄養管理計画書について。栄養情報交換、検討4人
ミーティング	H23.7.6	9名	栄養報告、検討5人
回診	H23.7.14	8名	褥瘡回診2人
第3回	H23.7.20	12名	研修会について。栄養情報交換、検討3人
回診	H23.7.28	8名	褥瘡回診3人
ミーティング	H23.8.3	14名	褥瘡患者栄養検討3人。栄養検討4人
回診	H23.8.11	11名	褥瘡回診4人。NST依頼患者回診1人
第4回	H23.8.17	11名	研修会の予定について。活動の見直し。NST依頼患者検討1人。情報交換5人
回診	H23.8.25	8名	褥瘡回診4人。NST依頼患者回診1人。
ミーティング	H23.8.31	9名	リスクマネジメント学会事前発表2題。
ミーティング	H23.9.7	12名	患者検討11人
回診	H23.9.15	8名	褥瘡回診4人。NST依頼患者回診1人。
第5回	H23.9.21	7名	研修会について。栄養情報交換9人、NST依頼患者検討1人
回診	H23.9.29	2名	褥瘡回診2人
ミーティング	H23.10.5	8名	栄養情報交換7人
回診	H23.10.13	9名	褥瘡回診2人。NST依頼患者回診1人
第6回	H23.10.19	12名	米子NST参加報告。11月監査について。NST依頼患者1人。情報交換3人。
回診	H23.10.27	6名	褥瘡患者3人
ミーティング	H23.11.2	14名	環日本海NSTフォーラム事前発表1題。情報交換9人
回診	H23.11.10	10名	褥瘡回診4人
第7回	H23.11.16	12名	監査指摘事項について。褥瘡回診報告。NST依頼1人。情報交換5人。
回診	H23.11.24	7名	褥瘡回診3人

ミーティング	H23.12.7	9名	NST依頼患者1人。情報交換6人。褥瘡専任看護師申請について。
回診	H23.12.15	8名	褥瘡回診2人
第8回	H23.12.21	6名	褥瘡回診報告。情報交換5人。静脈経腸栄養学会発表について。
回診	H24.1.12	7名	褥瘡回診2人
第9回	H24.1.18	7名	褥瘡回診報告。情報交換3人。
回診	H24.1.26	9名	褥瘡回診3人
ミーティング	H24.2.1	7名	NST依頼患者1人。情報交換7人。栄養研究会案内。
回診	H24.2.9		褥瘡回診2人
第10回	H24.2.15	8名	褥瘡回診報告。情報交換3人。静脈経腸栄養学会事前発表。
回診	H24.2.23		褥瘡回診2人
ミーティング	H24.3.7	10名	NST依頼患者1人。情報交換3人。NST研究会について。
回診	H24.3.15	11名	褥瘡回診3人
第11回	H24.3.21	10名	褥瘡回診報告。NST依頼患者1人。情報交換1人。活動振り返り。
回診	H24.3.29	7名	褥瘡回診5人
ミーティング	H24.3.29	7名	NST依頼患者1人。情報交換6人。研修会案内。
回診	H24.4.12	9名	褥瘡回診4人
第12回	H24.4.18	11名	褥瘡回診報告。NST依頼患者1人。情報交換2人。活動振り返り。

#### 活動報告

##### 褥瘡NST委員会活動実績

褥瘡回診実施のべ人数・・・65人

NST依頼患者人数・・・6人

栄養検討情報交換のべ人数・・・117人

NST専門療法士試験合格・・・仙田薬剤師

学会発表、参加

NSTフォーラム、研究会座長

褥瘡専任看護師申請35人、研修会実施。

ストーマリハビリテーション研修会参加

ストーマリハビリテーション講習会参加

NSTフォーラム、研究会参加

SGAについての研修会

### (3) がん対策委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H23.6.6	5名	症例検討
第2回	H23.7.11	5名	症例検討
第3回	H23.9.5	5名	症例検討
第4回	H23.12.19	5名	症例検討
第5回	H24.3.12	7名	今年度の振り返り 来年度の取組み
第6回	H24.3.17	6名	入院患者(1名)症例報告・検討。 回診

### (4) ドック健診委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H23.6.15	4名	委員会要綱一部改定と委員会目標設定23年度受託健診について
第2回	H23.9.2	5名	腹部CTの読影の最確認今後の健診予定について
第3回	H23.11.29	6名	24年度料金設定電子カルテとドックの運用について
第4回	H24.4.9	5名	子宮がん検診料金設定23年度まとめ

### 13. 医療安全管理委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.19	10名	4月ヒヤリハットレポート集計結果報告。「診療記録開示検討委員会」のワーキング設置による委員会要綱の改正について。平成23年度の委員会目標決定。医療安全研修会について
第2回	H23.6.15	13名	平成22年度ヒヤリハットレポート集計結果報告。5月ヒヤリハットレポート集計結果報告。事例共有及び対策。今年度必須研修会開催月決定。「医療事故防止対策マニュアル」の病棟に関する項目の担当部署決定
第3回	H23.7.20	10名	6月ヒヤリハットレポート集計結果報告。事例共有及び対策。8月必須研修会の内容紹介。薬剤分包システムについて。
第4回	H23.8.18	8名	7月ヒヤリハットレポート集計結果報告。事例紹介及び対策検討。医療機器安全管理委員会からの連絡事項。必須研修会(8/5)の振り返り用紙集計結果報告。
第5回	H23.9.22	10名	8月ヒヤリハットレポート集計結果報告。事例紹介及び対策。「腹膜透析について」の研修会参加人数等の報告。各ワーキングからの連絡。中長期計画として委員会将来取り組むべき対策及び提案等について。医療監査(9/21済)に指摘事項について
第6回	H23.10.20	5名	9月ヒヤリハットレポート集計結果報告。事例共有。4M4Eマトリックス分析報告・対策「ヒヤリハットレポート報告手順マニュアル及び集計について」を新規作成の報告。医薬品安全管理委員会からの連絡
第7回	H23.11.17	10名	10月ヒヤリハットレポート集計結果報告。事例紹介及び対策。11月予定の必須研修会のお知らせ。適時調査(11/7済)の指摘事項について。医療機器管理番号シール配布について
第8回	H23.12.15	9名	11月ヒヤリハットレポート集計結果報告。事例共有。4M4Eマトリックス分析報告及び対策。必須研修会(11/29済)の報告。1月予定の医療機器に関する研修会の内容検討
第9回	H24.1.19	9名	12月ヒヤリハットレポート集計結果報告。事例共有。4M4Eマトリックス分析報告及び対策。RCA分析研修会日程について
第10回	H24.2.16	11名	1月ヒヤリハットレポート集計結果報告。事例共有。1月の転倒転落事例6件の紹介及び対策検討。RCA分析研修会参加人数及び振り返り用紙集計報告。必須研修会(3/1)の内容について
第11回	H24.3.15	7名	2月ヒヤリハットレポート集計結果報告。事例共有。4M4Eマトリックス分析報告及び対策。「医療機器安全管理について」の必須研修会(3/1済)の報告
第12回	H24.4.19	10名	3月ヒヤリハットレポート集計結果報告。平成23年度発生事例に対する改善点・対策等のまとめ報告。平成23年度部門目標に対するまとめ報告。医療機器管理シールについて

#### 活動報告

- ・ヒヤリハットレポート提出の促進及び集計・委員会での報告(1回/月)
- ・委員会の開催及び事例共有・対策案の検討(1回/月)
- ・啓蒙ポスターの発行(3回/年)
- ・院内必須研修会開催(医療機器に関すること2回・薬剤に関すること2回)
- ・院外研修会参加(山陰リスクマネジメント研究会:参加3人) (日本医療マネジメント学会:4人発表/13人参加)
- ・医療安全に関するマニュアル整備

### (2) 医療ガス安全管理委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.8.26	5名	医療ガス配管設備点検結果報告

## 14. 院内感染対策委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.11	11名	感染状況・抗菌薬使用状況、本年度目標の設定、職員ウイルス抗体価など
第2回	H23.6.8	11名	感染状況・抗菌薬使用状況、本年度目標の確認、職員ウイルス抗体価など 研修会報告、研修会案内など
第3回	H23.7.13	10名	感染状況・抗菌薬使用状況、厚労省通達、メール配信など
第4回	H23.8.10	10名	感染状況・抗菌薬使用状況、鳥取県抗菌薬耐性サーベイランス報告、研修 会報告など
第5回	H23.9.14	12名	感染状況・抗菌薬使用状況、中長期計画、医療監視など
第6回	H23.10.12	9名	感染状況・抗菌薬使用状況、医療監視指摘事項、針刺し事例検証、HIV感 染予防薬など
第7回	H23.11.9	12名	感染状況・抗菌薬使用状況、適時調査指摘事項、結核接触者検診など
第8回	H23.12.14	10名	感染状況・抗菌薬使用状況、予算について、インフルエンザ、嘔吐物処理な ど
第9回	H24.1.11	11名	感染状況・抗菌薬使用状況、インフルエンザ流行状況など
第10回	H24.2.8	12名	感染状況・抗菌薬使用状況、CVカテ、尿道カテサーベイランス、研修会報告 など
第11回	H24.3.14	13名	感染状況・抗菌薬使用状況、感染制御ネットワーク、針刺し事例検討、感染 防止対策加算など
第12回	H24.4.11	13名	感染状況・抗菌薬使用状況、感染制御ネットワーク、研修会案内など

### 活動報告

- ・鳥取県抗菌薬サーベイランス事業 参加
- ・院内研修会 開催
  - 4月 新入職員研修 講師:磯江看護師
  - 9月 標準予防策 講師:サラヤ株式会社 中村
  - 11月 みんなで防ごうノロウイルス 講師:委員会事務局 長尾
- ・院外研修会開催
  - 11月 あやめ研修会 講師:委員会事務局 長尾
- ・院外研修会 参加
  - 4月 感染制御カンファレンス
  - 5月 山陰インфекションコントロールセミナー
  - 8月 Meat The Specialist in米子
  - 10月 山陰インフェクションコントロールセミナー
  - 11月 鳥取県院内感染対策講習会
  - 11月 結核医療従事者研修会
  - 2月 日本環境感染学会
- ・マニュアルの作成・改定・周知徹底などを行った。

## (1)ICT委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H23.9.21	10名	委員会活動、リンクナースとのラウンドなど
第2回	H24.1.27	9名	感染制御ネットワーク、病棟ラウンド、サーベイランスについてなど
第3回	H24.3.29	9名	感染管理加算2、来年度以降の委員会活動についてなど

### 活動報告

院内感染対策委員会の活動補助を行った。

## 15. 労働安全衛生委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.31	7名	年間行事スケジュール及び目標について
第2回	H23.6.30	4名	職員健康診断要再検査受診状況と受診催促について
第3回	H23.7.26	6名	職員健康診断要再検査受診催促用紙について
第4回	H23.8.31	3名	職員健康診断要再検査受診催促の結果について
第5回	H23.9.29	5名	特定従事者健康診断について 安全パトロールについて
第6回	H23.10.27	4名	特定従事者健康診断について 安全パトロールの結果について
第7回	H23.11.25	2名	職員インフルエンザについて
第8回	H23.12.9	4名	特定従事者健康診断について
第9回	H24.1.31	4名	栄養管理ニュースとの連携について 健康診断結果報告書の提出について
第10回	H24.3.9	4名	職員健康診断について
第11回	H24.3.26	5名	職員健康診断について
第12回	H24.4.25	3名	平成23年度委員会目標に対する評価について 職員健診について 市町村共済メンタルヘルス研修会について

### 活動報告

- ・ 職員定期健康診断(4月)
- ・ ストレス度調査(4月)
- ・ 院内安全衛生パトロール(9月)
- ・ 特定業務従事者検診(10月)
- ・ 職員インフルエンザ予防接種(11月～12月)

## 16. 診療記録管理委員会

### (1) 電子カルテ導入検討委員会

#### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H23.5.12	14名	各部門よりオーダリング問題点の報告 電子カルテ導入にむけて
第2回	H23.7.14	13名	同上
第3回	H23.9.8	13名	同上
第4回	H23.11.10	17名	同上
第5回	H24.1.12	12名	同上
第6回	H24.3.8	13名	同上

#### 活動報告

- ・電子カルテ導入に向けて委員会立ち上げ。
- ・24年度内導入すること決定。
- ・以後導入範囲、部門システム、端末台数等検討。
- ・仕様書の枠組み作成。

## 17. サービス推進委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.13	12名	日野病院サービス推進委員会要綱の変更について 委員会の開催方法について 平成23年度活動計画について 各事業の担当者について その他 看護の日イベントの実施について(5/12)
第2回	H23.6.10	8名	前回委員会議事録の確認について 協議・報イベント関係について ホームページ・広報関係について その他 平成23年度活動計画について
第3回	H23.7.1	12名	前回委員会議事録の確認について 協議・報イベント関係について ホームページ・広報関係について
第4回	H23.8.5	7名	前回委員会議事録の確認について 協議・報イベント関係について ホームページ・広報関係について
第5回	H23.9.2	11名	前回委員会議事録の確認について 協議・報イベント関係について ホームページ・広報関係について
第6回	H23.10.11	11名	前回委員会議事録の確認について 協議・報イベント関係について ホームページ・広報関係について
第7回	H23.11.4	4名	前回委員会議事録の確認について 協議・報イベント関係について ホームページ・広報関係について
第8回	H23.12.2	6名	前回委員会議事録の確認について 協議・報イベント関係について ホームページ・広報関係について
第9回	H24.1.6	10名	前回委員会議事録の確認について 協議・報イベント関係について ホームページ・広報関係について
第10回	H24.2.3	7名	前回委員会議事録の確認について 協議・報イベント関係について ホームページ・広報関係について
第11回	H24.3.2	10名	前回委員会議事録の確認について 協議・報イベント関係について ホームページ・広報関係について
第12回	H24.4.6	6名	前回委員会議事録の確認について 協議・報イベント関係について ホームページ・広報関係について その他 平成23年度各ワーキング活動報告のまとめについて

## (1) 広報委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H23.7.22	3名	せせらぎ42号(平成23年9月発行)の原稿について
第2回	H23.11.18	3名	せせらぎ43号(平成24年1月発行)の原稿について
第3回	H24.3.23	2名	せせらぎ44号(平成24年5月発行)の原稿について

### 活動報告

随時: ホームページ更新

5月: せせらぎ41号発行  
日野町広報5月号(東日本大震災における医療支援)

6月: 日野町広報6月号(「介護なんでも相談」始めました)

7月: 日野町広報7月号(夕涼み会のご案内)

8月: 日野町広報8月号(夕涼み会の報告)

9月: せせらぎ42号発行  
日野町広報9月号(ハチにご用心)

10月: 日野町広報10月号(開院記念イベントのご案内)

11月: 日野町広報11月号(クリスマスイベントのご案内)

12月: 日野町広報12月号(年末年始の休診について)

1月: せせらぎ43号発行  
日野町広報1月号(看護師育成奨学金について)

2月: 日野町広報2月号(看護師・准看護師募集について)

3月: せせらぎ臨時号発行  
日野町広報3月号(ホームページのご案内)

4月: 日野町広報4月号(看護の日イベントのお知らせ)

## (2) イベント実施委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.6.3	8名	23年度活動計画について。目標、各担当について
第2回	H23.7.7	10名	夕涼み会について
第3回	H23.8.30	11名	夕涼み会についての反省会、バザーについて
第4回	H23.10.28	9名	開院記念日のイベントについて
第5回	H23.11.7	10名	クリスマスイベントについて
第6回	H23.12.7	4名	クリスマスイベントの最終打ち合わせ
第7回	H24.1.30	7名	クリスマスの反省会 今後の活動について
第8回	H24.2.28	10名	ハンドベルの購入について
第9回	H24.3.23	4名	看護の日イベントについて
	H24.4.3	3名	看護の日イベントについて
	H24.4.12	2名	看護の日イベントについて
第10回	H24.4.26	9名	看護の日イベントについて

### 活動報告

#### イベント

夕涼み会	7月29日	ソフトクリーム、ヨーヨー釣り、ボーリング、銭太鼓、ウクレレ、手品
開院記念日	11月1日	お茶サービス
バザー	11月1日	バザー
クリスマス会	12月10日	ハンドベル、踊り、ゴスペルオーブ
看護の日	5月10日	警察犬の1日看護局長、フットケア、介護相談、栄養相談

#### 飾りつけ

鯉のぼり	4月～6月	鯉のぼり、のぼり旗、5月人形
七夕	7月～8月	七夕飾り
クリスマス	11月～12月	クリスマスツリー、人形など
正月	12月～1月	凧、富士山など
ひな祭り	2月～3月	ひな人形

## 18. 接遇向上委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.18	8名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 平成24年度接遇向上委員会年間活動計画について 接遇インストラクター養成講座参加について
第2回	H23.6.14	7名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 平成24年度院内接遇研修会開催について 研修計画書立案について 接遇マニュアルの見直しについて
第3回	H23.7.12	8名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 平成24年度院内接遇研修会について 接遇インストラクター養成講座参加について 申し込み2名
第4回	H23.8.9	7名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 平成24年度院内接遇研修会実施報告(7月20日・22日) 接遇インストラクター養成講座参加について (8月19~21日)
第5回	H23.9.13	4名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 接遇インストラクター養成講座 履習報告について
第6回	H23.10.25	4名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 接遇セルフチェックアンケート実施について 接遇マニュアルの見直しについて
第7回	H23.11.15	7名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 接遇インストラクター養成講座 伝達講習報告 接遇マニュアルの見直しについて
第8回	H23.12.13	6名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 接遇セルフチェックアンケートの集計報告について、コメント集作成について 接遇マニュアルの見直しについて
第9回	H24.1.17	7名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 接遇セルフチェックアンケートの集計報告について 接遇マニュアルの見直しについて
第10回	H24.2.14	7名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 接遇セルフチェックアンケートの集計報告について 評価・分析担当について 接遇マニュアルの見直しについて
第11回	H24.3.13	6名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 セルフチェックアンケートの評価・分析について 考察 接遇マニュアルの見直しについて
第12回	H24.4.26	6名	前回委員会議事録の確認について 協議・報告 セルフチェックアンケートの評価・分析について 考察 接遇マニュアルの見直しについて

### 活動報告

7月20日・22日	院内接遇研修会(必須) 参加 114名/134名中 (参加率85%) 講師:株式会社 セイエル 顧客支援室 清原氏
8月19日~21日	接遇インストラクター養成講座参加 参加者:藤原 敦子、影山 光恵
9月~10月	接遇インストラクター養成講座 履習報告 6部署(藤原・影山)
11月1日~10日	セルフチェックアンケート実施

## 19. 教育研修委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.26	9名	委員会要綱の見直し、年間研修スケジュール(案)の検討
第2回	H23.6.28	9名	委員会要綱の承認、教育研修委員会の開催日確認(第2木曜日16時30分～決定)
第3回	H23.7.14	10名	第1回BLS講習会、教育研修委員会主催研修会(命を繋ぐ医療とは?)報告 接遇研修会、医療安全研修会への協力について
第4回	H23.8.11	8名	接遇研修会、医療安全研修会報告、必須研修会欠席者へのレポート提出について 感染対策研修会への協力について
第5回	H23.9.8	8名	医療安全研修会欠席者へのレポート提出における回収方法について、 人権学習研修会の内容及び日程検討
第6回	H23.10.13	6名	第1回BLS講習会、院内感染対策研修会・人権学習研修会欠席者における レポート提出回収方法について
第7回	H23.11.10	6名	今後の研修スケジュール確認・検討
第8回	H23.12.8	8名	医療安全研修会欠席者へのレポート提出における回収方法について 今後の研修スケジュール確認・検討
第9回	H24.1.12	9名	医療安全研修会欠席者へのレポート提出における回収率報告 今後の研修スケジュール確認・検討
第10回	H24.2.9	9名	院内感染対策研修会におけるレポート回収率について 今後の研修スケジュール確認・検討
第11回	H24.3.8	6名	医療安全研修会・BLS講習会報告 今後の研修スケジュール確認・検討

### 活動報告

6月	BLS講習会(6月30日)江府消防署員、病院BLSチームスタッフ参加者8名
7月	接遇(2日間)(7月20、22日 接遇向上委員会主催 ) 株式会社セイエル 顧客支援室 106名 臓器提供「命をつなぐ医療とは?」(7月6日 17時30分～) 鳥取県移植コーディネーター 永栄 幸子 先生 54名
8月	BLS講習会(8月31日 開催)江府消防署員、病院BLSチームスタッフ 参加者8名 医療安全研修 事例から学ぶリスクマネジメント 東京海上日動メディカルサービス(株)黒田 清美(8月5日 参加者72名 )
9月	平成22年度日野病院決算報告 生田事務局長、頭本課長 (9月7日、9日 参加者60名) 感染対策研修 病院感染対策講習会～標準予防策～(9月14日 サラヤ株式会社 中村様 参加人数62名)
10月	人権学習(教育研修委員会主催DVD研修 10月3日～7日 107名)
11月	医療安全(11月29日開催 薬剤関連 山本主任薬剤師 68名) BLS講習会(11月24日 開催 江府消防署員、病院BLSチームスタッフ 参加者8名 )
12月	BLS講習会(12月15日江府消防署員、病院BLSチームスタッフ参加者6名) 感染対策研修(12月22日 開催 ノロウイルスについて 長尾主任検査技師 参加者69名)
23年	
2月	BLS講習会(2月14日 江府消防署員、病院BLSチームスタッフ参加者6名)
3月	医療安全研修会(3月1日開催 医療機器安全管理について 佐々木医療機器安全管理責任者71名) BLS講習会(3月13日 江府消防署員、病院BLSチームスタッフ参加者6名)

## (1) 図書委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.5.19	3名	平成23年度の目標について協議
第2回	H23.6.15	4名	活動
第3回	H23.7.13	3名	活動
第4回	H23.8.10	2名	活動
第5回	H23.9.13	2名	活動
第6回	H23.10.26	2名	活動
第7回	H23.12.21	3名	活動
第8回	H24.4.23	2名	平成23年度図書委員の活動目標達成評価と検討 活動

### 活動報告

- ・5年前以前の古い本の整理(各部署に確認をとりその後廃棄)
- ・図書室の整理、整頓
- ・外来雑誌ラックの整理整頓
- ・傷んだ図書の廃棄

## 20. 災害対策委員会

### 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H23.6.16	8名	災害対策マニュアルの策定及び災害時想定訓練の実施について
第2回	H23.7.19	10名	災害対策マニュアルについて 災害対策訓練内容について
第3回	H23.8.23	12名	災害対策訓練内容について
第4回	H23.9.15	11名	災害対策訓練内容について
第5回	H23.11.22	8名	災害対策訓練反省点について
第6回	H24.4.25	11名	安否確認サービスの運用等について 有事時連絡フローチャートについて 平成23年度評価及び平成24年度目標について

### 活動報告

災害対策訓練 (H23.10.12)	震度6強の地震が発生して、建物に被害は無いが、停電・断水状態であると想定して、災害対策本部設置までの初動体制について訓練した
-----------------------	--

## 2、統計

# 患者統計





# 疾病統計（入院患者）

# 入院患者疾病統計

## 1. 疾病別（大分類）・診療科別統計

(人)

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科
総数	計	974	100.0	548	114	224	87	1
	男	443	45.5	260	67	75	40	1
	女	531	54.5	288	47	149	47	-
構成比(%)	計	100.0		56.3	11.7	23.0	8.9	0.1
	男	100.0		58.7	15.1	16.9	9.0	0.2
	女	100.0		54.2	8.9	28.1	8.9	-
感染症及び寄生虫症	計	19	2.0	17	1	1	-	-
	男	6	1.4	5	-	1	-	-
	女	13	2.4	12	1	-	-	-
新生物	計	62	6.4	36	25	1	-	-
	男	34	7.7	19	15	-	-	-
	女	28	5.3	17	10	1	-	-
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	4	0.4	4	-	-	-	-
	男	3	0.7	3	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-	-
内分泌、栄養及び代謝疾患	計	27	2.8	24	2	1	-	-
	男	11	2.5	10	-	1	-	-
	女	16	3.0	14	2	-	-	-
精神及び行動の障害	計	23	2.4	20	3	-	-	-
	男	5	1.1	4	1	-	-	-
	女	18	3.4	16	2	-	-	-
神経系の疾患	計	28	2.9	21	1	6	-	-
	男	15	3.4	11	1	3	-	-
	女	13	2.4	10	-	3	-	-
眼及び付属器の疾患	計	88	9.0	1	-	-	87	-
	男	41	9.3	1	-	-	40	-
	女	47	8.9	-	-	-	47	-
耳及び乳様突起の疾患	計	2	0.2	2	-	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-	-
循環器系の疾患	計	97	10.0	96	1	-	-	-
	男	44	9.9	43	1	-	-	-
	女	53	10.0	53	-	-	-	-
呼吸器系の疾患	計	149	15.3	146	2	-	-	1
	男	84	19.0	81	2	-	-	1
	女	65	12.2	65	-	-	-	-
消化器系の疾患	計	93	9.5	49	44	-	-	-
	男	54	12.2	28	26	-	-	-
	女	39	7.3	21	18	-	-	-
皮膚及び皮下組織の疾患	計	10	1.0	1	4	5	-	-
	男	6	1.4	1	2	3	-	-
	女	4	0.8	-	2	2	-	-
筋骨格系及び結合組織の疾患	計	75	7.7	16	-	59	-	-
	男	23	5.2	3	-	20	-	-
	女	52	9.8	13	-	39	-	-
腎尿路生殖器系の疾患	計	37	3.8	36	1	-	-	-
	男	18	4.1	17	1	-	-	-
	女	19	3.6	19	-	-	-	-
妊娠、分娩及び産じょく<褥>	計	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-
周産期に発生した病態	計	1	0.1	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-
先天奇形、変形及び染色体異常	計	2	0.2	2	-	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-	-
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	53	5.4	44	7	2	-	-
	男	20	4.5	16	2	2	-	-
	女	33	6.2	28	5	-	-	-
損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	160	16.4	13	20	127	-	-
	男	57	12.9	7	13	37	-	-
	女	103	19.4	6	7	90	-	-
傷病及び死亡の外因	計	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	44	4.5	19	3	22	-	-
	男	19	4.3	8	3	8	-	-
	女	25	4.7	11	-	14	-	-
特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-

2. 疾病別・診療科別・男女別・統計

(人)

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
総数	計	974	100.0	548	114	224	87
	男	443	45.5	260	67	75	40
	女	531	54.5	288	47	149	47
構成比(%)	計	100.0		56.3	11.7	23.0	8.9
	男	100.0		58.7	15.1	16.9	9.0
	女	100.0		54.2	8.9	28.1	8.9
A049 細菌性腸管感染症、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	12	1.2	11	1	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	10	1.9	9	1	-	-
A281 ネコひっかき<猫搔>病	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
A419 敗血症、詳細不明	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
A46 丹毒	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
B440 侵襲性肺アスペルギルス症	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
C155 下部食道【食道の悪性新生物】	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
C159 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	3	0.3	-	3	-	-
	男	3	0.7	-	3	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	10	1.0	5	5	-	-
	男	7	1.6	4	3	-	-
	女	3	0.6	1	2	-	-
C182 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	3	0.3	-	3	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	2	0.4	-	2	-	-
C184 横行結腸【結腸の悪性新生物】	計	2	0.2	-	2	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	2	-	-
C187 S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
C189 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	6	0.6	6	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	4	0.8	4	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
C20 直腸の悪性新生物	計	5	0.5	-	5	-	-
	男	4	0.9	-	4	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
C220 肝癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
C23 胆のう<囊>の悪性新生物	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
C252 膵尾部【膵の悪性新生物】	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
C329 喉頭、部位不明【喉頭の悪性新生物】	計	2	0.2	-	2	-	-
	男	2	0.5	-	2	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	9	0.9	9	-	-	-
	男	5	1.1	5	-	-	-
	女	4	0.8	4	-	-	-
C56 卵巣の悪性新生物	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
C61 前立腺の悪性新生物	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
C762 腹部【その他及び部位不明の悪性新生物】	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
C798 その他の明示された部位の続発性悪性新生物	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
C859 非ホジキンリンパ腫、型不明	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
C880 ワルデンストレ - ムマクログロブリン血症	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
C900 多発性骨髄腫	計	2	0.2	1	-	1	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
D126 結腸、部位不明【結腸、直腸】	計	4	0.4	4	-	-	-
	男	3	0.7	3	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
D219 結合組織及びその他の軟部組織、部位不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
D27 卵巣の良性新生物	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
D619 無形成性貧血、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
D649 貧血、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
D693 特発性血小板減少性紫斑病	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
D763 その他の組織球症候群	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
E11 インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
E14 詳細不明の糖尿病	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
E142 腎合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	4	0.4	4	-	-	-
	男	4	0.9	4	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
E46 詳細不明のたんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
E512 ウェルニッケ脳症<エンセファロパチ<シ>->	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
E835 カルシウム代謝障害	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
E86 体液量減少(症)	計	14	1.4	12	2	-	-
	男	3	0.7	3	-	-	-
	女	11	2.1	9	2	-	-
E871 低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
E876 低カリウム<K>血症	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
F03 詳細不明の認知症	計	11	1.1	11	-	-	-
	男	4	0.9	4	-	-	-
	女	7	1.3	7	-	-	-
F319 双極性感情障害、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
F329 うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
F411 全般性不安障害	計	2	0.2	1	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
F430 急性ストレス反応	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
F453 身体表現性自律神経機能不全	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
F459 身体表現性障害、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
F508 その他の摂食障害	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
F509 摂食障害、詳細不明	計	3	0.3	1	2	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	1	2	-	-
G20 パーキンソン病	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
G309 アルツハイマー病、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
G408 その他のてんかん	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
G409 てんかん、詳細不明	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
G459 一過性脳虚血発作、詳細不明	計	5	0.5	4	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	4	0.8	4	-	-	-
G473 睡眠時無呼吸	計	4	0.4	4	-	-	-
	男	4	0.9	4	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
G522 迷走神経障害	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
G560 手根管症候群	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	-	2	-
G563 橈骨神経の病変	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
G821 けいこ瘻>性対麻痺【対麻痺及び四肢麻痺】	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
G901 家族性自律神経異常症[ライリー・デイ症候群]	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
G931 無酸素性脳損傷、他に分類されないもの	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
G952 脊髄圧迫、詳細不明	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
G959 脊髄疾患、詳細不明	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
H020 眼瞼内反(症)及び(眼瞼)睫毛乱生(症)	計	1	0.1	-	-	-	1
	男	1	0.2	-	-	-	1
	女	-	-	-	-	-	-
H110 翼状片	計	3	0.3	-	-	-	3
	男	2	0.5	-	-	-	2
	女	1	0.2	-	-	-	1
H259 老人性白内障、詳細不明	計	84	8.6	1	-	-	83
	男	38	8.6	1	-	-	37
	女	46	8.7	-	-	-	46
H814 中枢性めまい<眩暈(症)>	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
I209 狭心症、詳細不明	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
I219 急性心筋梗塞、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
I48 心房細動及び粗動	計	3	0.3	3	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
I500 うっ血性心不全	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
I509 心不全、詳細不明	計	35	3.6	35	-	-	-
	男	12	2.7	12	-	-	-
	女	23	4.3	23	-	-	-
I610 (大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
I619 脳内出血、詳細不明	計	4	0.4	4	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	3	0.6	3	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
I629 頭蓋内出血(非外傷性)、詳細不明	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
I634 脳動脈の塞栓症による脳梗塞	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
I638 その他の脳梗塞	計	6	0.6	6	-	-	-
	男	3	0.7	3	-	-	-
	女	3	0.6	3	-	-	-
I639 脳梗塞、詳細不明	計	22	2.3	22	-	-	-
	男	13	2.9	13	-	-	-
	女	9	1.7	9	-	-	-
I679 脳血管疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
I691 脳内出血の続発・後遺症	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
I693 脳梗塞の続発・後遺症	計	10	1.0	10	-	-	-
	男	5	1.1	5	-	-	-
	女	5	0.9	5	-	-	-
I709 全身性及び詳細不明のアテローム<じゅくく> 粥>状>硬化(症)	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
I712 胸部大動脈瘤、破裂の記載がないもの	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
I723 腸骨動脈瘤	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
I745 腸骨動脈の塞栓症及び血栓症	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
I842 合併症を伴わない内痔核	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
J029 急性咽頭炎、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
J069 急性上気道感染症、詳細不明	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
J111 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、 インフルエンザウイルスが分離されないもの	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
J152 ブドウ球菌による肺炎	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
J189 肺炎、詳細不明	計	79	8.1	78	1	-	-
	男	38	8.6	37	1	-	-
	女	41	7.7	41	-	-	-
J209 急性気管支炎、詳細不明	計	8	0.8	8	-	-	-
	男	3	0.7	3	-	-	-
	女	5	0.9	5	-	-	-
J40 気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
J439 肺気腫、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
J441 急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.3	3	-	-	-
	男	3	0.7	3	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
J448 その他の明示された慢性閉塞性肺疾患	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
J449 慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	5	0.5	5	-	-	-
	男	5	1.1	5	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
J459 喘息、詳細不明	計	3	0.3	3	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
J46 喘息発作重積状態	計	5	0.5	4	-	-	-
	男	4	0.9	3	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
J690 食物及び吐物による肺臓炎	計	23	2.4	23	-	-	-
	男	14	3.2	14	-	-	-
	女	9	1.7	9	-	-	-
J80 成人呼吸窮<促>迫症候群<ARDS>	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
J841 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
J852 肺炎を伴わない肺膿瘍	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
J869 瘻(孔)を伴わない膿胸(症)	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
J90 胸水、他に分類されないもの	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
J931 その他の自然気胸	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
J939 気胸、詳細不明	計	3	0.3	3	-	-	-
	男	3	0.7	3	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
J942 血胸	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
J954 メンデルソン症候群	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
J961 慢性呼吸不全	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
J969 呼吸不全、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
J981 肺虚脱	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K226 食道胃接合部裂傷出血症候群	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K259 急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
K291 その他の急性胃炎	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
K318 胃及び十二指腸のその他の明示された疾患	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
K359 急性虫垂炎、詳細不明	計	4	0.4	-	4	-	-
	男	2	0.5	-	2	-	-
	女	2	0.4	-	2	-	-
K409 一側性又は患側不明のそけい< 単径 > ヘルニア、閉塞又はえ< 壊 > 疝を伴わないもの	計	9	0.9	-	9	-	-
	男	9	2.0	-	9	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K413 一側性又は患側不明の大腿< 股 > ヘルニア、閉塞を伴い	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
K419 一側性又は患側不明の大腿< 股 > ヘルニア、閉塞又はえ< 壊 > 疝を伴わないもの	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
K500 小腸のクローン病	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K559 腸の血行障害、詳細不明	計	5	0.5	5	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	4	0.8	4	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
K565 閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
K566 その他及び詳細不明の腸閉塞	計	4	0.4	3	1	-	-
	男	2	0.5	1	1	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
K567 イレウス、詳細不明	計	10	1.0	6	4	-	-
	男	5	1.1	3	2	-	-
	女	5	0.9	3	2	-	-
K573 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	3	0.3	2	1	-	-
	男	2	0.5	1	1	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
K579 腸の憩室性疾患、部位不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K590 便秘	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
K593 巨大結腸、他に分類されないもの	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K602 裂肛、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K603 痔瘻	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
K621 直腸ポリープ	計	2	0.2	1	1	-	-
	男	2	0.5	1	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K622 肛門脱<脱肛>	計	2	0.2	-	2	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	2	-	-
K632 腸瘻(孔)	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
K638 腸のその他の明示された疾患	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K639 腸の疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K658 その他の腹膜炎	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K659 腹膜炎、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
K704 アルコール性肝不全	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K709 アルコール性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K729 肝不全、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K746 その他及び詳細不明の肝硬変	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K750 肝膿瘍	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K768 その他の明示された肝疾患	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K801 その他の胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
K802 胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	2	0.2	-	2	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	2	-	-
K804 胆のう<嚢>炎を伴う胆管結石	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
K805 胆管炎又は胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計	2	0.2	-	2	-	-
	男	2	0.5	-	2	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K808 その他の胆石症	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K810 急性胆のう<嚢>炎	計	4	0.4	1	3	-	-
	男	2	0.5	1	1	-	-
	女	2	0.4	-	2	-	-
K811 慢性胆のう<嚢>炎	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
K819 胆のう<嚢>炎、詳細不明	計	2	0.2	1	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	1	1	-	-
K830 胆管炎	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K839 胆道の疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
K861 その他の慢性膵炎	計	3	0.3	2	1	-	-
	男	3	0.7	2	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K913 術後腸閉塞	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K921 メレナ	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
K922 胃腸出血、詳細不明	計	3	0.3	3	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	3	-	-	-
K928 消化器系のその他の明示された疾患	計	2	0.2	-	2	-	-
	男	2	0.5	-	2	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
L022 体幹の皮膚膿瘍、せつ<フルンケル>及びよ う<カルブンケル>	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
L030 手指及び趾<足ゆび>の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
L031 (四)肢のその他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
L039 蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
L048 その他の部位の急性リンパ節炎	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
L89 じょく<褥>瘡性潰瘍	計	3	0.3	-	2	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	-	2	1	-
L97 下肢の潰瘍、他に分類されないもの	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
L984 皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
M061 成人発症スチル病	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
M069 関節リウマチ、詳細不明	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	-	2	-
M130 多発性関節炎、詳細不明	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
M131 単(発性)関節炎、他に分類されないもの	計	4	0.4	3	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	3	0.6	3	-	-	-
M169 股関節症、詳細不明	計	5	0.5	-	-	5	-
	男	2	0.5	-	-	2	-
	女	3	0.6	-	-	3	-
M171 その他の原発性膝関節症	計	3	0.3	-	-	3	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	-	-	3	-
M179 膝関節症、詳細不明	計	14	1.4	-	-	14	-
	男	2	0.5	-	-	2	-
	女	12	2.3	-	-	12	-
M199 関節症、詳細不明	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
M245 関節拘縮	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
M353 リウマチ性多発筋痛症	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
M359 全身性結合組織疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
M471 ミエロパチ<シ>-<脊髄障害>を伴うその 他の脊椎症	計	2	0.2	1	-	1	-
	男	2	0.5	1	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
M478 その他の脊椎症	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
M480 脊柱管狭窄(症)	計	14	1.4	1	-	13	-
	男	7	1.6	-	-	7	-
	女	7	1.3	1	-	6	-
M4806 脊柱管狭窄(症)	計	5	0.5	-	-	5	-
	男	3	0.7	-	-	3	-
	女	2	0.4	-	-	2	-
M488 その他の明示された脊椎障害	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
M512 その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
M625 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
m6259 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの	計	3	0.3	3	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
M654 橈骨茎状突起腱鞘炎[ドゥ ケルバン病]	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
M659 滑膜炎及び腱鞘炎、詳細不明	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
M712 膝窩部滑膜のう<囊>腫[ペーカ-のう<囊>腫]	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
M7909 リウマチ、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
M791 筋(肉)痛	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
M7918 筋(肉)痛	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
M7919 筋(肉)痛	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
M8419 骨折の骨癒合不全[偽関節]	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
M8686 その他の骨髄炎	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
M960 骨癒合術後又は関節固定術後の偽関節	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
N12 尿管管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	5	0.5	5	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	3	0.6	3	-	-	-
N136 膿腎(症)	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
N179 急性腎不全、詳細不明	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
N189 慢性腎不全、詳細不明	計	5	0.5	4	1	-	-
	男	5	1.1	4	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
N201 尿管結石	計	3	0.3	3	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
N280 腎虚血及び腎梗塞	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
N289 腎及び尿管の障害、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
N309 膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
N390 尿路感染症、部位不明	計	18	1.8	18	-	-	-
	男	6	1.4	6	-	-	-
	女	12	2.3	12	-	-	-
P268 周産期に発生したその他の肺出血	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
Q401 先天性食道裂孔ヘルニア	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
Q613 多発性のう〈囊〉胞腎、病型不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
R02 え〈壊〉疽、他に分類されないもの	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
R040 鼻出血	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
R090 窒息	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
R100 急性腹症	計	4	0.4	-	4	-	-
	男	2	0.5	-	2	-	-
	女	2	0.4	-	2	-	-
R11 悪心及び嘔吐	計	4	0.4	3	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	3	0.6	3	-	-	-
R17 詳細不明の黄疸	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
R31 詳細不明の血尿	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
R402 昏睡、詳細不明	計	11	1.1	11	-	-	-
	男	6	1.4	6	-	-	-
	女	5	0.9	5	-	-	-
R42 めまい〈眩暈〉感及びよろめき感	計	19	2.0	19	-	-	-
	男	4	0.9	4	-	-	-
	女	15	2.8	15	-	-	-
R509 発熱、詳細不明	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
R51 頭痛	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
R53 倦怠(感)及び疲労	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
R54 老衰	計	3	0.3	3	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	2	0.4	2	-	-	-
R568 その他及び詳細不明のけいれん<痙攣>	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
R601 全身性浮腫	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
R630 食欲不振	計	2	0.2	2	-	-	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
S009 頭部の表在損傷、部位不明	計	2	0.2	-	2	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	2	-	-
S010 頭皮の開放創	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
S018 頭部のその他の部位の開放創	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
S064 硬膜外出血	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
S0650 外傷性硬膜下出血	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
S066 外傷性くも膜下出血	計	3	0.3	-	3	-	-
	男	3	0.7	-	3	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
S141 頸髄のその他及び詳細不明の損傷	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S2200 胸椎骨折	計	8	0.8	-	-	8	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	7	1.3	-	-	7	-
S2220 胸骨骨折	計	2	0.2	-	1	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
S2720 外傷性血気胸	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
S2780 その他の明示された胸腔内臓器の損傷	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
S300 下背部及び骨盤部の挫傷【腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷】	計	3	0.3	-	-	3	-
	男	2	0.5	-	-	2	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S3200 腰椎骨折	計	25	2.6	-	1	24	-
	男	5	1.1	-	-	5	-
	女	20	3.8	-	1	19	-
S3230 腸骨骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S325 恥骨骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S3250 恥骨骨折	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	-	2	-
S420 鎖骨骨折	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
S421 肩甲骨骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
S422 上腕骨近位端骨折	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	-	2	-
S423 上腕骨骨幹部骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S4230 上腕骨骨幹部骨折	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	-	2	-
S424 上腕骨遠位端骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S4240 上腕骨遠位端骨折	計	4	0.4	-	-	4	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	-	-	4	-
S430 肩関節脱臼	計	4	0.4	-	-	4	-
	男	2	0.5	-	-	2	-
	女	2	0.4	-	-	2	-
S460 肩(回旋筋)腱板の腱損傷	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
S5220 尺骨骨幹部骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
S525 橈骨遠位端骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S5250 橈骨遠位端骨折	計	4	0.4	-	-	4	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	-	-	4	-
S6230 その他の中手骨骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
S660 手首及び手の母指の長屈筋及び腱の損傷	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
S668 手首及び手のその他の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
S700 股関節部の挫傷	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
S711 大腿の開放創	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
S7200 大腿骨頸部骨折	計	9	0.9	-	-	9	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	8	1.5	-	-	8	-
S7210 転子貫通骨折	計	14	1.4	-	-	14	-
	男	2	0.5	-	-	2	-
	女	12	2.3	-	-	12	-
S7230 大腿骨骨幹部骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S7240 大腿骨遠位端骨折	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	-	2	-
S731 股関節部の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S800 膝の挫傷	計	3	0.3	-	-	3	-
	男	2	0.5	-	-	2	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S820 膝蓋骨骨折	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	-	2	-
S8200 膝蓋骨骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S821 脛骨近位端骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
S8210 脛骨近位端骨折	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S822 脛骨骨幹部骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
S8220 脛骨骨幹部骨折	計	3	0.3	-	1	2	-
	男	2	0.5	-	1	1	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S8250 内果骨折	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	-	2	-
S8280 下腿のその他の部位の骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S832 半月裂傷<断裂>、新鮮損傷	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
S835 膝の(前)(後)十字靭帯の捻挫及びストレイン	計	2	0.2	-	-	2	-
	男	2	0.5	-	-	2	-
	女	-	-	-	-	-	-
S836 膝のその他及び部位不明の捻挫及びストレイン	計	3	0.3	-	-	3	-
	男	2	0.5	-	-	2	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S837 膝の組織の多発性損傷	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S860 アキレス腱損傷	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
S900 足首の挫傷	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
S9200 踵骨骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
S9230 中足骨骨折	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
S934 足首の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
T009 多発性表在損傷、詳細不明	計	2	0.2	-	1	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	-	1	1	-
T080 脊椎骨折、部位不明	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
T090 体幹の表在損傷、部位不明	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
T140 部位不明の表在損傷	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	1	-	-
T141 部位不明の開放創	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
T146 部位不明の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
T172 咽頭内異物	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
T253 足首及び足の第3度熱傷	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
T486 抗喘息薬、他に分類されないもの【主として平滑筋、骨格筋及び呼吸器系に作用する薬物による中毒】	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
T630 ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	2	0.2	-	2	-	-
	男	2	0.5	-	2	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
T634 その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
T678 熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	3	0.3	3	-	-	-
	男	3	0.7	3	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
T68 低体温(症)	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
T814 処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	-	-	1	-
T823 その他の血管移植片の機械的合併症	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
T824 血管透析カテーテルの機械的合併症	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	1	-	-	-
T828 心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片のその他の合併症	計	1	0.1	1	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
T875 切断端のえく壊>死	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
Z031 悪性新生物の疑いに対する観察	計	9	0.9	9	-	-	-
	男	4	0.9	4	-	-	-
	女	5	0.9	5	-	-	-
Z038 その他の疾病及び病態の疑いに対する観察	計	5	0.5	5	-	-	-
	男	1	0.2	1	-	-	-
	女	4	0.8	4	-	-	-
Z041 交通事故後における検査及び観察	計	1	0.1	-	-	1	-
	男	1	0.2	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-
Z470 骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察<フォローアップ>ケア	計	12	1.2	1	-	11	-
	男	6	1.4	1	-	5	-
	女	6	1.1	-	-	6	-
Z501 その他の理学療法	計	11	1.1	2	2	7	-
	男	4	0.9	-	2	2	-
	女	7	1.3	2	-	5	-
Z515 緩和ケア	計	1	0.1	-	1	-	-
	男	1	0.2	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
Z988 その他の明示された術後状態	計	5	0.5	2	-	3	-
	男	2	0.5	2	-	-	-
	女	3	0.6	-	-	3	-

3. 疾病別・年齢階層別・男女別・統計

(人)

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-	
総数	計	974	100.0	77.5	-	-	1	1	-	5	10	13	14	45	51	36	88	190	227	152	141	
	男	443	45.5	74.7	-	-	1	-	-	4	5	11	9	28	35	15	37	91	100	67	40	
	女	531	54.5	79.7	-	-	-	1	-	1	5	2	5	17	16	21	51	99	127	85	101	
構成比 (%)	計	100.0			-	-	0.1	0.1	-	0.5	1.0	1.3	1.4	4.6	5.2	3.7	9.0	19.5	23.3	15.6	14.5	
	男	100.0			-	-	0.2	-	-	0.9	1.1	2.5	2.0	6.3	7.9	3.4	8.4	20.5	22.6	15.1	9.0	
	女	100.0			-	-	-	0.2	-	0.2	0.9	0.4	0.9	3.2	3.0	4.0	9.6	18.6	23.9	16.0	19.0	
A049 細菌性腸管感染症、詳細不明	計	1	0.1	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	12	1.2	71.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	5	2	1	1	1	
	男	2	0.5	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	
	女	10	1.9	71.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	2	1	-	1	
A281 ネコひっかき<猫掻>病	計	1	0.1	67.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	男	1	0.2	67.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A419 敗血症、詳細不明	計	2	0.2	101.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	2	0.4	101.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
A46 丹毒	計	2	0.2	88.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	男	2	0.5	88.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
B440 侵襲性肺炎スルギルス症	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
C155 下部食道【食道の悪性新生物】	計	1	0.1	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	男	1	0.2	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
C159 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	3	0.3	73.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	
	男	3	0.7	73.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	10	1.0	84.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	7	1	
	男	7	1.6	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	
	女	3	0.6	79.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	
C182 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	3	0.3	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	
	男	1	0.2	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	女	2	0.4	74.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
C184 横行結腸【結腸の悪性新生物】	計	2	0.2	84.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	2	0.4	84.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	
C187 S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	2	0.2	78.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
	男	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	女	1	0.2	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
C189 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	6	0.6	77.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	1	-	-	
	男	2	0.5	81.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	
	女	4	0.8	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	
C20 直腸の悪性新生物	計	5	0.5	71.6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	1	1	-	
	男	4	0.9	73.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-	
	女	1	0.2	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
C220 肝癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	1	0.1	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	1	0.2	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
C23 胆のう<嚢>の悪性新生物	計	1	0.1	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	1	0.2	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
C252 膵尾部【膵の悪性新生物】	計	1	0.1	57.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	男	1	0.2	57.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
C329 喉頭、部位不明【喉頭の悪性新生物】	計	2	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
	男	2	0.5	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	9	0.9	79.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	4	-	-
	男	5	1.1	81.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
	女	4	0.8	76.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-
C56 卵巣の悪性新生物	計	2	0.2	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
C61 前立腺の悪性新生物	計	1	0.1	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C762 腹部【その他及び部位不明の悪性新生物】	計	1	0.1	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C798 その他の明示された部位の続発性悪性新生物	計	1	0.1	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C859 非ホジキンリンパ腫、型不明	計	2	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
C880 ワルデンストレ-ムマクログロブリン血症	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C900 多発性骨髄腫	計	2	0.2	77.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	男	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	1	0.2	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
D126 結腸、部位不明【結腸、直腸】	計	4	0.4	73.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-
	男	3	0.7	73.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-
	女	1	0.2	72.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
D219 結合組織及びその他の軟部組織、部位不明	計	1	0.1	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D27 卵巣の良性新生物	計	1	0.1	92.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	92.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
D619 無形成性貧血、詳細不明	計	1	0.1	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D649 貧血、詳細不明	計	1	0.1	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D693 特発性血小板減少性紫斑病	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
D763 その他の組織球症候群	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E11 インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>	計	1	0.1	42.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	42.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E14 詳細不明の糖尿病	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
E142 腎合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	4	0.4	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
	男	4	0.9	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E46 詳細不明のたんぱく<蛋白>エネルギー栄養失調(症)	計	2	0.2	76.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
	男	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	1	0.2	73.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
E512 ウェルニッケ脳症<エンセファロパチ>	計	1	0.1	59.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	59.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E835 カルシウム代謝障害	計	1	0.1	52.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	52.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
E86 体液量減少(症)	計	14	1.4	85.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3	1	6
	男	3	0.7	82.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1
	女	11	2.1	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	1	5
E871 低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
E876 低カリウム<K>血症	計	1	0.1	98.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	98.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
F03 詳細不明の認知症	計	11	1.1	88.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	4	5
	男	4	0.9	89.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2
	女	7	1.3	87.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	3
F319 双極性感情障害、詳細不明	計	1	0.1	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
F329 うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.1	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
F411 全般性不安障害	計	2	0.2	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	男	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	1	0.2	91.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
F430 急性ストレス反応	計	1	0.1	52.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	52.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
F453 身体表現性自律神経機能不全	計	2	0.2	65.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	65.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
F459 身体表現性障害、詳細不明	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
F508 その他の摂食障害	計	1	0.1	91.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	91.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
F509 摂食障害、詳細不明	計	3	0.3	94.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	94.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
G20 パーキンソン病	計	2	0.2	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	男	2	0.5	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G309 アルツハイマー病、詳細不明	計	1	0.1	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
G408 その他のてんかん	計	2	0.2	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	男	1	0.2	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	1	0.2	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
G409 てんかん、詳細不明	計	2	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	68.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
G459 一過性脳虚血発作、詳細不明	計	5	0.5	83.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-
	男	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	4	0.8	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-
G473 睡眠時無呼吸	計	4	0.4	57.0	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	4	0.9	57.0	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G522 迷走神経障害	計	2	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	男	2	0.5	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G560 手根管症候群	計	2	0.2	62.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	62.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
G563 橈骨神経の病変	計	2	0.2	73.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	男	1	0.2	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	1	0.2	73.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
G821 けいこ瘧>性対麻痺【対麻痺及び四肢麻痺】	計	1	0.1	24.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	24.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G901 家族性自律神経異常症[ライリー・デイ症候群]	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
G931 無酸素性脳損傷、他に分類されないもの	計	2	0.2	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
G952 脊髄圧迫、詳細不明	計	1	0.1	30.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	30.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G959 脊髄疾患、詳細不明	計	1	0.1	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H020 眼瞼内反(症)及び(眼瞼)睫毛乱生(症)	計	1	0.1	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H110 翼状片	計	3	0.3	75.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
	男	2	0.5	73.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
	女	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
H259 老人性白内障、詳細不明	計	84	8.6	76.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	8	13	28	18	8	3
	男	38	8.6	77.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	2	13	11	5	1
	女	46	8.7	76.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	11	15	7	3	2
H814 中枢性めまい<眩暈(症)>	計	2	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	男	1	0.2	91.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	1	0.2	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	計	1	0.1	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I209 狭心症、詳細不明	計	2	0.2	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	男	2	0.5	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I219 急性心筋梗塞、詳細不明	計	1	0.1	92.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	92.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
I48 心房細動及び粗動	計	3	0.3	81.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
	男	1	0.2	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	2	0.4	79.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
I500 うっ血性心不全	計	1	0.1	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
I509 心不全、詳細不明	計	35	3.6	87.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	11	5	17
	男	12	2.7	86.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	2	6
	女	23	4.3	88.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	3	11
I610 (大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	2	0.2	82.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	82.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
I619 脳内出血、詳細不明	計	4	0.4	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1
	男	1	0.2	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	3	0.6	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
I629 頭蓋内出血(非外傷性)、詳細不明	計	2	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	男	2	0.5	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I634 脳動脈の塞栓症による脳梗塞	計	1	0.1	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
I638 その他の脳梗塞	計	6	0.6	82.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	-	1
	男	3	0.7	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
	女	3	0.6	85.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
I639 脳梗塞、詳細不明	計	22	2.3	82.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	7	4	4
	男	13	2.9	80.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	4	1	2
	女	9	1.7	85.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3	2

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
I679 脳血管疾患、詳細不明	計	1	0.1	45.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	45.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I691 脳内出血の続発・後遺症	計	1	0.1	95.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	95.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
I693 脳梗塞の続発・後遺症	計	10	1.0	84.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	2	2
	男	5	1.1	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1
	女	5	0.9	85.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1
I709 全身性及び詳細不明のアテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	計	1	0.1	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I712 胸部大動脈瘤、破裂の記載がないもの	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I723 腸骨動脈瘤	計	1	0.1	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I745 腸骨動脈の塞栓症及び血栓症	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
I842 合併症を伴わない内痔核	計	1	0.1	67.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	67.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
J029 急性咽頭炎、詳細不明	計	1	0.1	61.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	61.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J069 急性上気道感染症、詳細不明	計	2	0.2	75.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	75.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの	計	2	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	男	2	0.5	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J152 ブドウ球菌による肺炎	計	1	0.1	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J189 肺炎、詳細不明	計	79	8.1	83.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	-	4	7	26	13	22
	男	38	8.6	83.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	4	4	12	6	10
	女	41	7.7	83.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	3	14	7	12	
J209 急性気管支炎、詳細不明	計	8	0.8	75.1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	1	2	1	1
	男	3	0.7	64.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	女	5	0.9	81.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	1
J40 気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
J439 肺炎腫、詳細不明	計	1	0.1	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J441 急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.3	78.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1
	男	3	0.7	78.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J448 その他の明示された慢性閉塞性肺疾患	計	1	0.1	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J449 慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	5	0.5	70.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	1	-	-
	男	5	1.1	70.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J459 喘息、詳細不明	計	3	0.3	60.7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	男	2	0.5	71.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	女	1	0.2	39.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J46 喘息発作重症状態	計	5	0.5	54.8	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
	男	4	0.9	62.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
	女	1	0.2	26.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
J690 食物及び吐物による肺臓炎	計	23	2.4	85.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	8	2	8
	男	14	3.2	82.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	5	1	3
	女	9	1.7	90.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	5
J80 成人呼吸窮<促>迫症候群<ARDS>	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J841 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	計	1	0.1	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
J852 肺炎を伴わない肺膿瘍	計	1	0.1	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
J869 瘻(孔)を伴わない膿胸(症)	計	1	0.1	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
J90 胸水、他に分類されないもの	計	1	0.1	51.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	51.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J931 その他の自然気胸	計	1	0.1	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J939 気胸、詳細不明	計	3	0.3	85.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
	男	3	0.7	85.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J942 血胸	計	1	0.1	98.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	98.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
J954 メンデルソン症候群	計	1	0.1	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	1	0.2	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J961 慢性呼吸不全	計	1	0.1	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J969 呼吸不全、詳細不明	計	1	0.1	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
J981 肺虚脱	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K226 食道胃接合部裂傷出血症候群	計	1	0.1	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K259 急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	2	0.2	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	53.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
K291 その他の急性胃炎	計	1	0.1	96.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	96.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
K318 胃及び十二指腸のその他の明示された疾患	計	1	0.1	72.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	72.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
K359 急性虫垂炎、詳細不明	計	4	0.4	39.5	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	2	0.5	27.5	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	51.5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
K409 一側性又は患側不明のそけい<崕径>ヘルニア、閉塞又はえ<壊>疽を伴わないもの	計	9	0.9	76.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	2	3	-
	男	9	2.0	76.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	2	3	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K413 一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア、閉塞を伴い	計	1	0.1	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
K419 一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア、閉塞又はえ<壊>疽を伴わないもの	計	1	0.1	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
K500 小腸のクローン病	計	1	0.1	16.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	16.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K559 腸の血行障害、詳細不明	計	5	0.5	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1
	男	1	0.2	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	83.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
K565 閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	2	0.2	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
K566 その他及び詳細不明の腸閉塞	計	4	0.4	79.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	1
	男	2	0.5	68.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	女	2	0.4	90.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
K567 イレウス、詳細不明	計	10	1.0	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	3	1	2
	男	5	1.1	77.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	1	1	-
	女	5	0.9	84.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2
K573 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	3	0.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	男	2	0.5	62.5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	1	0.2	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
K579 腸の憩室性疾患、部位不明	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K590 便秘	計	2	0.2	56.5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	1	0.2	29.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K593 巨大結腸、他に分類されないもの	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K602 裂肛、詳細不明	計	1	0.1	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K603 痔瘻	計	1	0.1	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	66.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
K621 直腸ポリープ	計	2	0.2	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	男	2	0.5	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K622 肛門脱<脱肛>	計	2	0.2	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
K632 腸瘻(孔)	計	1	0.1	94.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	94.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
K638 腸のその他の明示された疾患	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K639 腸の疾患、詳細不明	計	1	0.1	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K658 その他の腹膜炎	計	1	0.1	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K659 腹膜炎、詳細不明	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
K704 アルコール性肝不全	計	1	0.1	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K709 アルコール性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	53.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	53.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K729 肝不全、詳細不明	計	1	0.1	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
K746 その他及び詳細不明の肝硬変	計	1	0.1	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K750 肝臓癌	計	1	0.1	72.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	72.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K768 その他の明示された肝疾患	計	1	0.1	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K801 その他の胆のうく嚢く炎を伴う胆のうく嚢く結石	計	2	0.2	89.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	男	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	1	0.2	91.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
K802 胆のうく嚢く炎を伴わない胆のうく嚢く結石	計	2	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
K804 胆のうく嚢く炎を伴う胆管結石	計	1	0.1	68.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	68.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
K805 胆管炎又は胆のうく嚢く炎を伴わない胆管結石	計	2	0.2	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	男	2	0.5	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K808 その他の胆石症	計	1	0.1	62.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	62.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K810 急性胆のうく嚢く炎	計	4	0.4	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-
	男	2	0.5	80.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	女	2	0.4	61.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
K811 慢性胆のうく嚢く炎	計	1	0.1	43.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	43.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
K819 胆のうく嚢く炎、詳細不明	計	2	0.2	81.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	81.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
K830 胆管炎	計	1	0.1	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K839 胆道の疾患、詳細不明	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K861 その他の慢性膵炎	計	3	0.3	52.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
	男	3	0.7	52.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K913 術後腸閉塞	計	1	0.1	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K921 メレナ	計	1	0.1	67.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	67.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K922 胃腸出血、詳細不明	計	3	0.3	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
K928 消化器系のその他の明示された疾患	計	2	0.2	69.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
	男	2	0.5	69.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L022 体幹の皮膚膿瘍、せつくフルンケルく及びぶようくカルブンケルく	計	1	0.1	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L030 手指及び趾く足ゆびくの蜂巣炎く蜂窩織炎く	計	1	0.1	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
L031 (四)肢のその他の部位の蜂巣炎く蜂窩織炎く	計	1	0.1	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
L039 蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	1	0.1	73.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	73.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L048 その他の部位の急性リンパ節炎	計	1	0.1	45.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	45.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L89 じょく<褥>瘡性潰瘍	計	3	0.3	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1
L97 下肢の潰瘍、他に分類されないもの	計	1	0.1	61.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	61.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L984 皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M061 成人発症スチル病	計	1	0.1	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	83.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
M069 関節リウマチ、詳細不明	計	2	0.2	92.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	92.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
M130 多発性関節炎、詳細不明	計	1	0.1	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
M131 単(発性)関節炎、他に分類されないもの	計	4	0.4	85.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1
	男	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	3	0.6	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
M169 股関節症、詳細不明	計	5	0.5	75.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	1	1	-
	男	2	0.5	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	女	3	0.6	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-
M171 その他の原発性膝関節症	計	3	0.3	73.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	73.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-
M179 膝関節症、詳細不明	計	14	1.4	78.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	7	6	-	-
	男	2	0.5	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	女	12	2.3	78.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	6	5	-	-
M199 関節症、詳細不明	計	1	0.1	59.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	59.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
M245 関節拘縮	計	1	0.1	61.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	61.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
M353 リウマチ性多発筋痛症	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
M359 全身性結合組織疾患、詳細不明	計	1	0.1	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M471 ミエロパチ<シ>-<脊髄障害>を伴うその他の脊椎症	計	2	0.2	49.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	49.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M478 その他の脊椎症	計	1	0.1	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
M480 脊柱管狭窄(症)	計	14	1.4	71.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	3	-	2	3	2	-
	男	7	1.6	68.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-	1	1	-
	女	7	1.3	75.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	2	1	-
M4806 脊柱管狭窄(症)	計	5	0.5	74.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	1	1	-
	男	3	0.7	72.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-
	女	2	0.4	77.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
M488 その他の明示された脊椎障害	計	1	0.1	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
M512 その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	計	2	0.2	47.5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	28.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	67.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
M625 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの	計	2	0.2	78.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	男	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	1	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
m6259 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの	計	3	0.3	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
	男	1	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	2	0.4	79.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
M654 橈骨茎状突起腱鞘炎[ドゥケルバン病]	計	1	0.1	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
M659 滑膜炎及び腱鞘炎、詳細不明	計	1	0.1	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M712 膝窩部滑膜のうく囊>腫[ペーカールのうく囊>腫]	計	2	0.2	75.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
	男	1	0.2	72.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	1	0.2	79.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M7909 リウマチ、詳細不明	計	1	0.1	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M791 筋(肉)痛	計	1	0.1	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M7918 筋(肉)痛	計	1	0.1	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M7919 筋(肉)痛	計	1	0.1	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M8419 骨折の骨癒合不全[偽関節]	計	1	0.1	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M8686 その他の骨髄炎	計	1	0.1	62.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	62.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M960 骨癒合術後又は関節固定術後の偽関節	計	1	0.1	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N12 尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	5	0.5	63.2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1
	男	2	0.5	68.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	3	0.6	60.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
N136 膿腎(症)	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
N179 急性腎不全、詳細不明	計	2	0.2	62.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
	男	2	0.5	62.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N189 慢性腎不全、詳細不明	計	5	0.5	81.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1	-
	男	5	1.1	81.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N201 尿管結石	計	3	0.3	47.7	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	45.0	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	53.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
N280 腎虚血及び腎梗塞	計	1	0.1	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N289 腎及び尿管の障害、詳細不明	計	1	0.1	55.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	55.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
N309 膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
N390 尿路感染症、部位不明	計	18	1.8	84.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4	5	4
	男	6	1.4	85.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	2
	女	12	2.3	84.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	3	2
P268 周産期に発生したその他の肺出血	計	1	0.1	94.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	1	0.2	94.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q401 先天性食道裂孔ヘルニア	計	1	0.1	95.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	95.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
Q613 多発性のうく嚢>胞腎、病型不明	計	1	0.1	64.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	64.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R02 えく壊>疔、他に分類されないもの	計	1	0.1	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R040 鼻出血	計	1	0.1	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
R090 窒息	計	1	0.1	102.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	102.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
R100 急性腹症	計	4	0.4	66.3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
	男	2	0.5	81.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	女	2	0.4	51.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
R11 悪心及び嘔吐	計	4	0.4	77.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	1
	男	1	0.2	61.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
R17 詳細不明の黄疸	計	1	0.1	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R31 詳細不明の血尿	計	1	0.1	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
R402 昏睡、詳細不明	計	11	1.1	82.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	2	2
	男	6	1.4	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	1
	女	5	0.9	82.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1
R42 めまい<眩暈>感及びよるめき感	計	19	2.0	80.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	5	2	6	3
	男	4	0.9	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	-
	女	15	2.8	81.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	2	5	3
R509 発熱、詳細不明	計	1	0.1	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
R51 頭痛	計	1	0.1	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R53 倦怠(感)及び疲労	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
R54 老衰	計	3	0.3	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
	男	1	0.2	91.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	2	0.4	83.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
R568 その他及び詳細不明のけいれん<痙攣>	計	1	0.1	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R601 全身性浮腫	計	1	0.1	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
R630 食欲不振	計	2	0.2	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	男	2	0.5	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S009 頭部の表在損傷、部位不明	計	2	0.2	76.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	76.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
S010 頭皮の開放創	計	1	0.1	65.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	65.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
S018 頭部のその他の部位の開放創	計	1	0.1	39.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	39.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S064 硬膜外出血	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S0650 外傷性硬膜下出血	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S066 外傷性くも膜下出血	計	3	0.3	76.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
	男	3	0.7	76.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S141 頸髄のその他及び詳細不明の損傷	計	2	0.2	72.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	男	1	0.2	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	1	0.2	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S2200 胸椎骨折	計	8	0.8	75.4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	2	1	1
	男	1	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	7	1.3	74.4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	1	1	1
S2220 胸骨骨折	計	2	0.2	70.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	男	1	0.2	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	1	0.2	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S2720 外傷性血気胸	計	1	0.1	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S2780 その他の明示された胸腔内臓器の損傷	計	1	0.1	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S300 下背部及び骨盤部の挫傷【腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷】	計	3	0.3	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-
	男	2	0.5	68.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	女	1	0.2	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
S3200 腰椎骨折	計	25	2.6	81.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	5	10	5	3
	男	5	1.1	78.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	1	1
	女	20	3.8	82.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	9	4	2
S3230 腸骨骨折	計	1	0.1	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S325 恥骨骨折	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
S3250 恥骨骨折	計	2	0.2	88.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	88.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
S420 鎖骨骨折	計	1	0.1	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
S421 肩甲骨骨折	計	1	0.1	61.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	61.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S422 上腕骨近位端骨折	計	2	0.2	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	87.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
S423 上腕骨骨幹部骨折	計	1	0.1	91.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	91.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
S4230 上腕骨骨幹部骨折	計	2	0.2	80.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	80.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
S424 上腕骨遠位端骨折	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
S4240 上腕骨遠位端骨折	計	4	0.4	64.3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	64.3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
S430 肩関節脱臼	計	4	0.4	49.3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	男	2	0.5	17.0	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	81.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
S460 肩(回旋筋)腱板の腱損傷	計	1	0.1	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	70.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S5220 尺骨骨幹部骨折	計	1	0.1	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S525 橈骨遠位端骨折	計	1	0.1	72.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	72.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S5250 橈骨遠位端骨折	計	4	0.4	69.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	69.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-	-
S6230 その他の中手骨骨折	計	1	0.1	28.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	28.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S660 手首及び手の母指の長屈筋及び腱の損傷	計	1	0.1	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S668 手首及び手のその他の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S700 股関節部の挫傷	計	1	0.1	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S711 大腿の開放創	計	1	0.1	67.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	67.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S7200 大腿骨頸部骨折	計	9	0.9	78.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	1	3	1
	男	1	0.2	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	8	1.5	81.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	3	1
S7210 転子貫通骨折	計	14	1.4	86.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	1	6
	男	2	0.5	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	女	12	2.3	87.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1	6
S7230 大腿骨骨幹部骨折	計	1	0.1	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S7240 大腿骨遠位端骨折	計	2	0.2	91.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	91.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
S731 股関節部の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	84.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
S800 膝の挫傷	計	3	0.3	80.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1
	男	2	0.5	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	女	1	0.2	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
S820 膝蓋骨骨折	計	2	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
S8200 膝蓋骨骨折	計	1	0.1	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
S821 脛骨近位端骨折	計	1	0.1	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
S8210 脛骨近位端骨折	計	2	0.2	83.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	男	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	1	0.2	91.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
S822 脛骨骨幹部骨折	計	1	0.1	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S8220 脛骨骨幹部骨折	計	3	0.3	54.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	2	0.5	61.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	1	0.2	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S8250 内果骨折	計	2	0.2	82.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	82.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
S8280 下腿のその他の部位の骨折	計	1	0.1	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	89.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
S832 半月裂傷<断裂>、新鮮損傷	計	1	0.1	26.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	26.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S835 膝の(前)(後)十字靭帯の捻挫及びストレイン	計	2	0.2	49.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	49.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S836 膝のその他及び部位不明の捻挫及びストレイン	計	3	0.3	59.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-
	男	2	0.5	51.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
S837 膝の組織の多発性損傷	計	1	0.1	54.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	54.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
S860 アキレス腱損傷	計	1	0.1	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	74.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S900 足首の挫傷	計	1	0.1	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S9200 踵骨骨折	計	1	0.1	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S9230 中足骨骨折	計	1	0.1	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
S934 足首の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T009 多発性表在損傷、詳細不明	計	2	0.2	81.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	81.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
T080 脊椎骨折、部位不明	計	1	0.1	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
T090 体幹の表在損傷、部位不明	計	1	0.1	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	88.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T140 部位不明の表在損傷	計	1	0.1	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	85.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
T141 部位不明の開放創	計	1	0.1	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	1	0.2	86.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T146 部位不明の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	52.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	52.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
T172 咽頭内異物	計	1	0.1	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T253 足首及び足の第3度熱傷	計	1	0.1	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	77.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
T486 抗喘息薬、他に分類されないもの【主として平滑筋、骨格筋及び呼吸器系に作用する薬物による中毒】	計	1	0.1	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	82.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
T630 ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	2	0.2	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T634 その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	65.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	65.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T678 熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	3	0.3	64.3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	男	3	0.7	64.3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T68 低体温（症）	計	1	0.1	91.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	91.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T814 処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
T823 その他の血管移植片の機械的合併症	計	1	0.1	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	71.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
T824 血管透析カテーテルの機械的合併症	計	1	0.1	55.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	55.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
T828 心臓及び血管のプロステシス、挿入物及び移植片のその他の合併症	計	1	0.1	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T875 切断端のえく壊＞死	計	1	0.1	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	63.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Z031 悪性新生物の疑いに対する観察	計	9	0.9	75.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	4	2	1	-
	男	4	0.9	73.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	-	-
	女	5	0.9	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	1	-
Z038 その他の疾病及び病態の疑いに対する観察	計	5	0.5	76.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	2	-	1
	男	1	0.2	56.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1
Z041 交通事故後における検査及び観察	計	1	0.1	52.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	52.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Z470 骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察＜フォローアップ＞ケア	計	12	1.2	55.3	-	-	-	-	-	-	1	1	1	3	2	2	2	-	-	-	-
	男	6	1.4	50.8	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	1	1	-	-	-	-
	女	6	1.1	59.7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	1	-	-	-	-
Z501 その他の理学療法	計	11	1.1	73.3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	4	4	-	-
	男	4	0.9	63.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-
	女	7	1.3	79.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	-	-
Z515 緩和ケア	計	1	0.1	93.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	1	0.2	93.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Z988 その他の明示された術後状態	計	5	0.5	77.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-
	男	2	0.5	81.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	女	3	0.6	74.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-

4. 疾病別・在院期間別・男女別・統計

(人)

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
総数	計	974	100.0	25,623	26.3	278	181	160	110	164	42	28	9	1	1
	男	443	45.5	10,862	24.5	140	91	71	37	67	17	15	5	-	-
	女	531	54.5	14,761	27.8	138	90	89	73	97	25	13	4	1	1
構成比 (%)	計	100.0				28.5	18.6	16.4	11.3	16.8	4.3	2.9	0.9	0.1	0.1
	男	100.0				31.6	20.5	16.0	8.4	15.1	3.8	3.4	1.1	-	-
	女	100.0				26.0	16.9	16.8	13.7	18.3	4.7	2.4	0.8	0.2	0.2
A049 細菌性腸管感染症、詳細不明	計	1	0.1	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	12	1.2	253	21.1	4	3	2	1	1	-	1	-	-	-
	男	2	0.5	20	10.0	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	10	1.9	233	23.3	3	3	1	1	1	-	1	-	-	-
A281 ネコひっかき<猫掻>病	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A419 敗血症、詳細不明	計	2	0.2	44	22.0	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	44	22.0	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
A46 丹毒	計	2	0.2	29	14.5	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	29	14.5	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B440 侵襲性肺アスペルギルス症	計	1	0.1	51	51.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	51	51.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
C155 下部食道【食道の悪性新生物】	計	1	0.1	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C159 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	3	0.3	78	26.0	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-
	男	3	0.7	78	26.0	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	10	1.0	330	33.0	1	1	2	3	1	2	-	-	-	-
	男	7	1.6	217	31.0	1	-	2	2	1	1	-	-	-	-
	女	3	0.6	113	37.7	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
C182 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	3	0.3	52	17.3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	20	20.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	32	16.0	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
C184 横行結腸【結腸の悪性新生物】	計	2	0.2	50	25.0	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	50	25.0	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
C187 S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	2	0.2	53	26.5	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	48	48.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
C189 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	6	0.6	59	9.8	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	43	21.5	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	16	4.0	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C20 直腸の悪性新生物	計	5	0.5	143	28.6	-	1	1	1	2	-	-	-	-	-
	男	4	0.9	129	32.3	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
C220 肝癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C23 胆のう<嚢>の悪性新生物	計	1	0.1	22	22.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	22	22.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
C252 膵尾部【膵の悪性新生物】	計	1	0.1	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C329 喉頭、部位不明【喉頭の悪性新生物】	計	2	0.2	45	22.5	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	45	22.5	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	9	0.9	411	45.7	-	1	3	-	1	4	-	-	-	-
	男	5	1.1	232	46.4	-	1	1	-	1	2	-	-	-	-
	女	4	0.8	179	44.8	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-
C56 卵巣の悪性新生物	計	2	0.2	15	7.5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	15	7.5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
C61 前立腺の悪性新生物	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C762 腹部【その他及び部位不明確の悪性新生物】	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C798 その他の明示された部位の続発性悪性新生物	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C859 非ホジキンリンパ腫、型不明	計	2	0.2	54	27.0	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	54	27.0	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
C880 ワルデンストレ-ムマクログロブリン血症	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C900 多発性骨髄腫	計	2	0.2	262	131.0	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	1	0.2	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
D126 結腸、部位不明【結腸、直腸】	計	4	0.4	14	3.5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	3	0.7	10	3.3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D219 結合組織及びその他の軟部組織、部位不明	計	1	0.1	65	65.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	65	65.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
D27 卵巣の良性新生物	計	1	0.1	48	48.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	48	48.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
D619 無形成性貧血、詳細不明	計	1	0.1	62	62.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	62	62.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
D649 貧血、詳細不明	計	1	0.1	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
D693 特発性血小板減少性紫斑病	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D763 その他の組織球症症候群	計	1	0.1	37	37.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	37	37.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
E11 インスリン非依存性糖尿病<N I D D M>	計	1	0.1	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
E14 詳細不明の糖尿病	計	1	0.1	30	30.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	30	30.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
E142 腎合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	4	0.4	34	8.5	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	4	0.9	34	8.5	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
E46 詳細不明のたんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	計	2	0.2	33	16.5	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
E512 ウェルニッケ脳症<エンセファロパチ<シ>->	計	1	0.1	31	31.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	31	31.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
E835 カルシウム代謝障害	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
E86 体液量減少(症)	計	14	1.4	364	26.0	8	2	-	1	-	1	2	-	-	-
	男	3	0.7	88	29.3	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	11	2.1	276	25.1	7	1	-	1	-	-	2	-	-	-
E871 低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	36	18.0	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	36	18.0	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
E876 低カリウム<K>血症	計	1	0.1	11	11.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	11	11.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
F03 詳細不明の認知症	計	11	1.1	591	53.7	1	1	2	2	3	-	1	1	-	-
	男	4	0.9	71	17.8	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-
	女	7	1.3	520	74.3	1	-	-	1	3	-	1	1	-	-
F319 双極性感情障害、詳細不明	計	1	0.1	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F329 うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.1	20	20.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	20	20.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
F411 全般性不安障害	計	2	0.2	18	9.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	15	15.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
F430 急性ストレス反応	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F453 身体表現性自律神経機能不全	計	2	0.2	4	2.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	4	2.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F459 身体表現性障害、詳細不明	計	1	0.1	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F508 その他の摂食障害	計	1	0.1	63	63.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	63	63.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
F509 摂食障害、詳細不明	計	3	0.3	37	12.3	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	37	12.3	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
G20 パーキンソン病	計	2	0.2	53	26.5	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	53	26.5	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G309 アルツハイマー病、詳細不明	計	1	0.1	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
G408 その他のてんかん	計	2	0.2	46	23.0	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	36	36.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
G409 てんかん、詳細不明	計	2	0.2	53	26.5	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	50	50.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
G459 一過性脳虚血発作、詳細不明	計	5	0.5	101	20.2	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	99	24.8	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-
G473 睡眠時無呼吸	計	4	0.4	8	2.0	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	4	0.9	8	2.0	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G522 迷走神経障害	計	2	0.2	31	15.5	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	31	15.5	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G560 手根管症候群	計	2	0.2	6	3.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	6	3.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G563 橈骨神経の病変	計	2	0.2	9	4.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
G821	けいこ瘧 > 性対麻痺【対麻痺及び四肢麻痺】	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G901	家族性自律神経異常症[ライリー・デイ症候群]	計	1	0.1	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G931	無酸素性脳損傷、他に分類されないもの	計	2	0.2	13	6.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	13	6.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G952	脊髄圧迫、詳細不明	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G959	脊髄疾患、詳細不明	計	1	0.1	36	36.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	36	36.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H020	眼瞼内反(症)及び(眼瞼)睫毛乱生(症)	計	1	0.1	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H110	翼状片	計	3	0.3	32	10.7	-	3	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	21	10.5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	11	11.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
H259	老人性白内障、詳細不明	計	84	8.6	1,205	14.3	4	25	55	-	-	-	-	-	-
	男	38	8.6	522	13.7	2	15	21	-	-	-	-	-	-	-
	女	46	8.7	683	14.8	2	10	34	-	-	-	-	-	-	-
H814	中枢性めまい<眩暈(症)>	計	2	0.2	16	8.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
I110	本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I209	狭心症、詳細不明	計	2	0.2	5	2.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	5	2.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I219	急性心筋梗塞、詳細不明	計	1	0.1	24	24.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	24	24.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
I48	心房細動及び粗動	計	3	0.3	55	18.3	1	1	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	39	39.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	16	8.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
I500	うっ血性心不全	計	1	0.1	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I509	心不全、詳細不明	計	35	3.6	1,116	31.9	6	7	5	4	7	4	2	-	-
	男	12	2.7	427	35.6	2	3	1	1	3	1	1	-	-	-
	女	23	4.3	689	30.0	4	4	4	3	4	3	1	-	-	-
I610	(大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	2	0.2	104	52.0	-	-	-	-	1	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	104	52.0	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
I619	脳内出血、詳細不明	計	4	0.4	170	42.5	1	-	-	-	2	1	-	-	-
	男	1	0.2	52	52.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	118	39.3	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-
I629	頭蓋内出血(非外傷性)、詳細不明	計	2	0.2	121	60.5	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	2	0.5	121	60.5	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I634	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	計	1	0.1	43	43.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	43	43.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
I638	その他の脳梗塞	計	6	0.6	386	64.3	-	-	1	-	4	-	1	-	-
	男	3	0.7	266	88.7	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
	女	3	0.6	120	40.0	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-
I639	脳梗塞、詳細不明	計	22	2.3	638	29.0	4	3	2	5	6	1	1	-	-
	男	13	2.9	453	34.8	2	2	1	2	4	1	1	-	-	-
	女	9	1.7	185	20.6	2	1	1	3	2	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
I679 脳血管疾患、詳細不明	計	1	0.1	11	11.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	11	11.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I691 脳内出血の続発・後遺症	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I693 脳梗塞の続発・後遺症	計	10	1.0	768	76.8	-	2	1	-	6	-	-	-	1	-
	男	5	1.1	172	34.4	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-
	女	5	0.9	596	119.2	-	1	1	-	2	-	-	-	1	-
I709 全身性及び詳細不明のアテローム<じゅく><粥>硬化(症)	計	1	0.1	21	21.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	21	21.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I712 胸部大動脈瘤、破裂の記載がないもの	計	1	0.1	20	20.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	20	20.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I723 腸骨動脈瘤	計	1	0.1	34	34.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	34	34.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I745 腸骨動脈の塞栓症及び血栓症	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I842 合併症を伴わない内痔核	計	1	0.1	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J029 急性咽喉炎、詳細不明	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J069 急性上気道感染症、詳細不明	計	2	0.2	8	4.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	8	4.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J111 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの	計	2	0.2	40	20.0	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	40	20.0	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J152 ブドウ球菌による肺炎	計	1	0.1	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J189 肺炎、詳細不明	計	79	8.1	2,359	29.9	8	27	12	12	13	1	4	2	-	-
	男	38	8.6	1,357	35.7	7	9	7	5	5	-	3	2	-	-
	女	41	7.7	1,002	24.4	1	18	5	7	8	1	1	-	-	-
J209 急性気管支炎、詳細不明	計	8	0.8	87	10.9	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	男	3	0.7	22	7.3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	5	0.9	65	13.0	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-
J40 気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
J439 肺気腫、詳細不明	計	1	0.1	20	20.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	20	20.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J441 急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.3	80	26.7	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	3	0.7	80	26.7	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J448 その他の明示された慢性閉塞性肺疾患	計	1	0.1	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J449 慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	5	0.5	75	15.0	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-
	男	5	1.1	75	15.0	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J459 喘息、詳細不明	計	3	0.3	25	8.3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	16	8.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
J46 喘息発作重積状態	計	5	0.5	30	6.0	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	4	0.9	26	6.5	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
J690 食物及び吐物による肺臓炎	計	23	2.4	558	24.3	6	6	3	2	5	-	1	-	-	-
	男	14	3.2	375	26.8	3	5	2	1	2	-	1	-	-	-
	女	9	1.7	183	20.3	3	1	1	1	3	-	-	-	-	-
J80 成人呼吸窮<促>迫症候群<ARDS>	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J841 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	計	1	0.1	67	67.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	67	67.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
J852 肺炎を伴わない肺膿瘍	計	1	0.1	61	61.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	61	61.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
J869 瘻(孔)を伴わない膿胸(症)	計	1	0.1	39	39.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	39	39.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
J90 胸水、他に分類されないもの	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J931 その他の自然気胸	計	1	0.1	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J939 気胸、詳細不明	計	3	0.3	144	48.0	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
	男	3	0.7	144	48.0	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J942 血胸	計	1	0.1	30	30.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	30	30.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
J954 メンデルソン症候群	計	1	0.1	35	35.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	35	35.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J961 慢性呼吸不全	計	1	0.1	22	22.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	22	22.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J969 呼吸不全、詳細不明	計	1	0.1	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
J981 肺虚脱	計	1	0.1	210	210.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	1	0.2	210	210.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K226 食道胃接合部裂傷出血症候群	計	1	0.1	50	50.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	50	50.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K259 急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	2	0.2	25	12.5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	13	13.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
K291 その他の急性胃炎	計	1	0.1	19	19.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	19	19.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
K318 胃及び十二指腸のその他の明示された疾患	計	1	0.1	69	69.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	69	69.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
K359 急性虫垂炎、詳細不明	計	4	0.4	40	10.0	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	12	6.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	28	14.0	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
K409 一側性又は患側不明のそけい<単径>ヘルニア、閉塞又はえ<壊>疝を伴わないもの	計	9	0.9	84	9.3	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	9	2.0	84	9.3	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K413 一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア、閉塞を伴い	計	1	0.1	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K419 一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア、閉塞又はえ<壊>疝を伴わないもの	計	1	0.1	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
K500 小腸のクローン病	計	1	0.1	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K559 腸の血行障害、詳細不明	計	5	0.5	101	20.2	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	97	24.3	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-
K565 閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	2	0.2	14	7.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	14	7.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K566 その他及び詳細不明の腸閉塞	計	4	0.4	139	34.8	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-
	男	2	0.5	105	52.5	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
	女	2	0.4	34	17.0	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
K567 イレウス、詳細不明	計	10	1.0	185	18.5	2	3	3	1	-	1	-	-	-	-
	男	5	1.1	60	12.0	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	5	0.9	125	25.0	-	1	3	-	-	1	-	-	-	-
K573 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	3	0.3	34	11.3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	30	15.0	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K579 腸の憩室性疾患、部位不明	計	1	0.1	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K590 便秘	計	2	0.2	17	8.5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	15	15.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K593 巨大結腸、他に分類されないもの	計	1	0.1	41	41.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	41	41.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K602 裂肛、詳細不明	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K603 痔瘻	計	1	0.1	15	15.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	15	15.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
K621 直腸ポリープ	計	2	0.2	7	3.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	7	3.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K622 肛門脱<脱肛>	計	2	0.2	18	9.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	18	9.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
K632 腸瘻(孔)	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K638 腸のその他の明示された疾患	計	1	0.1	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K639 腸の疾患、詳細不明	計	1	0.1	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K658 その他の腹膜炎	計	1	0.1	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K659 腹膜炎、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K704 アルコール性肝不全	計	1	0.1	20	20.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	20	20.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K709 アルコール性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	21	21.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	21	21.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K729 肝不全、詳細不明	計	1	0.1	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
K746 その他及び詳細不明の肝硬変	計	1	0.1	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K750 肝膿瘍	計	1	0.1	31	31.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	31	31.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K768 その他の明示された肝疾患	計	1	0.1	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K801 その他の胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石	計	2	0.2	45	22.5	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	21	21.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	24	24.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
K802 胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	2	0.2	37	18.5	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	37	18.5	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
K804 胆のう<嚢>炎を伴う胆管結石	計	1	0.1	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
K805 胆管炎又は胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計	2	0.2	14	7.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	14	7.0	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K808 その他の胆石症	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K810 急性胆のう<嚢>炎	計	4	0.4	84	21.0	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	63	31.5	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	21	10.5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
K811 慢性胆のう<嚢>炎	計	1	0.1	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K819 胆のう<嚢>炎、詳細不明	計	2	0.2	28	14.0	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	28	14.0	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
K830 胆管炎	計	1	0.1	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K839 胆道の疾患、詳細不明	計	1	0.1	51	51.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	51	51.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K861 その他の慢性膵炎	計	3	0.3	18	6.0	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	3	0.7	18	6.0	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K913 術後腸閉塞	計	1	0.1	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K921 メレナ	計	1	0.1	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K922 胃腸出血、詳細不明	計	3	0.3	84	28.0	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	84	28.0	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
K928 消化器系のその他の明示された疾患	計	2	0.2	264	132.0	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
	男	2	0.5	264	132.0	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L022 体幹の皮膚膿瘍、せつくフルンケル>及びようくカルブンケル>	計	1	0.1	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L030 手指及び趾<足ゆび>の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	1	0.1	22	22.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	22	22.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
L031 (四)肢のその他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	1	0.1	13	13.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	13	13.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
L039 蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	1	0.1	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L048 その他の部位の急性リンパ節炎	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L89 じょく<褥>瘡性潰瘍	計	3	0.3	79	26.3	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	79	26.3	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-
L97 下肢の潰瘍、他に分類されないもの	計	1	0.1	52	52.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	52	52.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L984 皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの	計	1	0.1	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M061 成人発症スチル病	計	1	0.1	871	871.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	871	871.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
M069 関節リウマチ、詳細不明	計	2	0.2	99	49.5	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	99	49.5	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
M130 多発性関節炎、詳細不明	計	1	0.1	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M131 単(発性)関節炎、他に分類されないもの	計	4	0.4	197	49.3	1	-	-	1	1	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	192	64.0	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-
M169 股関節症、詳細不明	計	5	0.5	330	66.0	-	-	-	1	2	-	2	-	-	-
	男	2	0.5	220	110.0	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	女	3	0.6	110	36.7	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
M171 その他の原発性膝関節症	計	3	0.3	97	32.3	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	97	32.3	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
M179 膝関節症、詳細不明	計	14	1.4	497	35.5	-	1	1	4	7	1	-	-	-	-
	男	2	0.5	76	38.0	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	女	12	2.3	421	35.1	-	1	1	4	5	1	-	-	-	-
M199 関節症、詳細不明	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M245 関節拘縮	計	1	0.1	46	46.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	46	46.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
M353 リウマチ性多発筋痛症	計	1	0.1	41	41.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	41	41.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
M359 全身性結合組織疾患、詳細不明	計	1	0.1	108	108.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	108	108.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
M471 ミエロパチ<シ>-<脊髄障害>を伴う他の脊椎症	計	2	0.2	151	75.5	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
	男	2	0.5	151	75.5	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M478 その他の脊椎症	計	1	0.1	37	37.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	37	37.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
M480 脊柱管狭窄(症)	計	14	1.4	326	23.3	4	1	2	3	4	-	-	-	-	-
	男	7	1.6	140	20.0	2	-	2	2	1	-	-	-	-	-
	女	7	1.3	186	26.6	2	1	-	1	3	-	-	-	-	-
M4806 脊柱管狭窄(症)	計	5	0.5	123	24.6	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-
	男	3	0.7	102	34.0	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	21	10.5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
M488 その他の明示された脊椎障害	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
M512 その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	計	2	0.2	21	10.5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	17	17.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M625 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの	計	2	0.2	83	41.5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	50	50.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
m6259 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの	計	3	0.3	132	44.0	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	52	52.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	80	40.0	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
M654 橈骨茎状突起腱鞘炎[ドゥケルバン病]	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M659 滑膜炎及び腱鞘炎、詳細不明	計	1	0.1	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M712 膝窩部滑膜のう<囊>腫[ペーカークのう<囊>腫]	計	2	0.2	36	18.0	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	17	17.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	19	19.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
M7909 リウマチ、詳細不明	計	1	0.1	73	73.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	73	73.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
M791 筋(肉)痛	計	1	0.1	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
M7918 筋(肉)痛	計	1	0.1	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	16	16.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
M7919 筋(肉)痛	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M8419 骨折の骨癒合不全[偽関節]	計	1	0.1	29	29.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	29	29.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
M8686 その他の骨髄炎	計	1	0.1	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M960 骨癒合術後又は関節固定術後の偽関節	計	1	0.1	109	109.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	109	109.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N12 尿管管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	5	0.5	96	19.2	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	38	19.0	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	58	19.3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
N136 膿腎(症)	計	1	0.1	24	24.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	24	24.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
N179 急性腎不全、詳細不明	計	2	0.2	17	8.5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	17	8.5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N189 慢性腎不全、詳細不明	計	5	0.5	258	51.6	1	-	-	1	1	1	1	-	-	-
	男	5	1.1	258	51.6	1	-	-	1	1	1	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N201 尿管結石	計	3	0.3	14	4.7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	10	5.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N280 腎虚血及び腎梗塞	計	1	0.1	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N289 腎及び尿管の障害、詳細不明	計	1	0.1	218	218.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	218	218.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
N309 膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	13	13.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	13	13.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
N390 尿路感染症、部位不明	計	18	1.8	381	21.2	2	4	6	3	3	-	-	-	-	-
	男	6	1.4	154	25.7	-	-	3	1	2	-	-	-	-	-
	女	12	2.3	227	18.9	2	4	3	2	1	-	-	-	-	-
P268 周産期に発生したその他の肺出血	計	1	0.1	24	24.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	24	24.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q401 先天性食道裂孔ヘルニア	計	1	0.1	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Q613 多発性のう〈嚢〉胞腎、病型不明	計	1	0.1	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R02 え〈壊〉疽、他に分類されないもの	計	1	0.1	29	29.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	29	29.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R040 鼻出血	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R090 窒息	計	1	0.1	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R100 急性腹症	計	4	0.4	11	2.8	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	8	4.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	3	1.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R11 悪心及び嘔吐	計	4	0.4	20	5.0	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	18	6.0	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
R17 詳細不明の黄疸	計	1	0.1	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R31 詳細不明の血尿	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R402 昏睡、詳細不明	計	11	1.1	139	12.6	6	2	1	1	1	-	-	-	-	-
	男	6	1.4	71	11.8	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-
	女	5	0.9	68	13.6	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-
R42 めまい〈眩暈〉感及びよろめき感	計	19	2.0	277	14.6	11	2	3	-	3	-	-	-	-	-
	男	4	0.9	85	21.3	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	女	15	2.8	192	12.8	9	2	2	-	2	-	-	-	-	-
R509 発熱、詳細不明	計	1	0.1	15	15.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	15	15.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
R51 頭痛	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R53 倦怠(感)及び疲労	計	1	0.1	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R54 老衰	計	3	0.3	79	26.3	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	14	14.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	65	32.5	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
R568 その他及び詳細不明のけいれん〈痙攣〉	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R601 全身性浮腫	計	1	0.1	64	64.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	64	64.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
R630 食欲不振	計	2	0.2	79	39.5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	79	39.5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S009 頭部の表在損傷、部位不明	計	2	0.2	7	3.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	7	3.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
S010 頭皮の開放創	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S018 頭部のその他の部位の開放創	計	1	0.1	1	1.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	1	1.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S064 硬膜外出血	計	1	0.1	1	1.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	1	1.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S0650 外傷性硬膜下出血	計	1	0.1	19	19.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	19	19.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S066 外傷性くも膜下出血	計	3	0.3	30	10.0	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	3	0.7	30	10.0	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S141 頸髄のその他及び詳細不明の損傷	計	2	0.2	11	5.5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S2200 胸椎骨折	計	8	0.8	332	41.5	-	2	-	4	-	1	1	-	-	-
	男	1	0.2	101	101.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	7	1.3	231	33.0	-	2	-	4	-	1	-	-	-	-
S2220 胸骨骨折	計	2	0.2	34	17.0	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	32	32.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
S2720 外傷性血気胸	計	1	0.1	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S2780 その他の明示された胸腔内臓器の損傷	計	1	0.1	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S300 下背部及び骨盤部の挫傷【腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷】	計	3	0.3	17	5.7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	11	5.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S3200 腰椎骨折	計	25	2.6	719	28.8	2	5	6	3	8	1	-	-	-	-
	男	5	1.1	151	30.2	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-
	女	20	3.8	568	28.4	2	3	6	3	5	1	-	-	-	-
S3230 腸骨骨折	計	1	0.1	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
S325 恥骨骨折	計	1	0.1	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S3250 恥骨骨折	計	2	0.2	64	32.0	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	64	32.0	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
S420 鎖骨骨折	計	1	0.1	26	26.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	26	26.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
S421 肩甲骨骨折	計	1	0.1	27	27.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	27	27.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S422 上腕骨近位端骨折	計	2	0.2	84	42.0	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	84	42.0	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
S423 上腕骨骨幹部骨折	計	1	0.1	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
S4230 上腕骨骨幹部骨折	計	2	0.2	75	37.5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	75	37.5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
S424 上腕骨遠位端骨折	計	1	0.1	60	60.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	60	60.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
S4240 上腕骨遠位端骨折	計	4	0.4	184	46.0	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	184	46.0	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-
S430 肩関節脱臼	計	4	0.4	32	8.0	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	8	4.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	24	12.0	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
S460 肩(回旋筋)腱板の腱損傷	計	1	0.1	34	34.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	34	34.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
S5220 尺骨骨幹部骨折	計	1	0.1	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S525 橈骨遠位端骨折	計	1	0.1	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
S5250 橈骨遠位端骨折	計	4	0.4	17	4.3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	17	4.3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S6230 その他の中手骨骨折	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S660 手首及び手の母指の長屈筋及び腱の損傷	計	1	0.1	25	25.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	25	25.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S668 手首及び手のその他の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S700 股関節部の挫傷	計	1	0.1	40	40.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	40	40.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S711 大腿の開放創	計	1	0.1	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	10	10.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S7200 大腿骨頸部骨折	計	9	0.9	408	45.3	-	-	-	2	6	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	48	48.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	8	1.5	360	45.0	-	-	-	2	5	1	-	-	-	-
S7210 転子貫通骨折	計	14	1.4	654	46.7	-	-	-	5	6	3	-	-	-	-
	男	2	0.5	73	36.5	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
	女	12	2.3	581	48.4	-	-	-	4	5	3	-	-	-	-
S7230 大腿骨骨幹部骨折	計	1	0.1	107	107.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	107	107.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
S7240 大腿骨遠位端骨折	計	2	0.2	156	78.0	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	156	78.0	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
S731 股関節部の捻挫及びストレッチ	計	1	0.1	28	28.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	28	28.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
S800 膝の挫傷	計	3	0.3	60	20.0	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	7	3.5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	53	53.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
S820 膝蓋骨骨折	計	2	0.2	36	18.0	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	36	18.0	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
S8200 膝蓋骨骨折	計	1	0.1	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
S821 脛骨近位端骨折	計	1	0.1	48	48.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	48	48.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
S8210 脛骨近位端骨折	計	2	0.2	58	29.0	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	22	22.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	36	36.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
S822 脛骨骨幹部骨折	計	1	0.1	90	90.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	90	90.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S8220 脛骨骨幹部骨折	計	3	0.3	116	38.7	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-
	男	2	0.5	86	43.0	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	1	0.2	30	30.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
S8250 内果骨折	計	2	0.2	34	17.0	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	34	17.0	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
S8280 下腿のその他の部位の骨折	計	1	0.1	66	66.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	66	66.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S832 半月裂傷<断裂>、新鮮損傷	計	1	0.1	24	24.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	24	24.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S835 膝の(前)(後)十字靭帯の捻挫及びストレイン	計	2	0.2	144	72.0	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	男	2	0.5	144	72.0	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S836 膝のその他及び部位不明の捻挫及びストレイン	計	3	0.3	48	16.0	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	30	15.0	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	18	18.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
S837 膝の組織の多発性損傷	計	1	0.1	105	105.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	105	105.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
S860 アキレス腱損傷	計	1	0.1	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S900 足首の挫傷	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S9200 踵骨骨折	計	1	0.1	75	75.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	1	0.2	75	75.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S9230 中足骨骨折	計	1	0.1	35	35.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	35	35.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
S934 足首の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T009 多発性表在損傷、詳細不明	計	2	0.2	11	5.5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	11	5.5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
T080 脊椎骨折、部位不明	計	1	0.1	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
T090 体幹の表在損傷、部位不明	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T140 部位不明の表在損傷	計	1	0.1	13	13.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	13	13.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
T141 部位不明の開放創	計	1	0.1	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T146 部位不明の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T172 咽頭内異物	計	1	0.1	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	6	6.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T253 足首及び足の第3度熱傷	計	1	0.1	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	23	23.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
T486 抗喘息薬、他に分類されないもの【主として平滑筋、骨格筋及び呼吸器系に作用する薬物による中毒】	計	1	0.1	30	30.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	30	30.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
T630 ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	2	0.2	28	14.0	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	28	14.0	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T634 その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T678 熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	3	0.3	9	3.0	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	3	0.7	9	3.0	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T68 低体温（症）	計	1	0.1	31	31.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	31	31.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
T814 処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T823 その他の血管移植片の機械的合併症	計	1	0.1	44	44.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	44	44.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
T824 血管透析カテーテルの機械的合併症	計	1	0.1	200	200.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	200	200.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
T828 心臓及び血管のプロステシス、挿入物及び移植片のその他の合併症	計	1	0.1	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	9	9.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T875 切断端のえく壊死	計	1	0.1	106	106.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	106	106.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Z031 悪性新生物の疑いに対する観察	計	9	0.9	52	5.8	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	男	4	0.9	16	4.0	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	5	0.9	36	7.2	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Z038 その他の疾病及び病態の疑いに対する観察	計	5	0.5	132	26.4	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	1	0.2	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.8	130	32.5	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Z041 交通事故後における検査及び観察	計	1	0.1	1	1.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	1	1.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Z470 骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察<フォローアップ>ケア	計	12	1.2	101	8.4	8	2	1	1	-	-	-	-	-	-
	男	6	1.4	56	9.3	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	6	1.1	45	7.5	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Z501 その他の理学療法	計	11	1.1	418	38.0	2	3	2	-	3	-	-	1	-	-
	男	4	0.9	78	19.5	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-
	女	7	1.3	340	48.6	1	3	-	-	2	-	-	1	-	-
Z515 緩和ケア	計	1	0.1	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.2	7	7.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Z988 その他の明示された術後状態	計	5	0.5	97	19.4	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-
	男	2	0.5	74	37.0	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	23	7.7	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-

## 5. 上位疾病別（中分類）統計

順位	コード	分類名	件数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	平均年齢
1	079	水晶体の障害	84	8.6	1,205	14.3	76.8
2	102	インフルエンザ及び肺炎	82	8.4	2,403	29.3	83.2
3	097	脳血管疾患	49	5.0	2,246	45.8	82.5
4	096	その他の型の心疾患	39	4.0	1,179	30.2	87.1
5	116	腸のその他の疾患	37	3.8	595	16.1	77.2
6	023	消化器の悪性新生物	35	3.6	803	22.9	77.4
7	200	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	32	3.3	833	26.0	81.5
8	189	認識、知覚、情緒状態及び行動に関する 症状及び徴候	30	3.1	416	13.9	81.1
9	204	股関節部及び大腿の損傷	29	3.0	1,403	48.4	83.3
10	205	膝及び下腿の損傷	24	2.5	895	37.3	69.2
10	223	特定の処置及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	24	2.5	526	21.9	65.1
12	106	外的因子による肺疾患	23	2.4	558	24.3	85.6
12	131	関節症	23	2.4	929	40.4	76.3
12	135	脊椎障害	23	2.4	639	27.8	70.6
15	119	胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害	20	2.1	309	15.5	72.3
16	105	慢性下気道疾患	19	2.0	279	14.7	67.5
16	149	尿路系のその他の疾患	19	2.0	394	20.7	84.6
18	053	代謝障害	18	1.8	414	23.0	84.6
19	201	肩及び上腕の損傷	17	1.7	540	31.8	67.7
20	220	検査及び診査のための保健サービスの 利用者	15	1.5	185	12.3	74.3

# 部門別統計

# 日野病院部門別各種統計調べ( 1)

(単位:件)

(単位:件)

手術数	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
外科	108	91	99	105	81	81	75	6
整形外科	85	119	110	69	190	132	155	23
眼科	179	169	197	192	177	155	151	4
泌尿器科	6	0	0	0	0	2	0	2
耳鼻咽喉科	1	0	0	0	0	0	0	0
計	379	379	406	366	448	370	381	11

(単位:件)

内視鏡検査	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
胃カメラ	742	786	815	698	819	729	655	74
胃透視	80	61	38	28	35	24	23	1
大腸ファイバー	115	112	131	73	89	89	77	12
大腸透視	11	25	13	5	0	2	1	1
気管支鏡	0	10	20	6	9	7	12	5
胃造設	0	25	18	20	17	19	18	1
計	948	1,019	1,035	830	969	870	786	84

(単位:件)

超音波診断検査	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
腹部エコー	946	1,016	843	714	804	773	642	131
心エコー	254	220	264	348	383	244	237	7
計	1,200	1,236	1,107	1,062	1,187	1,017	879	138

(単位:件)

薬局状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
服薬指導(人数)	751	705	689	529	581	551	571	20
服薬指導(件数)	1,283	1,140	1,229	927	1,071	1,036	1,084	48
訪問服薬指導	31	45	82	79	110	116	108	8
処方箋数	9,748	9,770	10,440	9,705	10,067	10,209	10,010	199
薬剤数	24,351	25,223	28,096	26,949	27,608	27,868	27,036	832
注射箋数	17,281	16,422	17,164	18,408	18,685	16,339	14,976	1,363
製剤数	1,762	1,220	1,057	912	889	670	871	201
I V H本数	1,251	3,314	4,028	5,236	4,820	3,095	1,902	1,193
疑義照会	709	667	575	776	599	539	598	59

放射線状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
一般撮影	5,668	5,368	6,159	5,704	6,014	5,293	5,563	270
ポータブル撮影	857	1,073	936	1,360	887	888	845	43
外科用イメージ撮影	62	67	46	48	97	57	72	15
骨塩定量	357	379	361	318	266	332	321	11
マンモ撮影	309	239	264	230	231	51	36	15
訪問撮影	97	128	89	68	47	33	52	19
C T検査	1,526	1,579	1,678	1,595	1,512	1,564	1,657	93
M R I検査	769	739	736	646	738	600	640	40
フィルム枚数	25,027	22,743	22,685	21,681	22,010	10,572	546	10,026

(単位:件)

理学療法状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
運動器リハ( )		11,423	11,475	8,158	16,049	9,500	8,689	811
運動器リハ( )						4,890	5,020	130
呼吸器リハ( )		1,214	3,036	1,424	1,260	1,410	1,529	119
脳血管リハ( )		7,703	11,765	10,988	10,945	10,077	11,023	946
脳血管リハ( )廃用						3,615	3,020	595
退院前指導 退院前指導		234 53	258 67	262 53	331 108	286 69	284 96	2 27
徒手の処置		2,829	1,516	1,562	1,483	1,520	1,230	290
器具の処置		3,364	3,111	2,635	1,863	1,617	1,388	229

(単位:件)

作業療法状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
運動器リハ( )					1,581	1,243	1,275	32
運動器リハ( )					0	543	1,220	677
呼吸器リハ( )					101	55	78	23
脳血管リハ( )脳					2,038	2,250	2,647	397
脳血管リハ( )廃用					0	494	1,277	783

(単位:件)

言語聴覚療法状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
脳血管リハ( )脳		544	193	2,083	2,235	1,982	3,657	1,675
脳血管リハ( )廃用		0	0	0	0	438	398	40
摂食機能療法		2,661	1,117	208	922	525	737	212

## 日野病院部門別各種統計調べ( 2)

(単位:件)

(単位:人)

栄養管理室 状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
入院時 食事療養	H17は人数	70,379	65,080	58,541	64,905	63,016	66,148	3,132
栄養管理 実施加算				25,887	27,502	26,085	25,946	139
特別食加算	H17は人数	48,486	41,589	37,574	39,577	32,181	32,364	183
入院時 延べ食数	72,748	70,391	64,708	58,541	64,905	63,016	66,148	3,132
外来透 析食数	640	659	755	802	878	955	881	74
栄養指 導	583	655	658	578	557	586	532	54
検診等 指導	44	31	83	47	9	6	3	3

(単位:件)

検査 室状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
生化学セ ット	7,894	8,077	7,750	8,182	8,669	8,441	7,936	505
C B C	8,505	8,651	8,455	8,589	8,647	8,126	7,694	432
凝固検査	2,325	2,020	2,204	1,874	1,898	2,326	2,259	67
尿検査	4,972	4,899	4,797	5,189	5,992	6,020	5,785	235
心電図	1,415	1,972	1,996	1,830	2,022	1,758	1,740	18
呼吸機能	505	501	489	477	605	451	435	16
筋電図	22	25	26	30	33	74	98	24
眼底カメ ラ	251	274	276	276	364	312	277	35
脳波	27	23	27	10	10	18	15	3
血圧脈波	0	56	41	28	32	44	61	17

(単位:人)

訪問看護 状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
実人員	408	426	374	432	411	370	373	3
延べ人員	2,520	2,472	2,039	2,577	2,062	1,897	1,822	75

(単位:人)

訪問リハビ リ(在宅事業)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
実人員	533	249	98	85	467	482	515	33
延べ人員	2,054	1,066	598	435	1,938	2,015	2,360	345

(単位:件)

居宅支援 (介護)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
件数	475	487	564	568	614	770	775	5

人工透析 状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
実人員	131	116	108	107	109	142	157	15
延べ人員	1,474	1,236	1,130	1,150	1,217	1,536	1,734	198

(単位:件)

検診実施 状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
人間ドック	115	138	116	97	116	136	86	50
人間ドック (MRI含)	5	21	11	19	20	19	22	3
共済組合 ドック	80	64	79	69	128	65	71	6
脳ドック	51	83	61	91	82	88	88	0
生活習慣病 検診	106	96	98	124	129	124	136	12
婦人科検診	1,004	648	730	591	636	47	20	27
(子宮がん)	330	280	279	238	230	9	5	4
(乳・甲状腺 がん)	378	174	222	165	191	16	3	13
(マンモ)	239	174	221	164	191	16	3	13
(骨塩)	57	20	8	24	24	22	12	10
原爆検診	6	7	6	10	6	6	7	1
原爆二世 検診	1	0	0	0	0	1	1	0
結核管理・ 家族検診	7	1	0	0	0	0	0	0
予防接種	819	792	871	1,058	1,719	1,628	1,722	94
大腸がん検 診(カメラ)	0	6	7	0	0	0	0	0
大腸がん検 診(便1日法)	0	24	42	41	15	0	0	0
胃がん検診	104	66	86	88	55	0	0	0
肺がん検診	42	21	39	0	0	0	0	0

(単位:件)

日野町検診 実施状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
役場職員 検診	0	91	80	1	0	0	0	0
学校給食従 事者検診	9	0	0	0	0	13	9	4
特定検診	49	18	34	34	12	0	1	1

(単位:件)

居宅支援 (予防)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	差引
件数	0	5	84	110	229	266	288	22



# 3、業績

## 誌上発表

### 1. 著書

大谷 眞二:がん末期患者の呼吸困難と輸液量の関係 .がん看護シリーズ 事例で理解 痛み以外の症状緩和ケアの秘訣 . 照林社 82-85, 2011

### 2. 原著論文

The clinical significance of 5% change in vital capacity in patients with idiopathic pulmonary fibrosis: extended analysis of the pirfenidone trial.

Taniguchi, H., Kondoh, Y., Ebina, M., Azuma, A., Ogura, T., Taguchi, Y., Suga, M., Takahashi, H., Nakata, K., Sato, A., Sugiyama, Y., Kudoh, S., and Nukiwa, T.; Pirfenidone Clinical Study Group in Japan.

Collaborators (75):Betsuyaku, T., Sugawara, Y., Fujiuchi, S., Yamauchi, K., Konishi, K., Munakata, M., Kimura, Y., Ishii, Y., Kudoh, K., Saito, T., Yamaguchi, T., Mizoo, A., Nagai, A., Ishizaka, A., Yamaguchi, K., Yoshimura, K., Oritsu, M., Fukuchi, Y., Takahashi, K., Kimura, K., Yoshizawa, Y., Nagase, T., Hisada, T., Ohta, K., Yoshimori, K., Miyazawa, Y., Tatsumi, K., Taniguchi, M., Sugita, Y., Suzuki, E., Saito, Y., Nakamura, H., Chida, K., Kasamatsu, N., Hayakawa, H., Yasuda, K., Sugauma, H., Genma, H., Tamura, R., Shirai, T., Shindoh, J., Sato, S., Taguchi, O., Sasaki, Y., Ibata, H., Yasui, M., Nakano, Y., Ito, M., Kitada, S., Kimura, H., Inoue, Y., Yasuba, H., Mochizuki, Y., Horikawa, S., Suzuki, Y., Katakami, N., Tanimoto, Y., Hitsuda, Y., Burioka, N., Sato, T., Kohno, N., Yokoyama, A., Nishioka, Y., Ueda, N., Kuwano, K., Watanabe, K., Aizawa, H., Kohno, S., Mukae, H., Kohrogi, K., Kadota, J., Tokimatsu, I., Miyazaki, E., Sasaki, T., and Kawabata, M.

Respir Res, 12(1):93, 2011

Exploratory analysis of a phase III trial of pirfenidone identifies a subpopulation of patients with idiopathic pulmonary fibrosis as benefiting from treatment.

Azuma, A., Taguchi, Y., Ogura, T., Ebina, M., Taniguchi, H., Kondoh, Y., Suga, M., Takahashi, H., Nakata, K., Sato, A., Kudoh, S., and Nukiwa, T.; Pirfenidone Clinical Study Group in Japan.

Collaborators (77):Betsuyaku, T., Sugawara, Y., Fujiuchi, S., Yamauchi, K., Konishi, K., Munakata, M., Kimura, Y., Ishii, Y., Sugiyama, Y., Kudoh, K., Saito, T., Yamaguchi, T., Mizoo, A., Nagai, A., Ishizaka, A., Yamaguchi, K., Yoshimura, K., Oritsu, M., Fukuchi, Y., Takahashi, K., Kimura, K., Yoshizawa, Y., Nagase, T., Hisada, T., Ohta, K., Yoshimori, K., Miyazawa, Y., Tatsumi, K., Sasaki, Y., Taniguchi, M., Sugita, Y., Suzuki, E., Saito, Y., Nakamura, H., Chida, K., Kasamatsu, N., Hayakawa, H.,

Yasuda, K., Suganuma, H., Genma, H., Tamura, R., Shirai, T., Shindoh, J., Sato, S., Taguchi, O., Sasaki, Y., Ibata, H., Yasui, M., Nakano, Y., Ito, M., Kitada, S., Kimura, H., Inoue, Y., Yasuba, H., Mochizuki, Y., Horikawa, S., Suzuki, Y., Katakami, N., Tanimoto, Y., Hitsuda, Y., Burioka, N., Sato, T., Kohno, N., Yokoyama, A., Nishioka, Y., Ueda, N., Kuwano, K., Watanabe, K., Aizawa, H., Kohno, S., Mukae, H., Kohrogi, H., Kadota, J., Tokimatsu, I., Miyazaki, E., Sasaki, T., and Kawabata, M. Respir Res, 12(1):143, 2011

Otani, S., Onish, K., Mu, H., and Kurozawa, Y.: The effect of Asian dust events on the daily symptoms in Yonago, Japan: a pilot study. Archives of Environmental & Occupational Health, 66: 43-46, 2011

Mu, H., Battsetseg, B., Ito, T., Otani, S., Onishi, K., and Kurozawa., Y.: Health effects of dust storms: subjective eye and respiratory system symptoms in inhabitants in Mongolia. J Environmental Health, 73: 18-20, 2011

Onishi, K., Kurosaki, Y., Otani, S., Yoshida, A., Sugimoto, N., and Kurozawa, Y.: Atmospheric transport route determines components of Asian dust and health effects in Japan. Atmospheric Environment, 49: 94-102, 2012

### 3 . その他

#### **米子ロータリークラブ第 2885 回例会 会長挨拶(東日本大震災被災地区に対する義援金協力に感謝して)**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2042 号 (平成 23 年 4 月 1 日発行) p1,2011

#### **米子ロータリークラブ第 2886 回例会 会長挨拶 (東日本大震災後の放射能汚染を考える)**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2043 号 (平成 23 年 4 月 8 日発行) p1,2011

#### **ご近所のお医者さん 総合医 ~ 制度化についての問題**

檀田 豊

毎日新聞鳥取版 第 46183 号 (平成 23 年 4 月 12 日発行) p22,2011

#### **米子ロータリークラブ第 2887 回例会 会長挨拶 (納豆食の効用あれこれ)**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2044 号 (平成 23 年 4 月 15 日発行) p1,2011

**ご近所のお医者さん 納豆食の効用**

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 46204 号 (平成 23 年 5 月 3 日発行) p20,2011

**米子ロータリークラブ第 2889 回例会 会長挨拶 (台湾・豊原ロータリークラブ 50 周年記念式典に参加して)**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2046 号 (平成 23 年 5 月 6 日発行) p1,2011

**米子ロータリークラブ第 2890 回例会 会長挨拶 (ロータリーの 10 徳と効用)**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2047 号 (平成 23 年 5 月 13 日発行) p1,2011

**ご近所のお医者さん 黄砂と健康被害**

檀田 豊

毎日新聞鳥取版 第 46218 号 (平成 23 年 5 月 17 日発行) p18,2011

**米子ロータリークラブ第 2892 回例会 会長挨拶 (2011 年度国際ロータリー年次大会 (於ニューオーリンズ)に参加して)**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2049 号 (平成 23 年 5 月 27 日発行) p1,2011

**日野病院は“頼れる中小病院”です**

檀田 豊

日野病院組合だより せせらぎ 第 41 号 (平成 23 年 5 月発行) p2,2011

**健康長寿を目指して - 納豆食の効用 -**

玉井 嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 41 号 (平成 23 年 5 月発行) p3,2011

**りはにゅーす 19 着替え動作に役立つ自助具**

道下 真紗美

日野病院組合だより せせらぎ 第 41 号 (平成 23 年 5 月発行) p5,2011

**米子ロータリークラブ第 2893 回例会 会長挨拶 (ミニ遠足の楽しみ)**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2050 号 (平成 23 年 6 月 3 日発行) p1,2011

**ご近所のお医者さん ドライアイ対策**

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 46239 号 (平成 23 年 6 月 7 日発行) p20,2011

**米子ロータリークラブ第 2894 回例会 会長挨拶 (R I 第 2690 地区第 2 グループ会長幹事懇談会の話題)**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2051 号 (平成 23 年 6 月 10 日発行) p1,2011

**米子ロータリークラブ第 2895 回例会 会長挨拶 (ナポレオン・ヒルの人生観から)**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2052 号 (平成 23 年 6 月 17 日発行) p1,2011

**ご近所のお医者さん 遠隔医療～現状と問題点**

檀田 豊

毎日新聞鳥取版 第 46253 号 (平成 23 年 6 月 21 日発行) p22,2011

**米子ロータリークラブ第 2896 回例会 会長挨拶 (最終夜間例会を迎えて - 感謝、感謝の 1 年を振り返る)**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2053 号 (平成 23 年 6 月 24 日発行) p1,2011

**会長退任に当たって**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ月報 669 号 (平成 23 年 6 月末日発行) p1,2011

**ご近所のお医者さん 向精神薬とドライアイ**

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 46273・4 号 (平成 23 年 7 月 12 日発行) p22,2011

**ご近所のお医者さん 遠隔医療 - 新たな試み -**

檀田 豊

毎日新聞鳥取版 第 46295 号 (平成 23 年 8 月 2 日発行) p22,2011

**日野病院の最近の活動を振り返って - 診療所事業 -**

檀田 豊

日野病院組合だより せせらぎ 第 42 号 (平成 23 年 9 月発行) p2,2011

**日野病院日誌 - 11 度目の秋を迎えて -**

玉井 嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 42 号 (平成 23 年 9 月発行) p3,2011

**りはにゅーす 20 熱中症について**

佐田山 晋佑

日野病院組合だより せせらぎ 第 42 号 (平成 23 年 9 月発行) p7,2011

**ご近所のお医者さん 涙の不思議**

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 46336・7 号 (平成 23 年 9 月 13 日発行) p24,2011

**ご近所のお医者さん 動く“ほくろ”を見たら**

檀田 豊

毎日新聞鳥取版 第 46358 号 (平成 23 年 10 月 4 日発行) p20,2011

**日野病院日誌 - 11 度目の秋の感慨 -**

玉井 嗣彦

鳥取大学医学部眼科同門会だより 第 28 号 (平成 23 年 11 月発行) p45-47,2011

**ご近所のお医者さん 小動物による眼障害**

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 46393 号 (平成 23 年 11 月 8 日発行) p20,2011

**ご近所のお医者さん 院内感染と耐性菌**

檀田 豊

毎日新聞鳥取版 第 46407 号 (平成 23 年 11 月 22 日発行) p26,2011

**開講 30 周年を祝して**

玉井 嗣彦

豊瞳(高知大学医学部眼科学教室同門会誌) 第 14 号(平成 23 年 12 月発行) p13-15,2011

**ご近所のお医者さん 雪山の紫外線対策**

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 46427・8 号 (平成 23 年 12 月 13 日発行) p26,2011

**米子ロータリークラブ第 2920 回例会 会員挨拶**

**(喜寿のお祝いに感謝して - 人生を考える - )**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2077 号 (平成 24 年 1 月 6 日発行) p1,2012

**思い出のユーモア**

玉井 嗣彦

日本医事新報 4576 号 (平成 24 年 1 月 7 日発行) p76,2012

**年頭のごあいさつ ~ 「地域枠」と地域医療教育 ~**

檀田 豊

日野病院組合だより せせらぎ 第 43 号 (平成 24 年 1 月発行) p2,2012

**新春所感 - 初夢の実現を祈りつつ -**

玉井 嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 43 号 (平成 24 年 1 月発行) p3,2012

**りはにゅーす 2 1 ~ 口腔ケアに便利な道具 ~**

影山 通香

日野病院組合だより せせらぎ 第 43 号 (平成 24 年 1 月発行) p5,2012

**米子ロータリークラブ第 2921 回例会 新年家族会乾杯挨拶**

**(幸福の 5 つの条件)**

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 2078 号 (平成 24 年 1 月 9 日発行) p1,2012

**ご近所のお医者さん 院内感染の予防と制圧**

檀田 豊

毎日新聞鳥取版 第 46462 号 (平成 24 年 1 月 17 日発行) p26,2012

**ご近所のお医者さん 人工網膜開発の現況**

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 46483 号 (平成 24 年 2 月 7 日発行) p22,2012

**ご近所のお医者さん 人ごとではなくなった耐性菌感染**

檀田 豊

毎日新聞鳥取版 第 46497 号 (平成 24 年 2 月 21 日発行) p26,2012

**ご近所のお医者さん 「年だから」と考えずに**

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 46518 号 (平成 24 年 3 月 13 日発行) p24,2012

**ご近所のお医者さん 医師不足と「地域枠」**

檀田 豊

毎日新聞鳥取版 第 46532 号 (平成 24 年 3 月 27 日発行) p24,2012

## 学会等発表

### 1. 国際学会

American Association for Aerosol Research 30th Annual Conference. 2011.10. 3-7,  
(Orlando, USA)

Correlation between suspended particulate matter derived from Asian dust events and  
the daily symptoms in Japan

Otani, S., Onishi, K., Mu, H., Hosoda, T., Okamoto, M., Kurozawa, Y., and Shinoda,  
M.

Effect of metal aerosols in Asian dust on symptoms in healthy subjects, affected  
by migratory flyways to Japan

Onishi, K., Otani, S., Kurosaki, Y., and Kurozawa, Y.

### 2. 国内学会

#### 第13回 医療マネジメント学会学術総会 (平成23年6月24-25日 京都)

マムシ咬傷初期治療におけるクリティカルパスの導入

山本 直子、仙田 隆、木戸脇 久美、佐藤 尚喜、大谷 眞二

末期がん患者の転医における地域医療連携

大谷 眞二、山口 浩一、佐藤 尚喜、櫃田 豊、山本 直子

#### 第8回 日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会 (平成23年9月3日 米子)

当院における皮下輸液の実状～現場でのアンケート調査より～

仙田 隆、木戸脇 久美、山本 直子、野坂 由貴子、近藤 智富美、懸樋 英一  
佐藤 尚喜、大谷 眞二

当院におけるNSTの実情と今後の展望～褥瘡委員会とのコラボレーション～

近藤 智富美、野坂 由貴子、橋田 幸水恵、仲石 康子、仙田 隆、懸樋 英一  
佐藤 尚喜、大谷 眞二

麻酔別患者パスの導入を試みて

伊田 志保子、竹永 真由美、上田 宏美

維持透析におけるクリニカルパス

朝野 純子、角嶋 美鈴

**第 60 回 全国自治体病院学会**（平成 23 年 10 月 19-20 日 東京）

中山間地における自治体病院附属診療所の意義と問題点

檀田 豊、佐藤 尚喜、熊野 健太郎、小村 裕美子、影山 光恵、倉間 紀代子  
森田 真理、生田 哲二

中山間地における地域の見守り活動に参加してみえてきたこと

～参加看護師との面接を通して～

山形 睦美、今倉 早苗、山川 千秋、影山 光恵、小村 裕美子

移動販売者と協働による中山間地における見守り活動

～取り組みの目的と活動～

今倉 早苗、山川 千秋、山形 睦美、影山 光恵、小村 裕美子、川上 靖

**第 70 回 日本公衆衛生学会総会**（平成 23 年 10 月 19-21 日 秋田）

モンゴルの砂塵嵐後における被災地住民の QOL に及ぼす影響因子

穆 浩生、大谷 眞二、大西 一成、徳嶋 靖子、細田 武伸、岡本 幹三、黒沢 洋一

黄砂成分と飛来経路の関係および健常者への健康影響

大西 一成、大谷 眞二、穆 浩生、徳嶋 靖子、細田 武伸、岡本 幹三、黒沢 洋一

**第 49 回 日本癌治療学会学術集会**（平成 23 年 10 月 27-29 日 名古屋）

オキサリプラチンによる末梢神経障害が認められなかった症例の検討

山本 直子、仙田 隆、木戸脇 久美、佐藤 尚喜、大谷 眞二

**第 23 回 日本内視鏡外科学会総会**（平成 23 年 12 月 7-9 日 大阪）

横行結腸と大網のみを内容とした食道裂孔ヘルニアの手術症例

大谷 眞二、佐藤 尚喜、齊藤 博昭

**第 11 回 鳥取県理学療法士学会**（平成 23 年 12 月 11 日 鳥取大学医学部）

日野郡内で統一した医療介護連携情報提供書の利点，今後の課題について

～ケアマネジャーのアンケート調査より～

中村 友昭

**第 22 回 日本疫学会学術集会**（平成 24 年 1 月 26-28 日 東京）

黄砂による皮膚症状と金属アレルギーとの関連性

大谷 眞二、大西 一成、穆 浩生、細田 武伸、岡本 幹三、黒沢 洋一

**第 27 回 日本静脈経腸栄養学会**（平成 24 年 2 月 23-24 日 神戸）

当院における皮下輸液の現状～現場でのアンケート調査より～

野坂 由貴子、近藤 智富美、松本 友恵、安達 節子、仙田 隆、木戸脇 久美、山本 直子  
橋田 幸水恵、仲石 康子、影山 通香、懸樋 英一、佐藤 尚喜、大谷 眞二

**2 . 研究会 その他**

**米子ロータリークラブ第 2885 回例会**（平成 23 年 4 月 1 日 米子全日空ホテル）

東日本大震災被災地区に対する義援金協力に感謝して（会長挨拶）

玉井 嗣彦

**米子ロータリークラブ第 2886 回例会**（平成 23 年 4 月 8 日 米子全日空ホテル）

東日本大震災後の放射能汚染を考える（会長挨拶）

玉井 嗣彦

**米子ロータリークラブ第 2887 回例会**（平成 23 年 4 月 15 日 米子全日空ホテル）

納豆食の効用あれこれ（会長挨拶）

玉井 嗣彦

**米子ロータリークラブ第 2889 回例会**（平成 23 年 5 月 6 日 米子全日空ホテル）

台湾・豊原ロータリークラブ 50 周年記念式典に参加して（会長挨拶）

玉井 嗣彦

**米子ロータリークラブ第 2890 回例会**（平成 23 年 5 月 13 日 米子全日空ホテル）

ロータリーの 10 徳と効用（会長挨拶）

玉井 嗣彦

**第 10 回 山陰内視鏡外科研究会**（平成 23 年 5 月 21 日 松江）

横行結腸と大網が嵌入した食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下手術

大谷 眞二、佐藤 尚喜、齊藤 博昭

**米子ロータリークラブ第 2892 回例会**（平成 23 年 5 月 27 日 米子全日空ホテル）

2011 年度国際ロータリー年次大会（於ニューオーリンズ）に参加して（会長挨拶）

玉井 嗣彦

**米子ロータリークラブ第 2893 回例会**（平成 23 年 6 月 3 日 米子全日空ホテル）

ミニ遠足の楽しみ（会長挨拶）

玉井 嗣彦

**第 127 回 山陰外科集談会**（平成 23 年 6 月 4 日 米子）

腹腔鏡下に胃固定術を行った胃軸捻転症の 1 例

大谷 眞二、佐藤 尚喜、荒井 陽介

**鳥取県医師会春季医学会**（平成 23 年 6 月 5 日 鳥取医師会館）

当院における超高齢者の手術例の検討

佐藤 尚喜、大谷 眞二

当院におけるオピオイド導入時の処方状況の変化

仙田 隆、山本 直子、木戸脇 久美、佐藤 尚喜、大谷 眞二、懸樋 英一

熊野 健太郎、櫃田 豊

**米子ロータリークラブ第 2894 回例会**（平成 23 年 6 月 10 日 米子全日空ホテル）

R I 第 2690 地区第 2 グループ会長幹事懇談会の話題（会長挨拶）

玉井 嗣彦

**米子ロータリークラブ第 2895 回例会**（平成 23 年 6 月 17 日 米子全日空ホテル）

ナポレオン・ヒルの人生観から（会長挨拶）

玉井 嗣彦

**米子ロータリークラブ第 2896 回例会**（平成 23 年 6 月 24 日 米子全日空ホテル）

最終夜間例会を迎えて - 感謝、感謝の 1 年を振り返る（会長挨拶）

玉井 嗣彦

**第 20 回 環日本海NSTフォーラム**（平成 23 年 11 月 5 日 米子）

当院における食事個別対応の検討

橋田 幸水恵、仲石 康子、影山 通香、近藤 智富美、懸樋 英一、大谷 眞二

**第 4 回 看護診断研究会**（平成 23 年 11 月 19 日 鳥取大学医学部）

後方連携における看護診断からみえる継続看護

妹尾 小百合、池田 清香、田中 美香、遠藤 京子、朝野 純子、生田 絹子、金田 明子

**第 8 回 西部自治体病院看護研究発表会**（平成 23 年 12 月 3 日 日南病院）

退院支援・退院調整に携わる医療スタッフの認識

中島 友華

ディスカンファレンスにおける看護師の意識調査とカンファレンス記録の分析

生田 磨美

**鳥取大学乾燥地研究センター平成 23 年度共同研究発表会**（平成 23 年 12 月 3-4 日 鳥取）

黄砂の健康に及ぼす影響～黄砂による皮膚症状と金属アレルギーとの関連性～

大谷 眞二、大西 一成、穆 浩生、細田 武伸、岡本 幹三、黒沢 洋一

黄砂の健康に及ぼす影響～鳥取県西部における健常人自覚症状調査結果から～

穆 浩生、大西 一成、黒沢 洋一、大谷 眞二

**平成 23 年度 鳥取県放射線技師学術大会・がん検診研究会**（平成 23 年 12 月 4 日 鳥取県立福祉人材センター）

遠隔画像診断の使用経験

佐々木 健二、片山 勇、足羽 康治

**第 5 回 山陰疫学研究会**（平成 23 年 12 月 17 日 米子）

一般化推定方程式（GEE）を用いた黄砂と大気汚染物質の健康影響評価

大西 一成、大谷 眞二、穆 浩生、細田 武伸、岡本 幹三、黒沢 洋一

モンゴルの砂塵嵐による家畜損失と 1 年後の被災地住民 QOL との  
関連性についての検討

穆 浩生、大谷 眞二、篠田 雅人、大西 一成、細田 武伸、岡本 幹三、黒沢 洋一

**米子ロータリークラブ第 2920 回例会**（平成 24 年 1 月 6 日 米子全日空ホテル）

喜寿のお祝いに感謝して - 人生を考える - （会員挨拶）

玉井 嗣彦

**米子ロータリークラブ第 2921 回例会**（平成 24 年 1 月 9 日 米子全日空ホテル）

幸福の 5 つの条件（新年家族会乾杯挨拶）

玉井 嗣彦

**第 6 回 看護研究発表会**（平成 24 年 3 月 3 日 鳥取）

退院支援・退院調整に携わる医療スタッフの認識

～職種間連携から見えてきた看護師の役割～

中島 友華、池田 清香、朝野 純子、近藤 智富美、妹尾 小百合、田中 美香、山川 千秋

## 4、新聞記事

米子支局 TEL0859(33)3011  
 FAX0859(23)0710

【広告問い合わせ】  
 鳥取 0857(23)7211 米子 0859(33)4801

【購読問い合わせ】  
 鳥取 0857(23)7666 倉吉 0858(23)3931  
 米子 0859(24)0397 境港 0859(44)2722

# 鳥取

11  
40

前回お話ししましたように、総合医とは多くの病気に幅広く対応できるだけではなく、必要があれば他の医療機関等を適切に紹介したり、住民・患者の疾病予防や健康づくりを指導することのできる総合的な診療能力を備えた医師と定義されます。

総合医の育成は三十年代前に自治医科大学で始まりました。その後徐々に広がりを見せ、現在では多くの大学病院や地域における第一線の病院(群)が、主に後期研修医(卒後2年間の初期臨床研修を終えた医師)を対象

## ご近所のお医者さん

143

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



に専門的な研修プログラムを提供していましたが、総合医として、その質を担保するため、日本プライマリ・ケア連合学会という学会では専門医、認定医の認定を行っていま

す。

このように病院や関連学会において総合医の育成や認定が先行しているなか、厚生労働省も07年に臓器別の専門医だけでなく、人間全体を診る総合的な診

療を行える医師の養成が必要であると明記しました。そして、その後、いわゆる総合科構想を表明しました。すなわち、国が総合医としての資格を付与し、総合医が在籍する診療科を「総合科」として医療法上の診療科は登録医制(地域住民に位置付けるとい

がかりつけの医師を名に位置付けるとい

**総合医の制度化についての問題**

案です。総合医は地域医療の窓口となつて初期治療と振り分け機能を担うということを想定して行いました。

この構想は、日本医師会の猛烈な反対に合

い頓挫しました。その主な理由は、①患者か

ら自由な医療機関選択が必要であると明記し(フリーアクセス)の機会を奪うことにな

る、②当時導入予定であった後期高齢者医療

制度、特に後期高齢者診療料(後に廃止され

ます)に利用される可

能性がある、③ひいては、医療現場の問題意識を利用した小賢しい

病院集中やたらい回しなどを是正するため生まれました。厚生労働省は総合医の制度化を

目指していますが、その隠れた目的が日本医師会が指摘するように医療費削減であるならば、医療現場の問題意識を利用した小賢しい

制度改革と言わざるを得ません。しかし、一方で医療費財源に限りが見えてきていることも事実です。日本の医療制度の中で総合医が

どのように位置付けられるかを、今後注目してゆく必要があります。

納豆が身体によい食べ物であることは、健康食ブームの今日、みんなよくわかっています。独特の風味とネバネバした成分のせいでしょうか、好き嫌いのはっきりした食材の一つでもあります。

私は嫌いな方ではありませんが、朝食が簡単なパンを主体とする我が家では、ご飯に納豆の組み合わせで食事をすることがほとんどありません。

最近、白澤卓二氏が著書「100歳までボケない100の方法」で、脳と心臓のアンチエイジング(文春新書)のなかで、ネバネバメ

# ご近所のお医者さん

□ 146 □

日野病院(日野町) 玉井 嗣彦 名誉病院長



ニューが老化を防ぐと題して、朝食にご飯と納豆を欠かしたことがなく、百寿スキーヤーであった三浦敬三さん(冒険家の三浦雄一郎さんのお父上)の例を紹介しつつ、その効能

します。急激な血糖値の上昇は、すい臓のβ細胞が繰り返すことで、すい臓が疲弊し、糖尿病の発症を招きます。

ネバネバ成分のムチンは、糖質に絡みついて、糖質が分解されるのを少し抑えるため、

たいて、症状の改善がみられたケースを過去に経験しています。

また、納豆は血栓閉塞症の予防にも非常に有効な食材であることが確かです。私たちの経験からいえば、毎日あるいは1日おきにでも50gの納豆を食べるのがよいでしょう。

## 納豆食の効用

を説いておられます。澱粉や果糖といった糖質は、体内で最終的にブドウ糖に分解されて吸収されますが、細胞への取り込みには、すい臓から分泌されるインスリンが作用した

一気に血液中にブドウ糖が増えるということがなく、当然インスリンの分泌もゆっくりになるわけです。

納豆には、血栓を溶解させる機能を持つナットウキナーゼという酵素が含まれています

初期の網膜中心静脈閉塞症例(58歳男性、右眼)や網膜動脈分枝閉塞症例(21歳女性、右眼)で、前者で夕食時に毎日100g、後者で昼食と夕食に50gずつ10日間程度食べていたと述べています。

私もネバネバメニューの効果を期待して、週1、2回程度は、夕食時に納豆を口にした

米子支局 TEL.0859(33)3011 FAX.0859(23)0710

【広告問い合わせ】

鳥取 0857(23)7211 米子 0859(33)4801

【購読問い合わせ】

鳥取 0857(23)7666 倉吉 0858(23)3931  
米子 0859(24)0397 境 0859(44)2722

511  
440

# 鳥取

今月の初め、霞がかかったような天気が続きました。この時期、沖繩から北海道までの広い地域で黄砂現象が確認されたそうです。4月終わりに中国北西部の砂漠地帯で発生した今春最大とも言われる砂塵嵐で巻き上げられた砂の粒子が飛来したものです。わが国では黄砂は一年中見られますが、特に春にはその頻度が極端に高くなります。飛来状況に関する情報は、環境省と気象庁が提供している黄砂情報提供ホームページ(<http://www.data.kishou.go.jp/obs-en>)

## ご近所のお医者さん

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



V/kosateikyou/k (osa.html) に記載されていますので、ぜひ一度ご覧ください。大量の黄砂にさらされる中国国内やその近隣諸国では、農業生産や生活環境にしばしば

重大な被害もたらされます。また、細かい砂の粒子や、それに付着したさまざまな物質(硫酸化物、窒素酸化物などの大気汚染物質、カビや細菌などの微生物など)による人

### 黄砂と健康被害

体への影響も懸念されています。黄砂と健康被害の関係については、韓国や台湾で多くの検討がなされています。黄砂により引き起こされる身体症状には、主として咳、痰などの呼吸器症状、くしゃみ、鼻水などがあります。黄砂がどの程度私たちの健康に影響しているかはこれまでほとんど調査されてきませんでした。最近、鳥取大学の研究者たちにより、その実態が明らかになりました。同病院に通院する気管支喘息患者さんのうち30%の方が黄砂日に呼吸器症状や鼻症状などが悪化し、特に咳、痰の頻度が増えたそうです。このように、わが国でも黄砂により少なからぬ健康被害が生じていることが明らかになりました。今後は、その効果的な予防に関する検討が必要と思われます。

の鼻咽喉症状、目のかゆみ、流涙などの眼症状があります。ほかに、花粉症、気管支喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患を悪化させることがあります。わが国では、飛来量

がそれ程多くないこともあり、黄砂がどの程度私たちの健康に影響しているかはこれまでほとんど調査されてきませんでした。最近、鳥取大学の研究者たちにより、その実態が明らかになりました。同病院に通院する気管支喘息患者さんのうち30%の方が黄砂日に呼吸器症状や鼻症状などが悪化し、特に咳、痰の頻度が増えたそうです。このように、わが国でも黄砂により少なからぬ健康被害が生じていることが明らかになりました。今後は、その効果的な予防に関する検討が必要と思われます。

最近では、ドライアイという病名はすっかり定着し「私、目が疲れやすくて、乾く感じがして……。どうもドライアイみたいなんです」と自分で診断されて受診される患者さんが少なくありません。ドライアイとは、涙が不足したり成分が変化して質が悪くなることによって、目の表面に障害が生じる状態をいいます。涙はまばたきによって網目状の薄い膜となり、いつも目の表面を覆って乾燥防止のほか、細菌やウイルスなどを殺したり、ゴミやアレルギーのものとなる抗原などを洗い流すなどして目を守

# ご近所のお医者さん

151

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長

い流すなどして目を守り、冬場の暖房、夏場の冷房などで部屋が乾燥しているところ、ドライアイになりやすくて、また層のムチンの分泌を促す目薬も、疲れ目やドライアイの症状を悪化させる場合があります。



これらの原因には、シェークレン症候群という一種の膠原病やある種の精神安定剤、高血圧や糖尿病のお薬の影響があげられます。健康な人でも、年齢とともに涙は少なくな

なり、夜間やスリープが深い時にも少なくなります。一方、涙は十分にありませんが、コンピューターやパソコン、ワープロの使用や目を酷使する作業(運転、細かい作業、読書など)でまばたきが少なかったり、冬場の暖房、夏場の冷房などで部屋が乾燥しているところ、ドライアイになりやすくて、また層のムチンの分泌を促す目薬も、疲れ目やドライアイの症状を悪化させる場合があります。

## ドライアイ対策

これらの原因には、シェークレン症候群という一種の膠原病やある種の精神安定剤、高血圧や糖尿病のお薬の影響があげられます。健康な人でも、年齢とともに涙は少なくな

ドライアイには、症状のある上下の涙点に特殊な涙点プラグを適宜挿入して様子をみます。涙の蒸発を防止するために、レンズの周囲にカバーのついた専用メガネも有効です。通常は、患者さんの生活環境に配慮しながら点眼療法を中心に対処していますが、日本人の10人に1人が本症で悩んでいるといわれています。

ドライアイは、失明には至りませんが、疲れ目やドライアイの症状を悪化させる場合があります。目薬で改善しない重症例には、涙の出口で

米子支局 TEL.0859(33)3011 FAX.0859(23)0710

【広告問い合わせ】 鳥取 0857(23)7211 米子 0859(33)4801

【購読問い合わせ】 鳥取 0857(23)7666 倉吉 0858(23)3931 米子 0859(24)0397 境港 0859(44)2722

# 鳥取

日野病院では本年4月1日より遠隔放射線画像診断を始めました。コンピュータ断層撮影(CT)あるいは磁気共鳴画像(MRI)の画像データは、インターネット回線を介して東京にある受託事業者の画像診断センターに送信されます。そこに鳥取大学病院の放射線科専門医がアクセスし、画像の読影を行います。翌日には読影結果が電子メールで日野病院に送られて来るといふ仕組みです。従来、日野病院での放射線画像診断は鳥取大学病院放射線科から週1回派遣される医師

## ご近所のお医者さん

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



射線画像診断を導入してみると、日野病院にも診断の即時性の大幅なアップなどのメリットがもたらされました。

遠隔医療とは、通信技術を活用した健康増進、医療、介護に資する行為をいいます(日本遠隔医療学会)。深

断の他に遠隔病理画像診断、遠隔健康管理などが含まれます。遠隔病理画像診断は主として術中迅速診断で用いられる。手術中に摘出した組織の顕微鏡画像が送信され、病理医によりた

に頼っていました。しかし、最近になり、大

### 遠隔医療の現状と問題点

遠隔医療には、上述した遠隔放射線画像診断の他に遠隔病理画像診断、遠隔健康管理などが含まれます。遠隔病理画像診断は主として術中迅速診断で用いられる。手術中に摘出した組織の顕微鏡画像が送信され、病理医によりた

遠隔医療の最大の課題はコストです。システムの設備費、事業

最近、不安神経症と行動異常で精神科へ通院中の57歳女性の白内障術後に、頑固な涙液減少型ドライアイを経験しました。この患者さんには、中枢神経系に作用して精神活動や行動に変化をもたらす各種の向精神薬が投与されていましたが、前回この紙上で少しふれましたが、この種の薬剤服用による副作用が懸念されました。

向精神薬には、副交感神経の働きを遮断する抗コリン作用をもつものが多く、その副作用として、口渇、排尿障害、便秘、頻脈、眼圧上昇、散瞳、麻痺性

# ご近所のお医者さん

□ 156 □

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



イレウスなどが報告されています。従って、眼科疾患に関しては、抗コリン作用をもつ薬剤は、閉塞隅角緑内障や狭隅角眼の患者さんには、投薬禁忌または慎重投与とされています。

主に三叉神経を求心路とし、遠心路としては、脳幹から顔面神経の中間神経を経て涙腺神経に至る副交感神経を通じて主涙腺からなされますので、抗コリン薬の強いものがあり、こは、主涙腺からの涙液の基礎分泌までは変化させないまでも、目の表面に生じた涙液・上皮間の悪循環の自己修復に必要な反射性涙液分泌を低下させる可能性が十分にあり、注意が必要です。

その治療は、涙液減少型ドライアイの治療と何ら変わりはなく、

## 向精神薬とドライアイ

す。しかし、ドライアイに関しては、52%前後に発症をみるという報告があります。抗コリン薬非内服者との間に有意差がなく、関心は今一つです。

しかし、涙液分泌は、通常、向精神薬

回話題の涙液減少型ドライアイを生じる可能性があります。

向精神薬には、抗精神薬、抗うつ薬、気分安定薬、抗不安薬、睡眠薬、抗パーキンソン病薬、精神刺激薬、抗てんかん薬が含まれる可能性があります。

その治療は、涙液減少型ドライアイの治療と何ら変わりはなく、

抗コリン作用は、向精神薬のほか、抗ヒスタミン薬、胃酸分泌抑制薬、解熱鎮痛薬、総合感冒薬、抗不整脈薬にも含まれています。

ドライアイ症状のある方々は、一度自身自身の内服薬の内容を確認してみてください。





# 看護師 集落へ出張

## 鳥取県西部地震で被災 日野町

東日本大震災の被災地では、病院や診療所の再建に加え、高齢化や過疎化が進む地域の医療そのものをどう立て直すかが課題になる。2000年の鳥取県西部地震で被災した鳥取県日野町の日野病院では、通院の難しいお年寄りを支えるため、看護師が集落に出向く取り組みを始めていた。

# 通院難しい高齢者支援

今月4日、看護師2人を乗せたワゴン車が山あいを抜け、小さな集落に着くと、お年寄りが次々集まってきた。看護師はキャンプ用のテーブルとイスを並べ、順番に血圧を測る。「暑いですから、家の中でも熱中症に気をつけてください」と声をかけた。日野病院が7月に始めた「看護の宅配便」。食料品や日用品をトラックに積んで集落を回る移動販売業者と

連携し、お年寄りの買い物ついでに健康相談に乗る。この日は半日で9カ所の集落を回り、34人の相談に乗った。利用した前田美弥子さん(65)は「2カ月前に夫を亡くしたばかりで、運転もできない。移動販売車や看護師さんが来てくれたら、いつまでこの集落に住めるか分かりませぬ」。同病院の利用者は60歳以上が8割。通院はマイカーが大半だが、運転できない人も多い。バスは本数が限られる、バス停から遠い集落もある。そこで看護師の勤務時間をやりくりして月1

回の「宅配」乗り出した。「山あいの集落からやるとの思いで病院に来たのに心配なんです。帰ってくださった」とはひびく。この町には「出かける医療が必要なんです」と看護師長の小村裕美子さん(56)は言う。病院経営は効率化

日野病院は日野と江府、伯耆町でつくる一部事務組合が運営する。00年の鳥取県西部地震で旧病院が使えなくなったが、建て替えのため完成していた新病院に移って運営を続けた。「新病院が完成している

東日本大震災の被災地で



## 施設よりサービス充実を

景山享弘町長



看護師が集落に出向く取り組みは、診療報酬がもらえるわけではない。「文にもならないサービスなのに、よく病院が踏み切ってくれた。年を重ねれば体は悪くなる。医療費を抑えるには、お医者さんや看護師さんと日頃から接して、病気が進まないようにする」ことが一

番です。町も今年度、集落を回ってお年寄りを見守る職員を1人置いた。うまく病院と連携していきたい。これからは建物などのハ

「ド面よりも、住民サービスを充実させるべきです。その方がムダなお金もかからない。東北の被災地でも病院経営を維持するのは大変でしょう。立派な施設を建てるのではなく、住民の安心・安全を一番に考え、必要に応じてだけ投資していく。将来の日本のモデルになるような病院の再建をめざしてほしい。」(談)

は、自治体病院も深刻な被害を受けた。総務省の4月末時点の調査によると、岩手、宮城両県で6カ所が全壊するなど、計73カ所の病院が損傷を受けた。診療所を含めれば、さらに数は膨らむとみられる。

経営の効率化も進め、06年度には病床数を117床から99床に削減。看護師を減らすなどして人件費を抑えた。給食や清掃など業務の外部委託も進め、07年度からは4年連続で黒字を計上した。黒字確保には、国からの交付金の恩恵が大きい。10年度の医療収支は2億4千万円の赤字。これを3億3千万円の交付金で埋めている状態だ。「地域医療を守るため、これ以上の病床削減は避けたい」と生田さんは言う。利用者が減り続ければ60床に大幅削減することも視野に入れる。

「国の財政支援を」  
東日本大震災の被災地で

私は眼科医なので、ドライアイの面から涙の出具合について、過去2回本欄で、その対策を中心に最新の知見を述べました。今回は視点を變えて、「涙の不思議」について触れてみたいと思います。申すまでもなく、涙は眼球外上方部にある涙腺から出る透明な液体で、うれしい時、悲しい時、からだに痛みを覚えた時などにあふれ出ます。ヒトをはじめ脊椎動物にみられますが、感性に促されて涙を出す動物は数少ないところから、人間らしさを表す熟語やことわざのなかに、涙が

# ご近所のお医者さん

161

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



はヒト性善説を別の角度から表現しており、素晴らしいことわざの一つといえましよう。ともあれ、喜怒哀楽の感情の揺れにより流れる涙は、自律神経に

古くからよく使われています。涙より早くかわくものはない。これは悲しみの感情は、長く続かない人間の本性を表したことわざです。「鬼の目にも涙」など

古くからよく使われています。

張させる交感神経が刺さることで、心身の緊張を強いるストレス物質を排出する機能もある。うに流れ、量は少なうてもナトリウムを含むために塩辛い味がします。

涙の不思議

涙は不思議なことに寝ている間は出ないのですが、瞬きをしてい

一方、うれしい時や悲しい時に流れる涙は、心身をリラックスさせる副交感神経が刺さることで、心身の緊張を緩和する脳内ホルモンの分泌が促される。

涙は不思議なことに寝ている間は出ないのですが、瞬きをしてい

泣きたい時には、思い切り泣くことが、自然の摂理にかなっているようにです。

生理機能は、どこまで素晴らしいものなのでしょうか。

涙は不思議なことに寝ている間は出ないのですが、瞬きをしてい

泣きたい時には、思い切り泣くことが、自然の摂理にかなっているようにです。

米子支局 TEL0859(33)3011  
 FAX0859(23)0710

【広告問い合わせ】  
 鳥取 0857(23)7211 米子 0859(33)4801

【購読問い合わせ】  
 鳥取 0857(23)7666 倉吉 0858(23)3931  
 米子 0859(24)0397 境港 0859(44)2722

511  
440

# 鳥取

数年前に訪問診察を行っていた90歳台の女性患者さんのお話です。その方は昔はさぞ立派なお屋敷だったのだらうと思わせる古い大きな家に1人でひっそりと暮らしていました。年とともにだんだん動けなくなり、ついには台所に続く小さな居間が主な生活の場になっていました。こたつはいつも出っばなしでした。窓がないので薄暗く、居間でも電気が必要でした。

6月のこと、ヘルパーさんが訪問すると、患者さんが「気が付いたら、太ももの内側にほくろが出来ていた。

## ご近所の お医者さん

□ 163 □

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



最近それがピリピリ痛むと訴えたそうです。ヘルパーさんから病院で診てほしいとの連絡がありました。

犬を飼っている方なら、「ほくろ」と虫か

らマダニによる虫さされを連想されるかもしれませんが、私も半信半疑ながら、その可能性を考え、眼科用の細いピンセットを持って患者さんの家に出かけました。

患者さんは年中着物を着ていた。すそを上げ、看護師さんに懐中電灯で照らしてもらいながらのぞき込むと、右大腿内側に直径1センチ弱の光沢のある褐色の「ほくろ」がありました。

少し引くと、痛がったので指を離しました。

患者さんは年中着物に動き始めました。ホ乳類、鳥類などからルマリン液に漬けても、しばらくはその状態で照らしてもらいながらのぞき込むと、右大腿内側に直径1センチ弱の痛、皮疹などが出現し、重症では死亡すること、ダニを駆除するため、こたつを片付け、掃除をし、殺虫剤をまきました。このような処置が功を奏したのか、1年後に亡くなるまで、動く「ほくろ」

### 動く「ほくろ」を見たら

その時、「ほくろ」が動いたように見えませんでした。目を凝らすと、何と「ほくろ」の両側に数本の短い足がもそもそと動いているではありませんか。確かにマダニでした。

た。その時、「ほくろ」が動いたように見えませんでした。目を凝らすと、皮膚に食い込んでいたピンセットでしっかりとつかんで慎重に引き抜きました。皮膚から離れた途端に、マダニは驚くほど活発

近年、さまざまな動物がペットとして飼育されており、癒やしを求める人間自身に彼らとの接触は大変意義があるものと思われま

す。

しかし、相手は動物ですから、気分によって、時に愛情表現からかもしませんが、かみついたり、ふいに引っかかりたりします。

本邦にはまだ明確な調査資料がありませんが、米国では動物による咬傷のために、年間100万人から200万人が医療機関で治療を受け、救急外来の受診者の約1割を占めています。しかし、軽

# ご近所のお医者さん

□ 166 □

日野病院(日野町) 玉井 嗣彦 名誉病院長

傷者は医療機関を受診することが少ないと考えられ、真の発生率は不明です。

判明している範囲では、その80%は犬によるもので、受傷者の多くは若年男性です。一



方、猫によるものは全体の5〜19%を占め、受傷者の大部分は若年女性。ある大規模な疫学調査では、受傷者の約4分の1が6歳未満であったと報告されています。

子猫がじゃれて、5歳の女の子の顔に引っかき傷ができ、まぶたも腫れているので目が心配だと受診された親子を最近、診察する機会がありました。

幸い角膜や眼内には損傷がみられず、皮膚への抗生物質の塗布

## 小動物による眼障害

程度で、事なきを得ましたが、猫にひっかかれて角膜穿孔や角膜潰瘍を起したり、眼内炎を生じて眼球内容物除去術に至った症例なども報告されていますので、安心できません。

猫の爪は細く非常に鋭利なため、角膜創の場合も含めて、組織の挫滅が少なく、縫合はしやすいのですが、かま

本菌には一般に、ペニシリン系、第2、第3世代セファロスポリン、テトラサイクリンに加えてクロラムフェニコールが有効とされていますが、土壌や猫の排せつ物に含まれる菌が関与する可能性があり、投与する抗生剤の種類は1種類でなく、状況に応じて調整する必要があります。

猫は可愛い動物ですが、可愛がりが高じて目を傷つけられ、失明させられてはたまりません。ペットブームの今日、何はともあれ、眼障害を防ぐために、事故の予防に注意を払うことが肝要です。

米子支局 TEL0859(33)3011 FAX0859(23)0710

【広告問い合わせ】 鳥取 0857(23)7211 米子 0859(33)4801

【購読問い合わせ】 鳥取 0857(23)7666 倉吉 0858(23)3931 米子 0859(24)0397 境港 0859(44)2722

# 鳥取

最近、新聞やテレビなどで「〇〇病院で院内感染が発生し患者〇人が死亡」といった報道をしばしば目にします。「院内感染」とは病院の中で新たに細菌などに感染することを意味します。本来、病気を治療する場であるはずの病院で、なぜ人を死に至らしめるような感染症が起こってしまうのでしょうか。実際に病院に行き、周りを見渡せば、その理由はすぐに理解できます。弱った様子で横になっている入院患者さんが目に留まると思っています。その方たちは病気が投与された薬な

## ご近所のお医者さん

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



どにより感染に対する抵抗力が低下した状態にあります。また、注射や手術などが行われている場面に遭遇するかもしれない。そのような医療行為は体内への細菌の侵入を容易

にするのです。院内感染を引き起こす細菌の多くは、普通の人に感染する可能性はまずない弱毒菌です。病院のあらゆる場所に生息し、患者さんや医療者により新たに

### 院内感染と耐性菌

病院に持ち込まれ、対する耐性遺伝子が存在していることを示唆する研究結果が報告されています。②突然変異により新しい耐性遺伝子を獲得し増殖する。耐性菌が出現する背景には病院での抗生物質や消毒薬の多用が原因から逃れるための機能やタンパク質を備えたタンパク質。①もともとその抗生物質に対する耐性遺伝子を持った細菌が生き残り増殖する。今年「Nature」誌に、3年前に既に現在使用されている抗生物質にSAである、日本では1970年代に出現しました。その後、2000年代に入り、多剤耐性緑膿菌(MDRP)や多剤耐性アシネトバクターなどさまざまなものが全国に広がっています。昨年9月には、インドから帰国し栃木県の病院に入院していた患者から、抗生物質がほとんど効かない新型の多剤耐性菌が検出されました。その菌はNDM-1産生多剤耐性腸内細菌、別名スーパー耐性菌と呼ばれています。次回は、院内感染に

# 移動販売車脇で高齢者健康相談

日野町や江府町で、スーパーの移動販売に合わせて月に一度、看護師が集落に出向いて住民の健康相談を行う「看護の宅配便」が行われている。山あいにある両町は病院も少なく、通院がままならない高齢者も多いという。日野町の病院が「地域の人たちの役に立てれば」と7月から始めた珍しい取り組み。インフルエンザなど、時期に応じた啓発や相談は住民から好評で、他県からの問い合わせも寄せられるなど、過疎地域の医療を支える取り組みとして注目を集めている。

(大橋裕和)

## 過疎集落へ

## 看護宅配便

ら気軽に相談できて助かります」と喜んだ。

厚生労働省によると「日野病院のような取り組みは他ではほとんど聞いたことがない」といい、日野町と同じ中山間地域を抱える山形県などから病院に問い合わせがあったという。小村さんは「独り暮らしの高齢者の方も多い地域だが、少しでも安心して暮らしても

日野町など3町の一部事務組合「日野病院」(日野町野田)が、地元のスーパ「あいきょう」の移動販売車の巡回に合わせて看護師2人を派遣。移動販売車は生活圏の近い日野、江府両町で連日、10か所以上を回って日用品や生鮮食品などを販売しており、看護師は月に一度、駐車した車の横で、1日に20、30人、高齢者の血圧測定や健康相談に応じるほか、熱中症やインフルエンザ予防の啓発なども行う。

両町には総合病院は日野病院しかなく、個人医院と診療所も江府町に一つずつしかない。また、交通の便が悪い地域では、近所の人に頼んで日野病院まで車で送ってもらう高齢者も多い。同病院が5月12日の「看護の日」に地域貢献の一環として実施し、「看護師

さんが来てくれて安心」と評判が良かったため、7月から毎月行うこととした。今月1日には、看護局長の小村裕美子さん(56)らが日野町の各集落を回った。あいにくの雨模様だったが、町南部の地域では、移動販売車には顔なじみの高齢者が訪れ、小村さんは買い物を終えた人たちに風邪予防のパンフレットを配布。「手洗いの正しい方法を学びませんか」と呼びかけ、手本を示しながら、消毒液を手につけて手首や指先を丁寧に洗ってみせた。

訪れた同町上菅の無職稲田久子さん(81)は「病院に行くなら近所の人に頼んで、車に乗せていってもら

### 日野病院 2人派遣



高齢者にインフルエンザ予防のパンフレットを渡す看護師(日野町で)

わないといけない。こまめにやるように続けていきたい。近くまで来てもらいたい」と話している。

冬山シーズンになり  
ますと、スキー、登山  
と雪山に出かける機会  
が増え、地元大山でも  
多くの冬山愛好者でに  
ぎわっています。

しかし、雪山と目に  
無関心で、ゴーグルな  
どで目を保護して出か  
けないと、下山してか  
ら急にまぶたが腫れあ  
がり、目が痛くなって  
涙が止まらず、ごろご  
ろして目があけられな  
い、俗に雪目と呼ばれ  
る雪膜炎になって、救  
急車を呼んで、医療機  
関に出かける羽目にも  
なりかねませんので、  
注意が必要です。

太陽光線の中で、光  
として感じられるのは

# ご近所の お医者さん

〇 171 〇

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



400ナノメートル(紫)か  
ら760ナノメートル(赤)  
の波長で、短波長域の  
紫外線や長波長域の赤  
外線は光線として感じ  
られません。

一般的に、雪山では  
スキーなどを、1〜2  
時間を越えて行うと角  
膜病変が発症するとき  
は、通常発症後24〜  
48時間も経過しますと  
自然治癒いたします。

雪目はこの紫外線を  
あびて生じるわけで  
す。雪目には、8時間  
から24時間くらいたっ  
てから、夜眠れないほ  
膜病変に対しては、感

で、雪山では紫外線は  
上方、下方のみならず  
横からも目に入ってきて  
ますので、普通のサン  
グラスではなく、黄色  
か茶色のプラスチック  
製のゴーグルを使用す  
ることが肝要です。黄  
色から茶色っぽい色が  
短い波長をカットする  
からです。

## 雪山の紫外線対策

どの目の苦痛を生じる  
こととなります。

防護メガネをせず電  
気溶接をしたりします  
と電気性眼炎が生じま  
すが、同じ理屈です。

古来人も雪目に悩ん  
でいたようで、出土し  
た土偶に本疾患予防の  
目的でエスキモー型  
のスリット式のサンク  
ラスをつけたような形  
式のものを見られます  
が、ガラスがなくても  
立派なサンクグラスを  
造り出した古代人の頭脳  
に脱帽します。

が、190〜320ナ  
ノメートルの紫外線が  
角膜に吸収されます  
と、角膜の表面の細胞  
の核が破壊されて死滅  
して脱落し、びまん性  
点状表面角膜炎の病状  
を呈します。

その際、瞬きによっ  
て刺激症状が増加する  
ため、圧迫眼帯をした  
り、時に冷やすなどし  
が、予防が何より大切  
に脱帽します。

生じて、治癒を遅らせ  
ることがあり、使用に  
は注意が必要です。

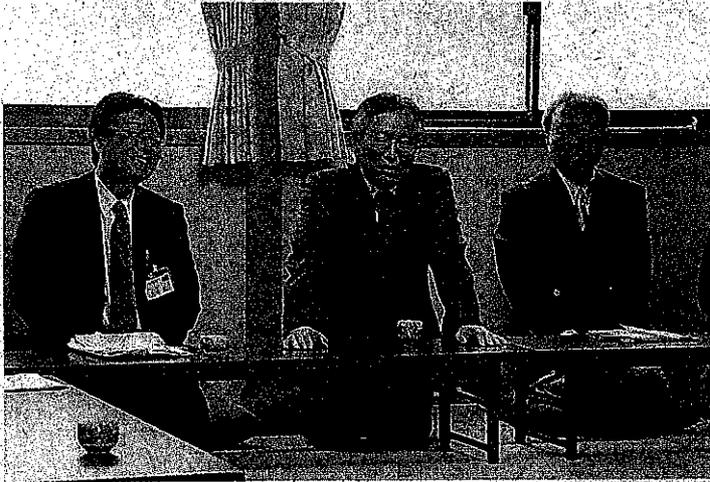
冒頭でも触れました  
り出した古代人の頭脳  
に脱帽します。

# 皮膚科診療 来月から休止

## 日野病院

### 医師派遣 鳥大付属病院取りやめ

日野町野田の日野病院が来年1月から、日野郡内で唯一提供していた皮膚科診療を休止する。これまで鳥取大医学部付属病院（米子市西町）から毎月2回、非常勤で医師を派遣していたが取りやめとなるため。鳥取大病院本体の深刻な皮膚科医不足が、中山間地域の関連病院で顕在化した格好だ。



地域住民に皮膚科診療の休止を説明する日野病院の職員

鳥取大病院皮膚科の医師は山元修教授を含めて現在8人だが、1月から女性医師1人が産休に入り、4月には男性医師1人が開業する。医局の医師数はわずか6人となり、山元教授は「医局運営には、最低でも10人必要。既に限界を超えている」と窮状を説明する。加えて日野病院と同様に、隠岐病院（島根県隠岐の島町）など山陰両県の6病院へも皮膚科医を派遣中だ。優先度から、今回の派遣取りやめは苦渋の決断だったという。

医師不足の要因は、研

修病院を自由に選べるようにした2004年の新臨床研修医制度の導入。導入前は毎年3人程度の入局があったが、04年以降は1人に減った。激務でリタイアする研修医も

少なくなく、今後の医師確保は見通せない。日野病院の皮膚科は二十数人の患者が利用していたが、診療休止に伴い米子市内の開業医などを紹介し、病院側が懇談会を開いて地域住民の理解を求めている。山元教授は「日野郡の人には大変申し訳ない。再開できるような努力していく」と話した。日野病院は日野、江府、伯耆3町が組合方式で運営している。

# 地域知り患者を知る

## 過疎は いま

地域医療編番外

### 日野病院「看護の宅配便」

昨年5月の看護の日のイベントとして地域の健康相談をしたところ、住民からも好評だった。そこで、

食料や生活用品を移動販売した。

荒車に積んで日野郡の山あいを巡るスーパーあいきよろに同行。買い物を終えたお年寄りに血圧の測定結果についてアドバイスしたり、体の症状を話す人にとり、診療科に行けば良いかを案内したりする。

月に2回日野町と江府町を交互に巡り、1回に7、9カ所の集落や公民館などを訪れる。これまでに延べ約2000人の住民の相談に乗った。

小村は「山間部から高齢の患者が薬代より高いタクシー代で帰って行く。病院で待つだけでなく、医療者として地域を知ること大切だと痛感した」。

傾斜のきつい坂道をシグザグに走る送迎車のハンドルを握るのは医事課長の川上靖(49)。「まちの病院と違い、交通の便が良くなかったり、高齢の患者は車を運転できなかつたりと、『交通弱者』を多く抱えているんですよ」と話す。

移動販売の中で地域住民の見守りにも取り組むあいきよろ社長安達享司(56)も「病院も過疎の地域を支える大事な存在。医療の専門家がいることで私たちも心強い」と話す。診察に来なくなっていた



看護局長の小村裕美子さん(右)「いずれも江府町」

男性が、看護の宅配便をきっかけにして通院を再開させたこともあった。山形は「地域の実情を知ったことで、通院が大変な人にはまとめて薬を処方してもらおうとか、患者を支援する意識が変わった。地域で暮らす人の目線で考える看護をしていきたい」。今度も「住み慣れた地域で暮らす元気なお年寄りを見たとき、この姿に患者を持っていくことが自分たちの看護なんだと改めて感じた」と話す。

宅配便は、無償の活動で、費用面や人繰りなどに難しさもある。それでも小村は「何とか継続させたい。積極的に地域にかかわり、自分たち看護師もこの地域を支える柱の一つになりたい」と力を込める。

(敬称略、佐藤隆敬)

「病院の窓口を地域にも」。日野病院(日野町)の看護師が山間部の集落を回り、お年寄りや通院患者らの健康相談にのったり、病院の診療案内をしたりする取り組み「看護の宅配便」を始めて約半年が過ぎた。

11日午前11時過ぎ、数センチの雪が積もる江府町杉谷の集落。雪が降りしきる中、病院の送迎車から看護局長の小村裕美子(56)と看護師の山形睦美(50)、今倉早苗(58)が降りた。顔見知りの高齢女性を見つけると「体の調子はどうですか。インフルエンザのワクチンはまだ打った」などと話しかける。女性は「体は大丈夫よ。こんな大変な日になりたいね」と笑顔を見せた。



看護師の山形睦美さん(右)と今倉早苗さん(中央)



医事課長の川上靖さん

## 半年、支援する意識変化

米子支局 TEL0859(33)3011 FAX0859(23)0710

【広告問い合わせ】

鳥取 0857(23)7211 米子 0859(33)4801

【購読問い合わせ】

鳥取 0857(23)7666 倉吉 0858(23)3931

米子 0859(23)3501 境港 0859(44)2722

511  
440

# 鳥取

今回は院内感染に対して私たちがどのように対処しているかをお話しします。

院内感染対策は、2007年の医療法改正で診療所を含む全ての医療機関に義務付けられました。現在、ほとんどの病院が独自の対策マニュアルを作成し、専門委員会や感染制御チームなどを設置して、院内感染に組織的に取り組んでいます。感染制御チームは、院内感染対策で中心的な役割を担う実働チームで、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師ら数名で構成されます。院内感染は、いった

## ご近所のお医者さん

□ 173 □

日野病院(日野町)

櫃田

豊さん



ん発生すれば、患者さんの生命を危うくするなど、深刻な事態をもたらします。従って対策で重要なのは、感染症の発生を未然に予防することです。私たちはいくつかの感染症に

の感染症の予防にも有効です。手洗いのコツは、指先、手背、親指、指と指の間などの洗いが残しやすい部分もしっかり洗うよう心がけることです。

感染制御チームは定期的に病棟などを見回り、病原菌が繁殖しやすき水回りや汚物処理設備などをチェックします。また、感染状況の監視活動(サーベイランス)も行います。サーベイランスで、院内感染が生じやすいとされる集団(例えば血管に細い管が入っている患者さん

たち)のなかで、実際に医療従事者はN95マスク(0.3μm以上の粒子を95%以上捕集できるマスク)を着用しなければなりません。院内感染が頻発し集団感染(アウトブレイク)と判断されれば、感染源、感染経路、危険因子などの発生要因が徹底的に調査されます。それが明らかに

### 院内感染の予防と制圧

ついて予防接種を受け、病院内では手洗いや手や指の消毒を徹底的に行っています。

は患者さんの隔離が必ずなる前に感染が拡大すれば、最終的な手段として入院停止というところもあり得ます。

は患者さんの隔離が必ずなる前に感染が拡大すれば、最終的な手段として入院停止というところもあり得ます。

は患者さんの隔離が必ずなる前に感染が拡大すれば、最終的な手段として入院停止というところもあり得ます。

ご承知のように、手洗いは院内感染のみならず、インフルエンザ(例えば血管に細い管が入っている患者さん

で、結核患者さんに接

についてお話します。

についてお話します。

「人工網膜」は、すでに実用化されている「人工内耳」の技術を視覚に応用した埋め込み型の医療機器で、ビデオカメラで撮影した画像情報を基に網膜に電気刺激を与えて、網膜色素変性に代表される重度視覚障がい者の視機能を再建することを目指しています。

欧米諸国では、「多極電極」と呼ばれるチップを網膜上、あるいは網膜下に装てんして電気刺激を行います。しかし、埋植時に網膜組織を損傷する危険性は否定できないので、わが国では、眼球壁を半層切除した部位にチ

# ご近所のお医者さん

□  
176  
□

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



ップを装着し、網膜に直接触れない方法での臨床研究が大阪大学の不二門尚教授グループを中心に行われています。

一昨年11月に、彼ら

を報告しています。でもう少しのところまで来ています。米国では、リスクは避けられないものの、2002年からすでに30名以上の本症患者に彼らの埋植手術がなされ、全盲に近い患者さんの多くが白杖なしに歩けるまでに視機能を回復しています。また、人工網膜で得られる視覚は通常よりも少しのところでまいます。そのため、今後は人工網膜の効果的なトレーニング法の開発や、人材育成が人工網膜普及の力になると考えられています。

乗り越えるべきハードルはまだありますが、わが国の中途失明原因の第3位である網膜色素変性患者ばかりでなく、眼球後部の黄斑変性で網膜が著しく破壊された視機能障がい者にも、大きな文字が読め、つえがなくても歩ける時代が1日も早く来るように、この種の研究開発の一層の進展を心より願っています。

## 人工網膜開発の現況

は網膜色素変性で10年以上前に失明した2名の女性の患者さんに本手術を施行した結果、両名はパソコンの画面上の光を追うことができた。その成果が、現在実用化まで回復したと、その成果

が改善したことから、現在のFDA(米食品医薬品局)は、米国内での人工網膜の医療機器認可に向けての検討段階に入っています。このように、一昔前まではSF映画でしか登場しなかった医療機器が、現在は実用化

常の視覚とは異なるため、術後の視機能トレーニングが必要になることを考えられます。実際、大阪大学の研究グループは、人工網膜を使った視機能負荷テストを繰り返し行うことで、この種の研究開発の一層の進展を心より願っています。

米子支局 TEL0859(33)3011 FAX0859(23)0710

【広告問い合わせ】

鳥取 0857(23)7211 米子 0859(33)4801

【購読問い合わせ】

鳥取 0857(23)7666 倉吉 0858(23)3931  
米子 0859(23)3501 境港 0859(44)2722

511  
140

# 鳥取

耐性菌による感染症の問題は、最近では医療機関ばかりではなく私たちの身の回りでも起こっています。その代表がインフルエンザとマイコプラズマ肺炎です。インフルエンザウイルスはA、B、Cの三つの型に分類されますが、そのうち毎年流行を引き起こすのはA型とB型です。A型にはいくつかの種類があり、1990年以降は香港型とソ連型が流行しています。ご承知のように、2009年には新型インフルエンザが流行に加わりました。

今のところ、耐性化

## ご近所のお医者さん

178

日野病院(日野町)

櫃田豊さん



が問題となっている抗インフルエンザ薬は、経口薬であるシンメトレルとタミフルです。古くから用いられているシンメトレルは、元来B型には無効で、香港型のほとんどが耐性

ウイルスとなっている。タミフルについては、01年から日本でも販売されていますが、09年にはソ連型の大部分がタミフルに対して耐性となりました。従って、これらの薬を使

用する際には、流行し始める際には、抗生物質が善効してインフルエンザが増加するようになり、00年以降その薬に対する耐性菌の割合が徐々に増加し、昨年に至っては90%に及ぶと報告されました。

### 人ごとではなくなった耐性菌感染

らなる耐性化を防ぐためにも適切な使用方法の確立が望まれます。マイコプラズマ肺炎は発熱に加え、激しいせきが出るのが特徴です。原因菌である肺炎マイコプラズマに感受性があるミノサイクリン系やニューキノロン系が推奨されています。

加齢黄斑変性は、文字通り「加齢」に伴って網膜の中心部にある黄斑が変性する疾患で、視野中央の見え方にゆがみなどの異常を呈します。多くは60歳以上の片目に発症しますが、いったん発症すると欧米では70歳までに両眼性となり失明します。事実、米国では中途失明の一番の原因となっています。

わが国でも高齢者人口の増加に伴い、増加の一途をたどり、50歳以上で100人に1人弱の罹患率(男性は女性の約3倍)。視覚障害者手帳の取得原因では、緑内障、糖尿病網

# ご近所のお医者さん

181

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



膜症などに次ぐ4位に上がっています。本症には、黄斑が萎縮する、原因未解明の「萎縮型」と、網膜をくるむ脈絡膜から新生血管が伸びてくる「滲

出型」があります。日本人に多い滲出型は、網膜の老廃物が脈絡膜のそばの網膜色素上皮細胞の下にたまり、弱い慢性の炎症を起すことへの反応が主で、それらの結果、

視野中央部がゆがむ、暗く見えるなどの症状が現われます。片目ずつチェックして、少しでも異常に気付いたら、早期発見・治療のために、「年だから」と考えずに、直ちに眼科受診をお勧めします。

## 「年だから」と考えずに

治療は新生血管の見られるものではなく、ここ数年、薬剤とレーザーで新生血管を小さくする「光線力学的療法」は、網膜の老廃物が脈絡膜のそばの網膜色素上皮細胞の下にたまり、弱い慢性の炎症を起すことへの反応が主で、それらの結果、

新治療法として、人改善がみられたとの報告がありました。医学的にはさらなる臨床試験が必要ですが、ES細胞による再生医療の可能性を示す結果として注目されます。

治療は新生血管の見られるものではなく、ここ数年、薬剤とレーザーで新生血管を小さくする「光線力学的療法」は、網膜の老廃物が脈絡膜のそばの網膜色素上皮細胞の下にたまり、弱い慢性の炎症を起すことへの反応が主で、それらの結果、

181

米子支局 TEL0859(33)3011 FAX0859(23)0710

【広告問い合わせ】 鳥取 0857(23)7211 米子 0859(33)4801

【購読問い合わせ】 鳥取 0857(23)7666 倉吉 0858(23)3931 米子 0859(23)3501 境港 0859(44)2722

11  
40

# 鳥取

医師不足と言われて久しくなりますが、ここ数年は医師の都市部への集中が問題となっ  
ています。日野病院でも、2人いた外科医師のうち、1人が鳥取大学病院に帰ることになりました。後任医師の派遣はなく、4月以降外科は1人体制になります。また、同じく4月には、鳥取大学病院からの非常勤医師の派遣停止により、長年続いてきた循環器外来が閉鎖されます。中山間地での医師の確保は、今後ますます困難になると思われます。  
このような状況に対する対策の一つが、現

## ご近所のお医者さん

183

### 日野病院(日野町) 櫃田 豊さん



在多くの大学医学部が入学試験に設けている「地域枠」です。「地  
域枠」を受験できるのは、原則として地元高  
校出身者のみです。地  
域枠」の学生は、他県  
からの学生に比較し

た。当初定員は5人で  
したが、平成21年から  
「特別養成枠」とし  
て5人が追加された  
ため、10人となりました。  
強制的な地域枠は、  
自治医科大学では、  
道府県が貸与し、学  
生が卒業後9年間地元  
で医療に従事すれば、全  
額免除されます。

### 医師不足と「地域枠」

て、将来地元に残る可  
能性が高いと期待され  
ています。  
鳥取大学でも平成18  
年度に「地域枠」が創  
設されました。そし  
て、今年3月末にはその  
第1陣が卒業しまし

院などで一定期間常勤  
医師として勤務した場  
合には奨学金の返還は  
免除されます。従って、  
「地域枠」の学生には、  
事実上、県内での勤務  
が義務づけられている  
のです。  
「地域枠」については  
、さまざまな問題が  
あります。

この長崎県での調査  
で興味深いのは、自治  
医科大学出身者にはそ  
うした動きがほとんど  
なかった点です。自治  
医科大学は「地域枠」  
のためには大学での教育  
が極めて重要なので  
す。

## 5、広報誌 せせらぎ



(9ページに関連記事)

## 日野病院の基本理念

- 一 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す。
- 二 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める。

## 基本方針

1. 高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組みます。
2. 住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します。
3. 安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します。
4. 小児科医療を通じ子育て支援に協力します。
5. 多機能に対応できるリハビリテーションを実践します。
6. 出かける医療、近づいていく医療と福祉に努めます。
7. 検診ドック事業・各種指導事業を積極的に展開します。
8. 職員の人材育成に努め、地域に貢献します。

# 日野病院は ”頼れる中小病院“です



日野病院病院長  
櫃田 豊

自然の猛威の前では、人間がいかに無力であるかを痛感させられた出来事がありました。3月11日に発生した東日本大震災です。マグニチュード9.0の巨大地震と大津波は東北地方の太平洋沿岸に壊滅的な被害をもたらしました。死者・行方不明者は2万6千人、全壊した建物は6万7千戸に上り、福島第一原発事故では周囲に深刻な放射能汚染が拡大しています。

被災地には全国から支援の手が差し伸べられています。日野病院も患者さんの受け入れを表明していますし、4月26日に災害医療支援チームを石巻市に派遣しました。メンバーは大谷副病院長、小村看護局長、佐々木看護師長、川上医事課長の4人です。安全に留意しつつ与えられた責務をしっかりと果たして帰りました。(P9に詳しく)

さて、平成22年度の日野病院組合の主な出来事を表1にまとめました。最大の出来事は日野病院開院70周年及び移転新築10周年記念式典で

したが、これにつきましては前回(せせらぎ40号)ご報告させていただきました。お祝いのお言葉をいただきました多くの方々に、改めて心よりお礼申し上げます。

経営状況につきましては、平成21年度も日野病院、あやめともに黒字決算となりました。

平成19年以降3期連続の黒字であり、喜ばしい限りです。しかし、日野病院の黒字計上は地方交付税増に伴う大幅な増収のためであり、医業収支自体は赤字が横ばいに推移しています。不採算部門を抱えているとはいえ、医業収支の改善は日野病院にとって大きな課題といえます。

平成21年に引き続き、日野病院は週刊ダイヤモンド「頼れる病院ランキング」にランクインしました。この調査の対象となったのは、全国の公的病院と200床以上の民間病院のうち、一般病床数の割合が総病床数の70%未満の病院、平均在院日数が100日以上を除いた病院

です。各病院で医療機能と経営状態に関する9指標の得点が算出され、それらの合計点数(100点満点)が高い順に都道府県別に掲載されています。

良い機会ですので、日野病院の合計点数58点が全国的にはどのレベルなのかを平成21年のデータを使って調べてみました。その結果は、全国の対象病院1173病院のうち826位という期待はずれのものでした。何故こうなったかを検討してゆく過程で、各病院の合計点数と病床数とに明らかかな正の相関があることが分かりました。そこで、200床未満の病院で検討したところ、342病院中102位でした。さらに、100床未満の病院では146病院中20位と高位にランキングされました。

たかだか商業雑誌の調査とはいえ、日野病院が”頼れる中小病院“であることが証明されたと考えていいのではないのでしょうか。

表1. 平成22年度の日野病院組合の主な出来事

平成22年	
4月 1日	新規採用職員オリエンテーション
5月12日	看護の日イベント
5月15日	日野病院職員住宅(単身者用)の地鎮祭
7月17日	ねう祭りに参加
7月30日	夕涼みイベント
8月14日	昨年に引き続き週刊ダイヤモンド「頼れる病院ランキング」にランクイン
8月25日	平成21年度日野病院組合事業会計決算認定 病院3事業：収益的収支で94,614千円の黒字、資金収支で138,422千円の黒字 介護老人保健事業：収益的収支で12,995千円の黒字、資金収支で13,049千円の黒字
8月30日	16列CT(アクティビオン16東芝)の新規導入
8月31日	日野病院職員住宅(6世帯)完成
11月 1日	開院記念イベント
11月 6日	日野病院開院70周年及び移転新築10周年記念式典
12月11日	クリスマスイベント
12月28日	仕事納め
平成23年	
1月 4日	仕事始め
3月22日	正面玄関車寄せの増設
3月28日	駐車場の増設

# 健康長寿を目指して—— 納豆食の効用

日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦



納豆は身体によい食べものであることは、健康食ブームの今日、みんなよくわかっていますが、独特の風味とネバネバした成分のせいでしょうか、好き嫌いのはっきりした食材の一つでもあります。

私は嫌いな方ではありませんが、朝食が簡単なパンを主体とする我が家では、ご飯に納豆の組み合わせで食事をする機会がほとんどありません。

最近、白澤卓二氏がその著「100歳までボケない101の方法 脳とこころのアンチエイジング」（文春新書）のなかで、「ネバネバメニューが老化を防ぐ」と題して、朝食にご飯と納豆を欠かしたことがなく、百寿スキーヤーであった三浦敬三さん（冒険家の三浦雄一郎さんのお父上）の例を紹介しつつ、その効能を説いておられます。

ご飯の主成分である澱粉（でんぷん）や果物類に含まれる果糖といった糖質は、体内で最終的にブドウ糖に分解されて吸収されますが、細胞への取り込みには、膵臓から分泌されるインスリンが作用いたします。急激な血糖値の上昇は、膵臓のフル操業を招き、この状態が繰り返されると膵臓が疲弊し、糖尿病の発症を招きます。

ネバネバ成分のムチンは、糖質に絡みついで、糖質が分解されるのを少し抑えるため、一気に血液中にブドウ糖が増えるということがなく、当然インスリンの分泌もゆっくりとなるわけです。

納豆本体には、血栓を溶解させる機能を持つ本来のウロキナーゼと同様の働きをするナットウキナーゼという酵素が含まれていますので、眼科領域では網膜の血管閉塞性疾患に対する納豆の治療効果が報告されています。

納豆に含まれているビタミンKが血液凝固予防剤のワーファリンの働きを阻止しますので、この薬を飲んでいる場合は食べてはいけませんが、私たちも、初期の網膜中心静脈閉塞症例（58歳男性、右眼）や網膜動脈分枝閉塞症例（21歳女性、右眼）で、前者で夕食時に毎日100g、後者で昼食と夕食に50gずつ10日間程度食べていただいて、症状の改善がみられたケースを過去に経験しています。

治療に用いるウロキナーゼは高額なお薬ですが、100円前後と安価な納豆100gに含まれているナットウキナーゼの効力は、2万円分のウロキナーゼに相当します。従って、経済的にも大変魅力のある代用治療薬を納豆は提供していると申せましょう。

また、納豆は血栓閉塞症の予防にも非常に有効な食材であることは確かです。私たちの経験からいえば、毎日あるいは1日おきにでも50gの納豆を食べるのがよいでしょう。

血栓は明け方にできやすいので、それまでナットウキナーゼの効果を持続させるためには、夕食時に食べるのがベターです。そのため、私は鳥取大学医学部の附属病院長時代、納豆を給食にして出す場合には、夕食時患者さんにお出しするように指導していました。

健康長寿を目指す時代、私もネバネバメニューの効果を期待して、週1～2回程度は、夕食時に納豆を口にしたいと考えています。

なお、本稿は、連載中の毎日新聞「ご近所のお医者さん」記事（2011年5月3日）に加筆したものである。

# 元気と安心と笑顔を届けます

こんにちは

日野病院組合\*在宅介護支援事業所です

連絡先  
訪問看護  
72-2706  
居宅介護  
72-2723  
(8:30~17:15)

訪問エリア  
日野郡・伯耆町  
新見市・新庄村



日野病院組合

在宅介護支援事業所所長(日野病院看護局長兼務) 小村 裕美子

当事業所は、日野病院の一角に併設されており、地域の各関連機関との連携が図りやすい位置にあります。そのメリットを活かし、日野病院の医師を始め多職種との連携を図り、よりよいサービスをお届けするように努めております。活動範囲は、日野郡はもとより岡山との県境を越えた付近までの中山間地を中心に、在宅支援事業の拠点として活動をしております。きめ細やかなサービスを365日24時間お届けいたします。

お悩み解決!!

## すまいる\*エンジェルズ



① 困ったなあ  
うちのおばあちゃん  
退院してから寝たきりで  
髪を洗ってないだがん:



スタッフ全員で~す

ちよつとまった!!  
私にまかせて♪  
家にあるもので:



②

みなさんご存知ですか?  
洗剤の空容器と紙オムツがあれば  
寝たままでシャワーを浴びたように  
いろいろなところが洗えますよ



③

あ~~気持ちいい  
おまえも  
してもらえ。

④



(↑これは実話です)



訪問看護ステーション 主任 濱田 辰美

“住みなれたところで 日常を送りたい!”  
あなたの思い・・・ご家族の思いに向き合い、寄り添う看護をお届けします。

在宅での看護や介護でご心配なことを、どうぞお気軽にご相談下さい。私たちが自宅に伺い、看護の手助けをさせていただきます。



居宅介護支援事業所 主任 細田 悦子

すみなれた家で、自分らしく安心して暮せるようお手伝いします。困ったことや介護保険のことなど相談したい方はどうぞ気軽にご連絡下さい。



訪問リハビリ部門 田中 武志

家での動きが悪くなってきた、痛みがあって動きたくない、転倒しやすくなった、といった悩みなど気軽に相談してみてください。

元気に長生きできるよう  
二人三脚でがんばりましょう!



リハビリテーションスタッフがリレー形式で皆様のお役に立つような情報・お話を掲載しています。

## 着替え動作に役立つ自助具

みなさん、こんにちは。今回は自助具シリーズの第2回目として、着替え動作の時に使用すると便利な自助具についてご紹介します。

リハビリテーション室 作業療法士 道下真紗美

### 自助具とは？

心身の機能上の理由から、日常生活で困難をきたしている動作を、自分で行えるように補助し、日常生活をより快適に送るために工夫された道具のことです。

自助具を使用することによって、自分では出来ないと諦めていたり、人に頼ってしまっていたりしていたことが可能になります。そのことにより、生活の幅・質が広がるだけでなく、精神的にも積極性が出てくるなど、自律生活を高める効果が期待出来ます。

### 着替える動作に関する自助具

日常生活の中で、服を着替えることは頻度が多い動作であります。麻痺などの心身機能の問題ばかりではなく、指の細やかな動きが出来ない、肩が痛くて腕が上がらないなどの誰もが抱える症状によっても阻害されやすいのが着替え動作です。

もっと楽に服を着替えたい、自分のこと自分でしたいという方のために、いくつかご紹介させていただきます。

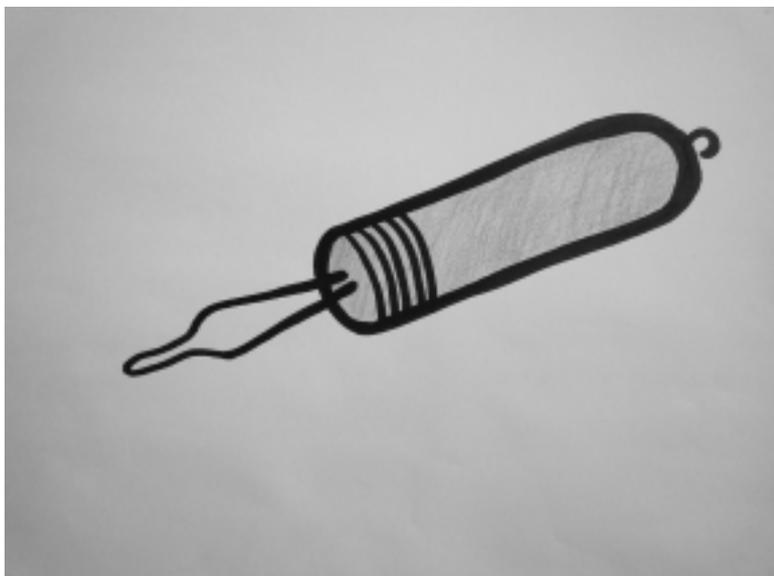
### リーチャー



思うように体が動かせず、手が届かない時、腰が曲がって高い所の物が取れない時などにリーチャーを使用すると便利です。

カーテンの開け閉めなど色々な用途で使えます。

## ボタンエイド



指先で小さなボタンを持つことが出来にくい、麻痺などにより片手でボタンをしなければならぬ時に使用すると便利です。

ボタン穴からボタンエイドを差込み、ボタンの糸を引っ掛け、ボタン穴に引っ張りながら通して使います。

## ソックスエイド



股関節や膝関節の曲げ伸ばしが難しく、靴下をはくのが困難な場合に使用します。

足首の動きを必要とするため、足首の動きに制限がある場合はこれを使用しても困難なことがあります。また、指の細かな動きが難しい方、靴下のゴムが固い場合は使用しにくいです。

自助具は、福祉用具を扱っているお店で売っていますが、とても値段が高いものが多いです。また、基本的に身体の状態や能力、要望に合わせて作った方が、自分に合っており、より使用しやすくなります。お困りの方はぜひ御相談下さい。

# 介護老人保健施設あやめ

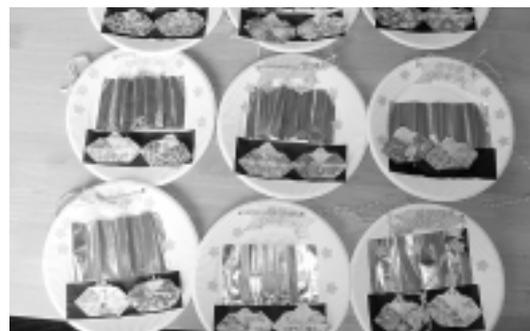
当施設も平成23年度、開設より6年目を向かえ、新たな気持ちでサービスの向上に取り組んでまいりたいと思います。

その中でも、「地域の中に根ざした」施設作りを重要課題として取り組んでおり、今後も充実をはかっていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

## 《通所リハビリテーション》

3月は雛飾りを作りました。

みんなで協力し沢山の雛飾りができました。ちゃんと顔まで描いてあります。桜の花びらの散らせ方ひとつとっても個性豊かな作品に仕上がりました。



江府町袋原のボランティアグループ『福笑会』の皆様は銭太鼓を披露していただきました。息が揃った演技を披露していただき、利用者の皆様も真剣なまなざしで見守っておられました。なかには手拍子をされる方もおられました。



## 《入所サービス》

3階もみじユニットでは桜もちを皆様で作っていただきました。

出来上がるまでの時間は、皆様無口です。おいしくいただきました。



美容講習のボランティア・川上様にお願いし、利用者の皆様にお化粧をしていただきました。2階の12名の方が参加され、皆様たいへん喜んでおられました。



★ご相談 江府町大字武庫475番地 介護老人保健施設あやめ  
TEL 0859-75-3230 ・ FAX 0859-75-3280

# 新規採用 職員紹介



看護師  
岡本直子

この度、日野病院に勤めることになりました。地域の皆さまとの関係を大切にし、皆さまの生活環境が維持向上していけるように日野病院を通して貢献していきたいと思います。笑顔と思いやりを大切に頑張りますのでよろしくをお願いします。



作業療法士  
佐山久美子

今年度から、作業療法士としてお世話になります。新人で未熟ですが、日野病院での出会いを大切に、関わる全ての方々が笑顔になっていただける様、頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。



理学療法士  
佐田山晋佑

4月から日野病院で理学療法士として働いています、佐田山です。まずは、地名を覚えることから頑張ります。よろしくお願ひいたします。

## 改善 患者様の声（改善点）



このコーナーでは、患者さまからいただいた意見（お褒めやお礼の言葉・苦情・提案等）の中から提案や改善項目に対する回答を紹介しています。

患者様の声を受け、様々な点で改善をいたしております。これからもお気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しております。）

また、日野病院のホームページの「ご意見・お問い合わせ」からもご意見をお寄せいただけます。

◎同室でのポータブルトイレ使用の際臭いがして困ります。後で消臭剤等を利用していただければ助かります。

ポータブルトイレを利用された後の清掃は、その都度させていただくため看護師を呼んでいただくよう入院時に患者さまにお願いしています。（その際は、噴霧用の消臭剤を使用しています。）

また、看護師に声をかけていただけなかった方のために、午前と午後定期的に、ポータブルトイレの中のバケツを清掃し消臭剤を入れることにしています。

臭いが気になる場合は遠慮なく看護師にお伝えください。その都度対応させていただきます。

◎個室の部屋の窓がソファの上にあって、特に子どもは開けると危険だと思います。

ご心配をお掛けして申し訳ありません。

ご指摘のとおり当院の病室にはベランダがないため、ソファのすぐ上にある窓から患者さまや付き添いの方が落下される心配があります。

現在転落防止の対策として、窓を全開できないようにするため2階病棟と3階病棟のすべての窓にストッパーの取り付けを行い、4月中に取り付けが完了しました。

日野病院は今後も、安心して療養していただける環境づくりに努めていきたいと思ひます。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、「ご意見をお寄せください。」

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖大地震では、多くの方が被害にあわれ尊い命が失われました。亡くなられた皆さまのご冥福をお祈りし、被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

## 今、日野病院にできること…

### 患者受け入れ

県・医師会の要請により、被災地の医療機関で対応できない入院患者の受け入れ態勢を整えています。また、外来では被災地から避難してこられた患者さまの診察も行っています。

### 鳥取県医師会JMAT(日本医師会災害支援チーム)として被災地へ

4月26日から29日までの間、鳥取県医師会のJMAT第6派として日野病院はチームを編成し石巻市(2ヶ所の避難所を担当)で医療支援活動を行いました。

活動時期の天候状況に影響され感染症は減少傾向でしたが、粉塵による咳・眼症状、不眠や毎日服用していた薬を流された患者さんの処方への対応が中心となりました。診察の合間には避難所の方々への声かけによる心のケアも行いました。

避難所周辺はテレビなどで見た光景が広がり余震も繰り返し起こるなど、不安な日々は続いています。短い支援期間ではありましたが、被害にあわれました皆様方の一日も早い復興を願い帰路に着きました。



### 救援物資の提供

日野病院では今回の東日本大震災にあたり、救援物資(毛布、紙オムツ、カップ麺)の提供を行いました。

### 義援金

3月15日から4月28日の間、外来受付カウンターに義援金箱を設置し、来院された方からの義援金を募りました。皆さまからの温かいご支援は9万1,391円となりました。

義援金は、職員から募った義援金17万2,113円と共に、4月28日に新日本海新聞社へ届けました。(後日、日本赤十字社を通じ被災地へ送られます。)ご協力ありがとうございました。

また、看護局では、4月11日(月)に病院正面玄関で義援金バザーを実施しました。多数の方にお越しいただきありがとうございました。

収益金7万8,901円は義援金として日本看護協会へ送金しました。こちらも後日被災地へ届けられます。



## 連絡先

### 日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地  
TEL 0859-72-0351  
FAX 0859-72-0089

### 黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地  
TEL 0859-74-0351  
FAX 0859-74-0351

### 二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4  
TEL 0859-62-0351  
FAX 0859-62-0351



切り取り線

# 日野病院 外来診療案内

最新版 H.23.4.1現在  
午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金	土
内科	一診	午前	熊野健太郎	飯塚和彦※1 (循環器内科)	熊野健太郎	熊野健太郎	松本慎吾 (呼吸器・大学医師)	第2 熊野健太郎
		午後		飯塚和彦※1 (循環器内科)			松本慎吾 (一般内科・大学医師)	
	二診	午前	櫃田 豊	櫃田 豊	今本 龍 (大学医師)	中下聡子※3 (脳神経内科)	櫃田 豊	第4 櫃田 豊
		午後		大学医師	今本 龍 (大学医師)			
	三診	午前		懸樋英一	藤岡洋平※6 (糖尿病)		懸樋英一	
		午後			藤岡洋平※6 (糖尿病)			
	消化器検査	午前	懸樋英一	大谷眞二	今本 龍 (大学医師)	懸樋英一	佐藤尚喜	
	禁煙外来	午前	櫃田 豊					
その他検査	午後	懸樋英一				熊野健太郎		
外科	午前	佐藤尚喜	佐藤尚喜	大谷眞二	大学医師	大谷眞二	第4 大谷または佐藤	
整形外科	午前	林 育太	林 育太	岡野 徹 (大学医師)	林 育太	林 育太	第2 林 育太	
眼科	午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※2	唐下千寿 (大学医師)	玉井嗣彦	唐下千寿 (大学医師)		
小児科 アレルギー科	午前	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎 (第2・4)	
	午後※4	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎 (第2・4・5)	頭本一郎	頭本一郎		
専門診療科 (大学医師)	午前	泌尿器科 (磯山忠広)	循環器内科※1 (飯塚和彦)	心療内科 (長田泉美)	耳鼻科 (竹内裕美)	呼吸器・大学医師 (松本慎吾)	皮膚科 (第2・4) 心臓外科 (第2・4) 血管外科 (第2) ペースメーカー ※5	
	午後		循環器内科※1 (飯塚和彦)	消化器内科 (今本 龍) 糖尿病外来※6 (藤岡洋平)	脳神経内科※3 (中下聡子)	呼吸器・大学医師 (松本慎吾) 婦人科※7 (月2回)		

## 自動再来受付機による受付時間

- 午前 = 7時30分～11時30分 (診療開始 9時) ● 午後 = 正午～午後4時 (診療開始 午後2時)
- 休診日 ● 日・祝日 ● 毎月第1・第3・第5土曜日
- 毎月第2・第4土曜日の午後 ● 8月14日・15日 ● 12月29日～1月3日

- ※1 循環器内科は隔週です。診察日についてはお問い合わせください。
- ※2 火曜日の眼科受付時間は、10時30分までです。
- ※3 脳神経内科は完全予約制です。受診希望の方は内科を受診して医師にご相談ください。
- ※4 小児科は午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ※5 ペースメーカー外来は偶数月の第4土曜日でのみの診察です。
- ※6 糖尿病外来は第2・4水曜日で完全予約制です。受診希望の方は内科を受診して医師にご相談ください。
- ※7 診察日については、お問い合わせください。

注意 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。  
(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

## 外来診療案内ポケット版

(H.23.4月現在)

		午前 (受付時間は、7時30分から11時30分まで)						備考
診察科目	月	火	水	木	金	第2土	第4土	
内科	一診	熊野 (循内)	熊野 (大学)	熊野 (脳内)	熊野 (呼吸器)	熊野		循内は隔週
	二診	櫃田	懸樋				櫃田	
	三診							
	禁煙	櫃田						
外科	佐藤	佐藤	大谷 (大学)	大谷 (大学)	大谷		大谷or佐藤	
整形外科	林	林	林 (大学)	林	林	林		
眼科	玉井	玉井	玉井 (大学)	玉井 (大学)	玉井			
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他 (大学)	泌尿器科	循環器内科	心療内科 糖尿病外来 消化器内科	耳鼻科 脳神経内科	呼吸器	皮膚科・心臓外科 血管外科		ペースメーカー 偶数月
		午後 (受付時間は、12時から16時まで)						備考
診察科目	月	火	水	木	金			
内科		(大学)	(大学)		(大学)			
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本			
その他(大学)		循環器内科	糖尿病外来 消化器内科		婦人科 呼吸器			

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

(切り取って財布等に入れご利用ください)

## 〔編集後記〕

東北地方太平洋沖地震からしばらく経ちましたが、大震災後の爪あとは深く、行方不明者捜索は続いています。今でもなお、多くの方々が避難所生活を送っておられ、胸が締め付けられる思いがします。長期にわたる避難所生活から、心身共に疲労がピークに達するなかで、きちんと順番を守り、幼い子どもや高齢者を積極的優先する被災者の方々同士の思いやりに日本人の誇りを感じました。支援の輪を大切にしていきたいですね。一秒でも早い復旧と、被災地の方々の安全な生活が送られますように心より願っています。

(中)

切り取り線



玉井名誉病院長感謝状贈呈式の様子（10ページに関連記事）

## 日野病院の基本理念

- 一 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す。
- 二 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める。

## 基本方針

1. 高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組みます。
2. 住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します。
3. 安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します。
4. 小児科医療を通じ子育て支援に協力します。
5. 多機能に対応できるリハビリテーションを実践します。
6. 出かける医療、近づいていく医療と福祉に努めます。
7. 検診ドック事業・各種指導事業を積極的に展開します。
8. 職員の人材育成に努め、地域に貢献します。

# 日野病院組合の最近の活動を振り返って

## ―診療所事業―



日野病院病院長  
檀 田 豊

病院長を拝命してから、早いもので5年が経過いたしました。これを契機に日野病院組合の最近の活動を評価する作業を始めています。まず、

診療所事業の意義と問題点を検討してみました。

日野病院は鳥取県西南部の中山間地に位置します。高齢化率は40%を超え、高齢者世帯の多くは自家用車などの独自の交通手段がありません。一方、公共交通機関は、廃止・削減が進行しています。さらに中山間地特有の厳しい地理的、気象的条件も加わり、当地域での患者の通院負担は極めて大きいと言わざるをえません。日野病院組合は、平成17年に黒坂、平成19年には二部に診療所を設置しました。

黒坂診療所については、開設当初は内科と外科の診察日をそれぞれ週1回設けました。診察日には当院の医師、看護師、事務員それぞれ1名づつを派遣しました。平成20年10月からは松田泰彦先生による週2回の診察が始まったため、内科医師の派遣は中止しました。平成21年3月に外科医師が辞職したため、4月以降は再び週1回内科医師を派遣し、週3回の内科診察の体制となりました。しかし、日野病院に発熱外来（新型インフルエンザ対策）を設置する必

要性が生じたため、6月以降内科医師の派遣を中止しました。その結果、診察日は内科の週2回のみとなりましたが、8月に新しく佐藤尚喜医師が着任したため、現在は週1回の外科診察も行っています。

二部診療所については、開設当初は黒坂診療所と同様の体制としました。しかし、内科医師の辞職により、平成20年10月以降は週1回の外科診察のみとなりました。その後、外科医師の辞職に伴い、平成21年4月以降は内科医師を週1回派遣しました。上述したように、発熱外来設置に伴い医師の派遣を中止したため、本診療所は6月から8月末まで休診となりました。9月からは週1回の熊野健太郎医師による内科診察を再開し、現在に至っています。

2つの診療所を合わせた年間外来患者延数は平成17年度から19年度では110名程度、平成20年度から22年度では150名程度でした。これは、当院の年間外来患者延数の2〜4%に相当しました。一方、2つの診療所を合わせた医業収支は一貫して赤字でした。しかし、収益的収支、資金収支は保健衛生費などの医業外収益により平成18年度より黒字となりました。

以上より、附属診療所の設置は、日野病院組合に大きな経済的負担を強いることなく、住民の通院負担がある程度減少させることができたと考えられます。ただし、診療所活動を継続させるためには、今後とも病院の実情に合わせた診療体制の柔軟な変更が必要と思われれます。

# 日野病院日誌

—11度目の秋を迎えて—



日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦

私は鳥取大学を平成13年3月に定年退官後、ご縁があって日野病院に赴任してから早くも11度目の秋を迎えました。その間、母校鳥取大学眼科の井上教授はじめ多くの医局の先生方の絶大なるご支援を得て、外来診療はもとより、平成13年10月からは近代設備のもとに手術室で白内障を中心とした眼科手術を行ってきました（当院では、原則入院）。

従って、本来8月末で手術開始9年11ヵ月が経過したことになりますが、この間、1026名（男性369名、女性が657名、比率として男性36.0%、女性64.0%）の主として加齢に伴う白内障手術を延べ1627件施行しました（表1、2）。年齢は43歳から102歳の平均77.0歳でした。ちなみに、80歳以上の方は男性が392名中130名の35.2%、女性が262名の66.8%を占めており（表1）、今日の女性優位の高齢化社会を反映する結果でした。

本院での上記白内障手術患者さんが、本年6月14日で1000名の大台に乗ったことは、この「せせらぎ」の原稿を書く時点までは気がつきませんでした。全員トラブルもなく元気で退院され、ご満足いただいたことは、スタッフ一同大いに感謝申し上げている次第です。

外来の特殊なレーザー装置を用いての後発白内障切開術件数202件を加えて、手術開始9年11ヵ月間の白内障関連手術件数は合計1829件（表2）を数えますが、見える喜びは、ご本人のみならずご家族はもとより我々スタッフ一同も含めた全員の喜びでもあります。今後も住民の皆様方のQuality of Vision（視覚の質）の確保のために努力してまいりたいと思いますので、関係各位の一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

〔追記〕此の度、思いがけず日野病院組合管理者の景山享弘日野町長始め組合関係者並びに病院当局を代表して櫃田豊病院長より、すばらしい感謝状と記念品を「白内障手術患者1000名」を記念して賜りましたが、関係スタッフ全員にいただいたものとこの紙上を借りて、厚く御礼申し上げます。

表1 手術開始9年11ヵ月間の手術室使用の白内障手術患者の年齢分布

性別	患者数	年齢分布（歳）	平均年齢（歳）	80歳以上の患者数
男	369 (36.0)	43～98	76.5	130 (33.2)
女	657 (64.0)	46～102	77.3	262 (66.8)
合計	1026	43～102	77.0	392

( ) 百分率。備考：手術室は平成13年10月より使用。

表2 手術開始9年11ヵ月間の白内障関連手術件数

	手術名	件数
手術室使用※	白内障手術	1627
	(内訳) 水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）	1622
	水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）	5
外来	後発白内障手術	202
	合計	1829

※平成13年10月より手術室使用。

# 4年連続で黒字決算となりました！

## 平成22年度決算のご報告

去る8月29日に開催された日野病院組合議会において平成22年度の決算が認定されました。その内容を報告します。

### ○ 病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

前年度と比べ外来患者数・入院患者数ともに減少しました。これにより収益が減少しましたが、材料費や減価償却費などの費用も減少しました。なお、将来を見据えて退職給与引当金を、通常額（55,250千円）に加え47,000千円を追加で引当てましたが、決算額は前年度を上回る108,361千円の黒字決算となりました。

### ○ 介護老人保健施設事業（あやめ）

前年度と比べ利用者数が減少し収益が減少しました。一方費用は、職員の増員等により増加しましたが、決算額は11,156千円の黒字決算となりました。

## 日野病院組合事業決算概要

### ○ 病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

(単位：千円)

区 分	21年度	22年度	増 減	備 考	
収益	医業収益	1,249,295	1,182,863	△66,432	入院収益、外来収益、公衆衛生活動収益等
	介護サービス収益	47,758	49,602	1,844	訪問看護、訪問リハビリ収益等
	医業外収益	361,620	387,613	25,993	負担金交付金、補助金等
	収益合計	1,658,673	1,620,078	△38,595	
費用	医業・介護サービス費用	1,513,549	1,472,773	△40,776	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	医業外費用	50,510	38,944	△11,566	企業債利息、消費税等
	費用合計	1,564,059	1,511,717	△52,342	
決算額	94,614	108,361	13,747		
資金不足比率 ※	該当なし	該当なし		資金不足を生じていないため、該当無し	
資金不足負担金発生までの額	248,640	357,694	109,054	マイナスとなった場合にのみ負担金(追加分)が発生	
年度末退職給与引当金残高	120,453	163,166	42,713	引当額102,250千円（通常55,250千円、追加47,000千円）退職金支払額59,537千円（5名）	

### ○ 介護老人保健施設事業（あやめ）

(単位：千円)

区 分	21年度	22年度	増 減	備 考	
収益	介護サービス収益	385,938	386,075	137	介護報酬収益、利用者負担収益等
	介護サービス外収益	301	205	△96	
	施設運営事業外収益	178	92	△86	自動販売機手数料
	収益合計	386,417	386,372	△45	
費用	介護サービス費用	318,580	338,843	20,263	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	介護サービス外費用	46,120	36,373	△9,794	起債償還等負担金
	費用合計	364,700	375,216	10,516	
決算額	21,717	11,156	△10,561		
資金不足比率 ※	該当なし	該当なし		(流動負債等・流動資産等) / 営業収益 × 100	

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項（平成19年法律第94号）の規定による。

# ○患者数（利用者）診療単価、及び稼働率等

## 1. 病院事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）			病床利用率（％）		
	21年度	22年度	増減	21年度	22年度	増減	20年度	21年度	増減
(1) 入院診療	28,261	26,762	△ 1,499	29,856	29,312	△ 544	78.2	74.1	△ 4.1
(2) 外来診療	47,130	43,503	△ 3,627	6,684	7,246	562			

## 2. 在宅介護支援事業

項目	利用者数（人）			1人1日当たり単価（円）		
	21年度	22年度	増減	21年度	22年度	増減
(1) 訪問看護等	4,051	3,912	△ 139	11,789	12,679	890

## 3. 診療所事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）		
	21年度	22年度	増減	21年度	22年度	増減
(1) 黒坂診療所	1,442	1,311	△ 131	3,857	3,608	△ 249
(2) 二部診療所	132	128	△ 4	3,790	4,271	481

## 4. 介護老人保健施設事業（あやめ）

項目	患者数（人）			稼働率（％）		
	21年度	22年度	増減	21年度	22年度	増減
(1) 入所	23,689	22,508	△ 1,181	92.7	88.1	△ 4.6
(2) 短期	1,753	2,049	296	48.0	56.1	8.1
(3) 通所	7,253	7,428	175	77.7	79.6	1.9

# ○ 部門別各種統計（抜粋）

（単位：件または人）

手術件数	21年度	22年度	差引
外科	81	81	0
整形外科	190	130	△ 60
眼科	177	161	△ 16
泌尿器科	0	2	2

内視鏡検査	21年度	22年度	差引
胃カメラ	819	729	△ 90
胃透視	35	24	△ 11
大腸ファイバー	89	89	0
大腸透視	0	2	2
気管支鏡	9	7	△ 2
胃ろう造設術	17	19	2

超音波診断検査	21年度	22年度	差引
腹部エコー	804	773	△ 31
心甲乳エコー	383	244	△ 139

薬局状況	21年度	22年度	差引
服薬指導(人数)	584	551	△ 33
服薬指導(件数)	1,071	1,036	△ 35
訪問服薬指導	110	127	17
処方箋枚数	10,410	10,209	△ 201
薬剤数	27,989	25,471	△ 2,518
注射箋枚数	19,519	16,159	△ 3,360

栄養管理室状況	21年度	22年度	差引
入院時延べ食数	64,905	63,016	△ 1,889
外来透析食数	878	955	77
栄養指導	557	586	29

検査室状況	21年度	22年度	差引
血液検査	19,214	18,893	△ 321
尿検査	5,992	6,020	28
心電図	2,022	1,758	△ 264
呼吸機能	605	451	△ 154
眼底カメラ	364	312	△ 52
脳波	10	18	8
血圧脈波	32	44	12

訪問看護状況	21年度	22年度	差引
実人員	411	370	△ 41
延べ人員	2,113	1,897	△ 216

居宅支援	21年度	22年度	差引
件数	614	770	156

訪問リハビリ	21年度	22年度	差引
実人員	467	482	15
延べ人員	1,938	2,015	77

放射線室状況	21年度	22年度	差引
単純撮影	6,014	5,293	△ 721
骨塩定量	266	332	66
乳房撮影	231	51	△ 180
C T 検査	1,512	1,564	52
M R I 検査	738	600	△ 138

人工透析状況	21年度	22年度	差引
実人員	109	142	33
延べ人員	1,217	1,536	319

理学療法状況	21年度	22年度	差引
運動器リハ(I)	16,049	9,500	△ 6,549
運動器リハ(II)	0	4,890	4,890
呼吸器リハ(I)	1,260	1,410	150
脳血管リハ(II)	10,945	10,077	△ 868
脳血管リハ(II)廃用	0	3,615	3,615
退院時(前)指導	439	355	△ 84
徒手(器具)的処置	3,346	3,137	△ 209

作業療法状況	21年度	22年度	差引
運動器リハ(I)	1,581	1,243	△ 338
運動器リハ(II)	0	543	543
呼吸器リハ(I)	101	55	△ 46
脳血管リハ(II)	2,038	2,250	212
脳血管リハ(II)廃用	0	494	494

言語聴覚療法状況	21年度	22年度	差引
脳血管リハ(II)	2,235	1,982	△ 253
脳血管リハ(II)廃用	0	438	438
摂食機能療法	922	525	△ 397

検診実施状況	21年度	22年度	差引
人間ドック	264	220	△ 44
脳ドック	82	88	6
生活習慣病検診	129	124	△ 5
婦人がん検診	636	66	△ 570
大腸・胃・肺がん検診	70	0	△ 70
予防接種	1,719	1,628	△ 91

# すまいる互片版

## ◇ナースの知恵袋◇

～認知症の人とのかかわりを考える～

(23.7.11～15 鳥取県認知症介護実践者研修に参加して)

高齢になればなるほど罹りやすくなるのが認知症。団塊の世代の方々が75歳を迎える2025年を目途に高齢者施策は認知症対策中心に移行しつつあります。



心のこもったサービスを笑顔いっぱいでお届けします♪  
ご自宅での療養を支援するメンバーです☆

お悩み解決!!

## すまいる\*エンジェルズ

入院病棟 病室にて...

調子が悪くなったら  
ピーポーがえ?!  
馳ずがしつ

高血圧が心配で...  
家に帰られん...

訪問看護に任せて♪

すまいるエンジェルズ

24時間対応で点滴やお薬の管理など主治医の指示のもとご自宅での療養をお手伝いします☆

24時間対応最高!!  
安心の住宅生活  
カモン♪

よかつたね

じいさん、はしやぎすぎじゃ～

認知症の症状には、記憶障害・見当識障害(時や場所や人を認識できない)・判断力低下があり、私たちは認知症の表面の症状だけを捉えて→理解できない人、どのように接してよいか分からない人・・・と、問題視しがちです。しかし本当のところ、認知症の人の心理はどうなっているのでしょうか・・・

「わからない」ことの連続：不安と混乱

家事や仕事の失敗：自尊心の喪失

現実の世界についていけない自分自身が壊れていく

：焦燥感・恐怖心

認知症の人は、認知症を持ちながらも懸命に「自分らしくありたい」と願っているのです。私たちの関わり方が認知症の人の心理状態に大きく影響します。「もしあなたが認知症だったら」と考えてみてください。私なら・・・

☆苦痛がなく心地よく過ごしたい

☆今までの暮らしを続けたい

☆自分の持てる力を発揮できる

☆自分で選べる

☆かけがえのない1人の人として存在できる

・・・そうありたいと思いませんか

## こんにちは♪ 居宅介護支援事業所です

～うつを見逃さない、悪くさせないポイントご紹介～

猛暑に苦しんだ夏も過ぎ、虫の音に耳を傾け秋風やおいしいものにうっとり過ごすこの季節♪実は、これからの季節はうつ症状も出現しやすくなることをご存知でしょうか?!

【脳のはたらき】→

○「食べる・歩く」などの生きるための基本的な動作を身体に命令する。

○「感情や意欲、記憶などといった知的命令」を心へ伝える。

⇒心への命令を伝えるのが神経伝達物質であるセロトニン。

セロトニンは光の刺激が目から脳に送られることで生産が促されるため、日照時間が減少する秋～冬期にはうつ的な症状が現れやすくなるとのこと。この物質は加齢と共に分泌量も減少するので65歳以上の方は重症化しないように特に注意が必要です。

### 高齢期のうつ症状の特徴

ふらつき、頭痛、腹痛、肩こり、便秘など身体症状に現れます。

※2週間以上、不眠や原因不明の心身の不調が続く場合には主治医にご相談のうえ、早めに専門医への受診をされることをお勧めします。

※うつと診断されたら、薬で治療することが可能です。

※家族など周囲の方は、責めない・励まさない・決断を肩代わりする等適切なケアで、無理せずゆっくり心を休めてもらえるよう心がけましょう。



リハビリテーションスタッフがリレー形式で皆様のお役に立つような情報・お話を掲載しています。

# 熱中症について

みなさんこんにちは。まだまだ暑い日が続いていますので、体調管理には十分気をつけましょう。今回は、夏に猛威を振るう熱中症についてお届けします。

## 熱中症とは？

熱中症とは暑熱（高温）環境下で起こる、！体内の水分や電解質の欠乏、"高体温そのものによる臓器障害の総称で、熱失神、熱けいれん、熱疲労、熱射病などにわけられます。

- ・**熱失神**：皮膚血管の拡張によって血圧が低下、脳の血流が減少して起こるもので、めまい、失神などがみられる。顔面蒼白となり、脈は速く弱くなる。
- ・**熱疲労**：脱水による症状で、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などがみられる。
- ・**熱けいれん**：大量に汗をかき、水だけを補給してしまうことで血液中の塩分濃度が低下し、足や腕に痛みを伴ったけいれんがおこる。
- ・**熱射病**：体温の上昇によって中枢機能に異常をきたした状態で意識障害（応答が鈍い、言動がおかしい、意識がない）がおこり死亡率が高い。



## 予防と対策

- ・**暑さを避ける**：屋外では日陰を選んで活動しましょう。可能であれば活動する時間帯も選びましょう。（午後の暑い時間を避け、午前中や夕方がいいでしょう。ただし、夕方は体が疲れているので注意が必要です。）
  - ・**服装も工夫する**：吸水性に優れた素材を選び、白色系の素材が良いでしょう。襟元はなるべく緩めて通気しましょう。また、屋外では帽子や日傘も効果があります。
  - ・**こまめに水分と塩分の補給を行う**：暑い日には汗を多くかいています。水分補給時は水分だけでなく塩分も補給するようにしましょう。喉が渇く前、あるいは暑い環境に出かける前から水分補給する事を心掛けましょう。
- ※万が一熱中症を起こした場合：熱失神や熱疲労の場合は涼しい場所で衣服をゆるめて寝かせ、水分を補給すれば通常は回復するといわれていますが、吐き気や嘔吐があり水分補給ができない場合は病院で点滴を受ける必要があります。

## 来年に向けて！

季節外れではありますが簡単に熱中症についてお話させていただきました。来年の夏、「猛暑」という言葉を耳にしたら、今年の夏をもう一度振り返って（せせらぎを読み返して）対策をうつことで、いくらか過ごしやすくなり、暑い夏を乗り切ることができるかもしれません。

# 介護老人保健施設あやめ

去る6月19日にあやめ開所5周年を祝う会を開催いたしました。

平成18年6月に開所し、5年を迎えました。利用者の皆様をはじめご家族の皆様の方々ならぬ御支援を賜り、お陰様で順調に経過しているところでございます。

今後も今まで以上にサービスの向上、また地域に根ざした施設作りに取り組んでまいりたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

## 《開所5周年を祝う会》

式典では施設長の挨拶の後、開所以来玄関の花壇の手入れをしていただいています『あやめグループ』の皆様に感謝状を贈呈させていただきました。

アトラクションでは新見市の花柳流若竹会の皆様による日本舞踊、米子市のマンドリンクラブ『オトヅレ』の皆様による演奏を披露いただき大いに盛り上がりました。

また、利用者の皆様にも参加いただける『もちつき』を行ないました。「よいしょ、よいしょ」の掛け声の中、職員・利用者様でのもちつきに大盛り上がり。あやめグループの皆様やご家族皆様のお手伝いを頂き、6升の餅を突き上げることができました。

お餅はこの後にぜんざいで頂きました。皆様おいしいと大変喜んでいただきました。



★ご相談

江府町大字武庫475番地

介護老人保健施設あやめ

TEL 0859-75-3230 ・ FAX 0859-75-3280

# ご利用ください！

## ー内科受付が電話でできるようになりましたー

7月11日（月）から、常勤医師の内科受付（当日の午前中受付のみ）が電話でできるようになりました。ただし、当日の内科の再診のみ受付可能です。また、時間の指定はできません。

内科受付対象者 内科（常勤医師）の再診（検査等なし）の患者さま

電話での受付日 開院日の月～金曜日（土曜日は不可）

内科受付時間 午前10時～11時

受付電話番号 0859-72-2733（専用）



### 注意事項

※受付番号と予想診療時間をお伝えします。その時間に外来へ直接お越しください。

※これは予約ではありません

※電話での受付の場合は、内科診察のみとなり検査等はできません。

※内科以外の診療科の受付はできません



## 日野病院「再チャレンジきょうしつ」



1. 研修目的：看護の仕事から一旦離れている看護師の再就職の支援を行う。
2. 研修日程：10月、11月（第1月曜日）
3. 研修場所：日野病院 第一会議室
4. 対象：看護師の免許を取得しており、看護の仕事からしばらく離れている看護師、准看護師の方
5. 服装：軽装（白衣貸与）
6. 参加費：無料
7. 申し込み先：日野病院 看護局 小村 総務課 頭本まで TEL0859-72-0351（代表）  
開催の2週間までにお申し込み下さい。

\*下記のプログラムを準備しておりますが、個人の希望にも対応いたします。

### 8. 日程

時間	内容	時間	内容
10:00～10:10	オリエンテーション	13:00～13:30	=感染防止対策= ・標準予防策について ・手洗いについて ・針刺し事故防止対策について
10:10～10:30	日野病院の看護の概要（看護の動向）	13:30～14:00	=スキンケア= ・褥瘡予防について （ポジショニング、ドレッシング材） ・栄養（胃ろう）について
10:30～11:00	=医療安全= ・医療従事者が遭遇しやすいヒヤリ・ハット事例について	14:00～14:10	休憩
11:00～12:00	=看護技術= ・静脈注射・輸液の基礎知識 ・静脈注射の実際 ・医療器機類の操作方法と注意点 （輸液ポンプ・シリンジポンプ） ・気管内吸引手技	14:10～15:00	=一次救急= ・一次救命の実際
12:00～13:00	*昼食（食事は病院で用意します） *看護スタッフと意見交換など		

# 日野病院組合ニュース

## 看護の心を届ける 「看護の宅配便」

江府町・・・9月・11月・1月・3月  
日野町・・・10月・12月・2月

「看護の宅配便」とは、移動販売を通じて地域住民の生活を守り、また高齢者の見守り活動を積極的に行っておられる、(株)あいきょうの「ひまわり号」との協働活動です。

看護師は、地域の皆様へ診療のご案内や健康相談、健康管理に役立てて頂きたいことなどをお話しさせていただいております。

この活動のきっかけは、「看護の日」のイベントでした。マスコミにも大きく取り上げていただき、地域の方からは「うちのところへはいつ来てごしなあかな」「また来てごしないや」など続けて欲しいという声をいただき、反対にありがたい気持ちでいっぱいになりました。そこで、7月から日野町・江府町を中心に月1回出かけることに致しました。

まだまだ、回数も十分ではなく足りない所もあるかとは思いますが、職員は皆、やりがいを持ち、もっと良い活動にしようと思っております。

ひまわり号の演歌が流れましたら、どうぞ、「看護の宅配便」へお立ち寄り下さい。皆様方とお会いできる日を楽しみにしております。



## 恒例の夕涼み会、今年も頑張りました



7月29日、待合ホールで夕涼み会を開催しました。

オープニングに職員有志による銭太鼓を披露しました。この銭太鼓には、例年の出し物よりも情熱を注ぎ、毎晩遅くまで練習を重ね当日を迎えました。その甲斐があり、即席銭太鼓チームにしてはまずまずの出来だったように思います。そこで一句、「銭太鼓、披露できたが、疲労困憊」字あまり・・・

その他、広島音楽家「孝田夫妻」による心癒されるウクレレ演奏と息の合ったデュエットや、ヨーヨー釣りやボーリング倒し、ソフトクリームの無料サービスなどがあり賑わいました。エンディングは、お馴染み「ジミー柴田」さんの手品で、楽しく夕涼み会を締めさせていただきました。

あっと言う間に楽しい時間が過ぎましたが、みんなで笑顔を共有できた夕涼み会だったと思います。また1年後、更にパワーアップした夕涼み会を披露できるよう頑張ります！お楽しみに・・・



## 玉井名誉病院長に 感謝状贈呈!

玉井先生は、平成13年4月に日野病院に名誉病院長として就任以来、10年余にわたりこの地域の眼科医療に尽力いただいておりますが、本年6月14日の手術で白内障手術患者1,000人を達成されました。

これを受け、8月22日に景山管理者(日野町長)、竹内副管理者(江府町長)、森安副管理者(伯耆町長)から感謝状を、櫃田病院長から記念品を贈呈しました。

当日は小村看護局長をはじめ、看護局の各部署から花束の贈呈もありました。(表紙写真)

## みんなを元気に ねうまつり

7月16日(土)に開催された恒例行事「ねうまつり」に今年も日野病院職員互助会として参加して、赤いハッピを身にまとった約60名の踊り子連が、根雨のまちを踊り歩きました。最後は汗だく、へとへとになりながらも、沿道の声援が力となり踊り終えることができました。来年もぜひ参加したいと思います。

たくさんのご声援と拍手、またご祝儀を頂きましたことに厚くお礼を申し上げます。



## 連絡先

日野病院  
鳥取県日野郡日野町野田332番地  
TEL 0859-72-0351  
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所  
鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地  
TEL 0859-74-0351  
FAX 0859-74-0351

二部診療所  
西伯郡伯耆町二部1554番地4  
TEL 0859-62-0351  
FAX 0859-62-0351



切り取り線

## 患者様の声(改善点)

患者様の声を受け、様々な点で改善をしております。これからお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。(院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。)

また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎外来受診をした際、車イスを使おうと思っただけでしたが、ぜんぜんないので、看護師さんに頼みましたが、時間をかけて探してくれました。病院なのにこんなことではないのでしょいか?どうにかしてください。

車イスの台数について、利用者の方が極端に集中しご指摘のとおり不足したものと恐れられます。再度、院内の車イスの必要台数を確認し、常時不足することのないよう台数を増やし対応しました。

◎待ち時間が長いので、できたら予約制にしたいと思っています。

現在の状況から予約制にすることはできませんが、7月から内科の受付(当日の午前受付のみ)を電話で行えるようにしました。ご利用ください。(詳しくは9ページをご覧ください。)

◎採血用トイレの電気のスイッチが分かりにくいです。

中に入っていただければ電気が点灯するよう、電気のスイッチを感知式に変更しました。(外来のトイレも感知式に変更しています。)

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。



# 日野病院 外来診療案内

最新版 H.23.9.1現在  
午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金	土
内科	一診	午前	熊野健太郎	飯塚和彦※1 (循環器内科)	熊野健太郎	熊野健太郎	松本慎吾 (呼吸器・大学医師)	第2 熊野健太郎
		午後		飯塚和彦※1 (循環器内科)			松本慎吾 (一般内科・大学医師)	
	二診	午前	櫃田 豊	櫃田 豊	今本 龍 (大学医師)	中下聡子※3 (脳神経内科)	櫃田 豊	第4 櫃田 豊
		午後		大学医師	今本 龍 (大学医師)			
	三診	午前		懸樋英一	藤岡洋平※6 (糖尿病)		懸樋英一	
		午後			藤岡洋平※6 (糖尿病)			
	消化器検査	午前	懸樋英一	大谷眞二	今本 龍 (大学医師)	懸樋英一	佐藤尚喜	
禁煙外来	午前	櫃田 豊						
その他検査	午後	懸樋英一				熊野健太郎		
外科	午前	佐藤尚喜	佐藤尚喜	大谷眞二	大学医師	大谷眞二	第4 大谷または佐藤	
整形外科	午前	林 育太	林 育太	岡野 徹 (大学医師)	林 育太	林 育太	第2 林 育太	
眼科	午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※2	魚谷 瞳 (大学医師)	玉井嗣彦	三宅敦子 (大学医師)		
小児科 アレルギー科	午前	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎 (第2・4)	
	午後※4	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎 (第2・4・5)	頭本一郎	頭本一郎		
専門診療科 (大学医師)	午前	泌尿器科 (磯山忠広)	循環器内科※1 (飯塚和彦)	心療内科 (長田泉美)	耳鼻科 (竹内裕美)	呼吸器・大学医師 (松本慎吾)	皮膚科 (第2・4) 心臓外科 (第2・4) 血管外科 (第2) ペースメーカー ※5	
	午後		循環器内科※1 (飯塚和彦)	消化器内科 (今本 龍) 糖尿病外来※6 (藤岡洋平)	脳神経内科※3 (中下聡子)	呼吸器・大学医師 (松本慎吾) 婦人科※7 (月2回)		

## 自動再来受付機による受付時間

- 午前 = 7時30分～11時30分 (診療開始 9時)
- 午後 = 正午～午後4時 (診療開始 午後2時)
- 休診日 ● 日・祝日 ● 毎月第1・第3・第5土曜日
- 毎月第2・第4土曜日の午後 ● 8月14日・15日 ● 12月29日～1月3日

- ※1 循環器内科は隔週です。診察日についてはお問い合わせください。
- ※2 火曜日の眼科受付時間は、10時30分までです。
- ※3 脳神経内科は完全予約制です。受診希望の方は内科を受診して医師にご相談ください。
- ※4 小児科は午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ※5 ペースメーカー外来は偶数月の第4土曜日でのみの診察です。
- ※6 糖尿病外来は第2・4水曜日で完全予約制です。受診希望の方は内科を受診して医師にご相談ください。
- ※7 診察日については、お問い合わせください。

注意 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。  
(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

## 外来診療案内ポケット版

(H.23.9月現在)

		午前 (受付時間は、7時30分から11時30分まで)						備考
診察科目	月	火	水	木	金	第2土	第4土	
内科	一診	熊野 (循内)	熊野 (大学)	熊野 (脳内)	熊野 (呼吸器)	熊野		循内は隔週
	二診	櫃田	懸樋	懸樋	懸樋		櫃田	
	三診							
	禁煙	櫃田						
外科	佐藤	佐藤	大谷 (大学)	大谷 (大学)	大谷		大谷or佐藤	
整形外科	林	林	林 (大学)	林	林	林		
眼科	玉井	玉井	玉井 (大学)	玉井 (大学)	玉井			
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他 (大学)	泌尿器科	循環器内科	心療内科 糖尿病外来 消化器内科	耳鼻科 脳神経内科	呼吸器	皮膚科・心臓外科 血管外科		偶数月
		午後 (受付時間は、12時から16時まで)						備考
診察科目	月	火	水	木	金			
内科		(大学)	(大学)		(大学)			
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本			
その他(大学)		循環器内科	糖尿病外来 消化器内科		婦人科 呼吸器			

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

(切り取って財布等に入れご利用ください)

## 〔編集後記〕

今年の夏を振り返ってみると、夏らしい暑さを感じる事が少ない年であったように思います。長い雨に悩まされた方も多かったのではないのでしょうか？これからの季節の変わり目、体調を崩しやすい時期になってまいります。皆様も、手洗いやうがいなどの徹底など体調管理に心がけてお過ごし下さい。

(木)

切り取り線



櫃田病院長日野町表彰受賞（7ページに関連記事）

今年も新しい年を迎えることとなりました。おめでとうございます。昨年元旦からの大雪で、寒い冬となり皆さんも大変であったと思います。ようやく春になったと思う三月十一日には、東日本大震災が発生し、連動して大津波が海岸を襲い、多くの尊い人命が失われました。又、安全と言われた原発の事故が重なり、今なお復興の目途のたたない状況が続いており大災害の一年でした。

今年こそは着実なる復興と穏やかな年になりますよう祈るのみであります。

さて我が日野病院組合におきましては、地域の皆さんが安心して医療を受けていただくように努力を重ねてまいります。中心となる日野病院、黒坂、二部両診療所、在宅介護支援事業所、介護老人保健施設あやめと、これらの運営が順調に行くよう頑張る所存です。櫃田病院長を先頭にして、医師、職員が一丸となつて、地域の方々の健康を守りながら、ご家庭の幸せを念じつつ、皆さんに頼られる組合を目指します。さらに構成町の福祉、保健事業との連携を今以上に図りながら、暮らし易い、住んで良かったと思っただけの地域づくりを目指したいと思います。ご理解とご協力を願います。新年のごあいさつといたします。



日野病院組合管理者  
景山 享弘

新年の「ごあいさつ」

# 年頭のご挨拶

## 「地域枠」と地域医療教育



長 野 病 院 病 院 長  
田 豊 櫃

明けましておめでとうございます。本年も変わリませず、日野病院組合をよろしくお願いいたします。

さて、医師不足、偏在が叫ばれて久しくなります。その対策のひとつとして、現在多くの大学医学部で入学試験に「地域枠」を設けています。「地域枠」を受験できるのは、原則として地元高校出身者のみです。「地域枠」の学生は、他県からの学生に比較して、将来地元に残る可能性が高いと期待されています。

鳥取大学でも平成18年度に「地域枠」が創設されました。そして、今年の3月末にはその第1陣が卒業する予定です。「地域枠」の定員は当初5人でしたが、平成21年からは「特別養成枠」として5人が追加されたため10人となりました。他大学と同様、在学中は県から奨学金が支給されます。学生が卒業し、2年間の臨床研修を終えた後、県内の病院などで一定期間常勤医師として勤務した場合には奨学金の返還は免除されます。従って、「地域枠」の学生には、事実上、県内での勤務が義務づけられています。

「地域枠」については、さまざまな問題が指摘されています。その1つが、職業選択の自由という観点から、地元での勤務を法的には

強制できないという点です。実際、長崎大学医学部では「地域枠」の学生の40%以上が奨学金を一括返還し、義務としての県内勤務を回避していたそうです。

この長崎県での調査で興味深いのは、自治医科大学出身者にはそうした動きがほとんどなかった点です。自治医科大学は「地域枠」のモデルとなった大学です。同大では在学中の学費などを出身都道府県が貸与します。その費用の返還は、学生が卒業後9年間地元で医療に従事すれば全額免除されます。

自治医科大学では、「地域医療に進んで挺身する気概と高度な医療能力を身につけた医師」、すなわち「総合医」を養成するために徹底した教育が行われます。これが、「地域枠」の学生と比較して、自治医科大学出身者が地域医療に対するモチベーションを高く維持できる理由と思われる。「地域枠」に限らず、学生を地元に残すためには大学での教育が重要なのです。

鳥取大学では、鳥取県の協力のもと一昨年に「地域医療学講座」（谷口晋一教授）が新設されました。同講座の研究目的の1つは、地域医療を担う人材を育成するための教育、すなわち地域医療教育の方法論の開発です。その一環として、昨年、日野病院を始め県内の多数の病院、診療所が参加して「地域医療体験実習」が実施されました。鳥取県の医療の維持・発展に果たす「地域医療学講座」の役割は今後ますます大きくなると思われる、日野病院組合としても大いに協力したいと考えています。

※地域医療学講座の学生が、日野病院で体験実習を行った様子を、外来ロビー横で展示しています。ご覧下さい。

# 新春所感

## —初夢の実現を祈りつつ—



日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、晴れ晴れと希望に満ちた新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

私は鳥取大学を定年退官後、日野路の日野病院に名誉病院長として赴任してから、早くも11度目の新春を迎えました。

私の専門は眼科ですが、眼科医の最大の喜びは、治療によって患者さんともども、ご家族も含めて「見えることの幸福」を分かち合えることにあります。不幸にして見えなくなった患者さんを前にして、途方にくれている初夢を見ましたが、エレクトロニクスの驚異的な進歩と生命科学との融合による生命工学の発達は、ハイテクの視覚プロテーゼ（人工網膜）などの開発を一層促進し、初夢の前途に光明をともしています。

人工網膜に関しては、チュービンゲン大学のツレナー教授らの研究グループは、微小電極を付けたマイクロ・フォトダイオードを数千個、直径3ミリの薄い円盤状の珪素製チップに塗布し、網膜下に装鎮する実験を家兎で行っています。このインプラントに光が当たると微小電極が無傷の神経細胞を刺激して、見た時と同じような像が視神経から脳へ伝えられるものと考えられています。

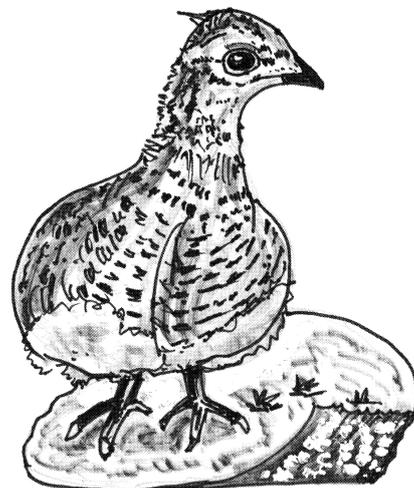
人眼には、大阪大学の不二門尚教授のグループが一昨年11月に、網膜色素変性で10年以上前に失明した2人の女性患者に、眼球壁移植用のハイテク視力補助具（49の電極が付いた約7ミリ四方の白金製のチップ）を強膜に装着後、女性の額に取り付けたCCDカメラでとらえた映像をチップに送って視覚化することに成功し、2人はパソコン画面上の光を指で追うことが出来るまでに回復したと報告しています。

乗り越えるべきハードルはまだありますが、わが国の中途失明原因の第3位である網膜色素変性患者ばかりでなく、眼球後極部の黄斑変性によって網膜が著しく破壊された視機能障害者にも、大きな文字が読め、杖がなくても歩ける時代が再び到来すると固く信じられています。

近未来の治療法である遺伝子治療、人工多能性幹細胞（iPS細胞）を用いた網膜再生療法、視細胞保護治療などの研究も人工網膜と同様に飛躍的に進歩しており、今後目が離せない領域になっています。

辰年に当たり、この種の研究が竜のごとく一段と飛翔し、発展することを祈って止みません。

皆様はどのような初夢をごらんになったでしょうか。



A. Tamai

（カットは玉井名誉病院長）

# 介護老人保健施設あやめ

10月～11月と気候もよく、様々な外出やレクリエーションを行い、皆様楽しんでいただきました。その一部になりますが紹介します。

## 《通所リハビリテーション》

10月18日、19日に、秋の大運動会を開催しました。毎年恒例となったこの行事、今年も青組と赤組に分かれ、この日のために職員が考えた競技を面白おかしく、皆様協力して挑まれました！各競技、チーム一丸となって声援しあい白熱した運動会となりました。

～プログラム～

1. 選手宣誓
2. ラジオ体操
3. 紐取り競争
4. ボトル倒し
5. 豆入れ競争
6. パン食い競争
7. 花吹雪（玉入れ）
8. 表彰式



## 《入所サービス》

### 大運動会

2階ではフロアで水入れ競争などで盛り上がりました。

3階ではリハビリ室で玉入れ競争・パン食い競争など行いました。

皆様「笑顔満載」でした。



### もみじ狩り

今年の紅葉は例年に比べ枯れたような色合いでしたが、外出は気分転換にもなり、滝山公園・大山みるくの里・とっとり花回廊・俣野ダム等へ出掛けました。

皆様新鮮な空気をおなかいっぱい感じておられました。



★ご相談

江府町大字武庫475番地

介護老人保健施設あやめ

TEL 0859-75-3230 ・ FAX 0859-75-3280



リハビリテーションスタッフがリレー形式で皆様のお役に立つような情報・お話を掲載しています。

## ～口腔ケアに便利な道具～

口腔の衛生管理はどんな時でも重要です。口腔ケアといえはまず歯みがきですが、歯のない方にも口腔ケアは重要です。口腔ケアは口の乾燥を防ぎ、唾液の分泌を促し、感染予防にもなります。

今回は、自分で口腔ケアができる方にはもちろん、自分で口腔ケアができない方に行う際にも便利な口腔ケアの道具をご紹介します。(ここでご紹介したグッズは日野病院の売店でも購入することができます。詳しくは日野病院リハビリテーション室までお問い合わせ下さい。)



### スポンジつきブラシ

先の部分がスポンジになっていて紙軸の棒がついています。うがいのできない方の口腔内の汚れをふき取ったり、口腔内を湿らせたりするのに使います。水分が口の中にぽたぽた落ちないように、濡らした後スポンジ部分をしっかりと絞って使います。

### 口腔用保湿剤

口腔内が乾燥する時に使うジェル状の保湿剤です。歯ぐき、上あご、唇などに薄く塗って使います。口腔ケアをして汚れを落としてから塗ります。



### 口腔粘膜清掃用ブラシ

先端についているブラシが球状になっていて、舌の上・上あごの汚れをからめとり清掃することができます。また頬の内側から頬をマッサージすることもできます。ブラシ部分を濡らして使いますが、水気をよく切って使います。



1. 歯ぐきと頬の間の粘膜にブラシを軽く押し当てます。
2. 矢印のように上から下、下から上へ動かし清掃します。

# すまいる互々版

## ◇ナースの知恵袋◇

～訪問介護～

### 在宅介護支援事業所



家がええなあ♪

ご自宅で療養中の穏やかな笑顔と表情♪  
ご訪問看護サービスが実現します☆

インフルエンザが流行する季節となりました。  
インフルエンザの流行時期は、おおむね1月～3月です。  
予防対策をしっかりと行い、インフルエンザに罹らないように  
しましょう

#### 【予防対策】

- \* 栄養と休養を十分とる
- \* 人ごみをさける
- \* 適度な温度、湿度を保つ（インフルエンザウイルスは、低温、低湿を好み、乾燥しているとウイルスが長時間空気中にたどっています。）  
→定期的な換気も効果的です。
- \* 外出後の手洗いとうがいの励行
- \* マスクを着用する

#### 【正しいうがいの仕方】

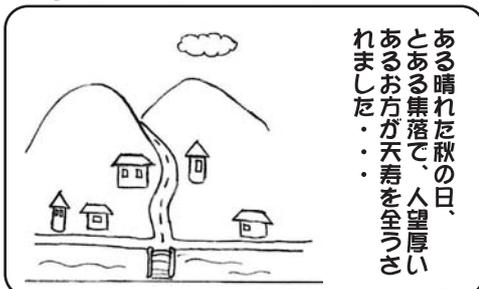
☆□の中をうがいにより洗い流すことで  
ウイルスや細菌などの数をへらす事ができます。

- ①水を口に含みます。
- ②少し強めに「ブクブク」とゆすいで吐き出します。
- ③水を口に含んで上を向き、のどの奥で「ガラガラ」とうがいをします。（10～15秒くらい）
- ④もう一度、③を繰り返す。



お悩み解決!

### すまいる\*エンジェルズ

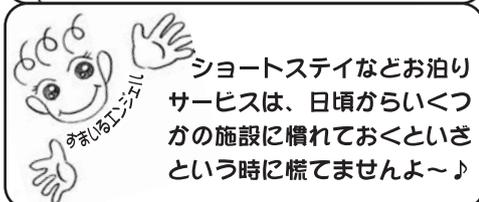


ある晴れた秋の日、  
とある集落で、人望厚い  
あるお方が天寿を全うさ  
れました。



葬儀当日には  
ショートステイの希望が  
殺到!!

サービス調整に  
ケアマネも奮闘中!



ショートステイなどお泊り  
サービスは、日頃からいくつ  
かの施設に慣れておくといざ  
という時に慌てませんよ～♪



なじみの施設を  
希望通りご利用♪  
Aさま\*ご家族

使えるまでヒヤ  
ヒヤでした・・・  
Bさま\*ご家族

### こんにちは♪ 居宅介護支援事業所です

在宅介護に奮闘されるご家族より、介護保険サービス利用についての感想を寄せていただきました。まだ介護保険サービスに馴染みのない方やご検討中の方々にその様子をお伝えします!

○退院後の刺激の少ない夫の生活に、これではと感じていた時、すまいるさんから通所サービスの利用を勧めていただきましたが本人の気持ちがかたがた困っていました。しかし、皆さんのお陰で1歩踏み出すとリハビリや入浴、様々な行事に参加し週に5日も利用できる様になりました!! 本人はもとより私も精神的・物理的に気持ち良く毎日が送れるようになり、このような介護の支援が本当にありがたいことだと思っています。(M. U)

☆貴重なご意見ありがとうございました。

これからも地域の暮らしを支えるお手伝いに日々奮闘していきます。



11/19-20 日野町民ミュージカル  
♪きらり☆このまち♪当居宅ケアマネも  
出演しました♪(どこかな?)

### Let's! おうちでエクササイズ ～訪問リハビリ～

年末年始はご馳走を食べる機会が多く、体重の増加が気になるシーズンです。体重を減らすためには「エネルギー摂取＜エネルギー消費」となれば良いといわれています。運動といっても何かと忙しいこのご時世、続けることはなかなか難しいですよね。しかし! 意外と家事動作でもいい運動になっていることがあります。ご自身の生活習慣にあった運動を行ってみてはどうでしょうか。

\* 弱い運動 (代謝率: 1~2.5)  
ゆっくり歩く・靴磨き・洗濯干し・  
掃き掃除・手洗い洗濯・アイロン  
かけ・掃除機・草むしり・入浴

\* 普通の運動 (代謝率: 2.5~6)  
自転車・雑巾がけ・布団上げ下ろし・  
階段昇降・サイクリング・急ぎ足  
布団干し

# 櫃田病院長日野町表彰受賞！

11月11日、櫃田病院長が日野町表彰を受賞しました。

これは、多年にわたり日野病院長として、また一人の診療医として、昼夜を問わず献身的に精勤し、住民からの厚い信頼を受け、地域医療の発展と日野病院の健全経営や質の向上に尽力した櫃田病院長の功績が、日野町表彰の医療福祉功労の該当となったものです。



当日は、景山日野町長から表彰状と記念品が授与され、佐々木議長から祝辞がありました。

## 平成24年度 日野病院組合看護師育成奨学金奨学生募集！！

日野病院組合では、平成24年度の看護師育成奨学金の貸付けを希望される看護学生又は看護生を目指している方を募集します。

将来、日野病院組合（日野病院又は介護老人保健施設あやめ）に就職した場合には奨学金の返還を免除する規定もあります。

関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

○募集期間：平成24年2月1日（水）から2月29日（水）まで

○応募・問合せ先：〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合 事務局総務課 頭本（かしらもと）

TEL 0859-72-0351 FAX 0859-72-0089

資 格	看護を履修する学校等に在籍（応募時点では、入学見込で可）し、卒業後に看護師として病院又は介護老人保健施設に勤務する意思を有すること。ただし、高等学校及びその高等学校の専攻科において看護師を養成する課程を設ける学校等に在学する者にあつては、その学校等の専攻科に在籍する者に限る。	
募 集 人 数	若干名	
貸 与 額	月額50,000円以内（無利子）	
貸 与 期 間	貸付けを受けた月から卒業する月まで	
奨 学 金 の 返 還	期 間	貸付けを受けた期間の倍の期間
	金 額	月賦の均等払方法により、貸付けを受けた金額（月額）の半分の金額ずつを返還
返 還 の 免 除	貸付けを受けた金額の返還義務期間に日野病院組合（日野病院又は介護老人保健施設あやめ）に勤務した場合には、その勤務した期間について返還を免除します。 ※この奨学金の貸与が日野病院組合への採用を約束するものではありません。	

# 日野病院組合ニュース

## 外来インフォメーションシステム稼働

ー 10月31日から外来インフォメーションシステムが稼働していますー



(食堂の様子)

平成23年12月20日(火曜日)					
内科1 櫃田	35	外科 大谷	11	小児科 頭本	8
内科2 松波	28	整形 林	37	—	—
内科3 熊野	22	眼科 玉井	23	—	—

このインフォメーションシステムは、外来待合ロビーのほかに、食堂や外来待合棟にも設置してあります。

当日の診療科及び担当医師と、その進行状況が受付番号により表示されます。また、外来診察変更の予定や緊急連絡なども番号表示の下に表示しています。

今までは、診療科の前しか番号表示がなかったため、その診療科の前を離れることができずご迷惑をおかけしていました。

このインフォメーションシステムは、外来ロビーのほかに食堂や外来待合棟（病院正面玄関横の建物）にも設置してあり、どこでも診察の進行状況がわかりますので、検査等が終わり診察のみをお待ちの患者さまは、外来ロビー以外でも待ついただけるようになりました。

## 全国学会で発表しました

10月19日、20日に東京国際フォーラムで開催された、全国自治体病院学会第50回記念大会で、以下3題を発表しました。

- ・中山間地における自治体病院附属診療所の意義と問題点
- ・中山間地における地域の見守り活動に参加して見えてきたこと  
～参加看護師との面接を通じて～
- ・移動販売車と協働による中山間地における地域の見守り活動  
～取組みの目的と活動内容～

## チューリップの球根植え

11月29日、今年もひのっこ保育所の園児たちが、正面ロータリーや黒坂診療所に置くプランターにチューリップの球根を植えてくれました。職員に「球根が風邪をひくので土をかけてあげてね」などと教えてもらいながら、楽しそうに球根を植えていました。



入院患者への江尾診療所口腔外科往診のため、江府町から歯科チェアを設置していただきました。ありがとうございました。

## 日野病院からの贈り物

12月10日に日野病院でクリスマスイベントを開催しました。今回も職員で結成されたハンドベル部によるハンドベルの演奏から始まり、練習の成果をみなさんに披露することができました。その後、荘ビューティーズによる華麗な踊りで場内は盛り上がりました。そしてゴスペルオーブさんのミニライブでは、美しい歌声と寒さも吹き飛ばすパワフルなパフォーマンスで元気をいただきました。

患者さん、地域のみなさんたちにとっても喜んでいただき、ささやかですが日野病院からのクリスマスプレゼントを贈ることができたと思います。



## 患者様の声(改善点)



このコーナーでは、患者さまからいただいた意見（お褒めやお礼の言葉・苦情・提案等）の中から提案や改善項目に対する回答を紹介しています。

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。これからもお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。）また、日野病院のホームページの「意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎エレベーターに「開く」「閉じる」のシールを貼ってほしい。表示がわかりにくいです。

各エレベーターに「あく」「じじる」の表示をしました。

◎腰痛のため病院の手押し車の世話になり院内の用を達していませんが、最近現場に行ってみても何日も手押し車がありません。杖を頼りに歩行していますが、薬局往復などに困ります。手押し車を増車していただけないでしょうか。

院内には手押し車が3台設置してあります。設置場所に手押し車がない場合は職員に声をお掛けください。また、積雪時などの安全管理のため、病院が設置している手押し車については、院外での使用をご遠慮いただきたいと思います。ご理解とご協力をお願いします。

◎朝の受付について、7時30分開始ですが既に20人〜40人位並んで待っておられます。老人の方や体の不自由な方などいろいろです。また、カードを入れる機械操作がうまくいかなかったり、機械自体の調子が悪い時など多くあります。7時30分の開始時間から15分〜20分くらい、受付をサポートしてくださる職員の配置をしていただければと希望いたします。

再来車受付機の設置について、以前は職員が8時30分から受付窓口で受け付けを行っていましたが、患者サービス（検査の迅速化等）のため、受付機を設置し7時30分から受け付けを行っています。この時期は特に、インフルエンザ予防接種の受け付けで、機械操作が複雑となっておりますので、職員を配置したいと考えています。再来車の使用等について困りの患者さまは、お気軽に職員にお尋ねください。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

## 日野病院組合職員の給与等の状況（平成23年4月1日現在）

●職員の平均給料月額、平均年齢及び職員数（23年度当初予算より）

区分	一般行政職	現業職	医療職	医療技術職	看護職	福祉職
平均給料月額	284,102円	249,775円	468,425円	238,108円	295,262円	192,771円
平均給与月額	320,693円	266,725円	1,050,895円	281,803円	350,149円	238,860円
平均年齢	46.4歳	49.5歳	44.6歳	34.6歳	46.0歳	30.5歳
職員数	16人	4人	7人	29人	61人	14人

※平均給与月額については、期末勤勉手当を除く。

## 連絡先



日野病院  
鳥取県日野郡日野町野田332番地  
TEL 0859-72-0351  
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所  
鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地  
TEL 0859-74-0351  
FAX 0859-74-0351

二部診療所  
西伯郡伯耆町二部652番地1  
TEL 0859-62-0351  
FAX 0859-62-0351

切り取り線

# 日野病院 外来診療案内

最新版 H.24.1.1現在  
午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金	土
内科	一診	午前	松波馨士	飯塚和彦※1 (循環器内科)	藤岡洋平※6 (糖尿病)	櫃田 豊	松本慎吾 (呼吸器・大学医師)	
		午後		飯塚和彦※1 (循環器内科)	藤岡洋平※6 (糖尿病)		松本慎吾 (一般内科・大学医師)	
	二診	午前	櫃田 豊	櫃田 豊	今本 龍 (大学医師)	中下聡子※3 (脳神経内科)	松波馨士	第4 松波馨士
		午後			今本 龍 (大学医師)			
	三診	午前		懸樋英一	熊野健太郎	熊野健太郎	懸樋英一	第2 熊野健太郎
		午後						
	消化器検査	午前	懸樋英一	大谷眞二	今本 龍 (大学医師)	懸樋・松波	佐藤尚喜	
禁煙外来	午前	櫃田 豊						
その他検査	午後	懸樋・松波				熊野・松波		
外科	午前	佐藤尚喜	佐藤尚喜	大谷眞二	大学医師	大谷眞二	第4 大谷または佐藤	
整形外科	午前	林 育太	林 育太	岡野 徹 (大学医師)	林 育太	林 育太	第2 林 育太	
眼科	午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※2	大谷史江 (大学医師)	玉井嗣彦	三宅敦子 (大学医師)		
小児科 アレルギー科	午前	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎 (第2・4)	
	午後※4	頭本一郎	頭本一郎	頭本一郎 (第2・4・5)	頭本一郎	頭本一郎		
専門診療科 (大学医師)	午前	泌尿器科 (磯山忠広)	循環器内科※1 (飯塚和彦)	心療内科 (長田泉美)	耳鼻科 (竹内裕美)	呼吸器・大学医師 (松本慎吾)	心臓外科 (第2・4)	
	午後		循環器内科※1 (飯塚和彦)	消化器内科 (今本 龍) 糖尿病外来※6 (藤岡洋平)	脳神経内科※3 (中下聡子)	呼吸器・大学医師 (松本慎吾) 婦人科※7 (月2回)	血管外科 (第2) ペースメーカー ※5	

## 自動再来受付機による受付時間

- 午前 = 7時30分～11時30分 (診療開始 9時) ● 午後 = 正午～午後16時 (診療開始 午後14時)
- 休診日 ● 日・祝日 ● 毎月第1・第3・第5土曜日
- 毎月第2・第4土曜日の午後 ● 8月14日・15日 ● 12月29日～1月3日

- ※1 循環器内科は隔週です。診察日についてはお問い合わせください。
- ※2 火曜日の眼科受付時間は、10時30分までです。
- ※3 脳神経内科は完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。
- ※4 小児科は午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ※5 ペースメーカー外来は偶数月の第4土曜日でのみの診察です。
- ※6 糖尿病外来は第2・第4水曜日で完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。
- ※7 婦人科の診察は月に1回異なります。診察日についてはお問い合わせください。

注意・医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

- ・1月から皮膚科が休止となりました。

〈編集後記〉  
新しい年を迎え気持ちの引き締まる思いがします。お正月のご馳走もそろそろ胃の負担になる頃ではないでしょうか？七草粥は平安時代には行われていたそうですが、室町時代の汁物が原型ともされています。祝膳や祝酒で弱った胃を休める為と言われていますが、皆さんもそろそろ胃を休めませんか？一年の無病息災を願って・・・  
(森)

## 外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から11時30分まで) (H.24.1月現在)

診察科目	月	火	水	木	金	第2土	第4土	備考
内科	一診	松波 (循内)	(糖尿病)	櫃田 (呼吸器)				循内は隔週
	二診	櫃田	櫃田 (消化器)	松波 (脳内)	松波		松波	
	三診		懸樋	熊野	熊野	懸樋	熊野	
	禁煙	櫃田						
外科	佐藤	佐藤	大谷 (大学)	大谷			大谷or佐藤	
整形外科	林	林 (大学)	林	林	林			
眼科	玉井	玉井 (大学)	玉井	玉井 (大学)				
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他 (大学)	泌尿器科	循環器内科	心療内科 糖尿病外来 消化器内科	耳鼻科 脳神経内科	呼吸器			心臓外科 血管外科
								ペースメーカー 偶数月

午後 (受付時間は、12時から16時まで)

診察科目	月	火	水	木	金	備考
内科			(大学)		(大学)	
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他(大学)		循環器内科	糖尿病外来 消化器内科		婦人科 呼吸器	

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。  
(切り取って財布等に入れご利用ください)

切り取り線

## 編集後記

平成23年5月12日、看護の日イベントの開催にあたり「看護の宅配便」を実施しました。以来、この事業は毎月実施する事業となり、各方面から注目を浴びることとなりました。「看護の宅配便」は、テレビや新聞等マスコミにも取り上げられ、鳥取県内はもとより全国に発信する事業となりました。

なお、10月には、東京で行われた「全国自治体病院学会」において、この活動を題材に2例の研究発表も行いました。

また、外来患者サービスの向上を図るため、日野病院が独自に作ったインフォメーションシステムを設置しました。

このシステムは、外来診察の進行状況や病院からのインフォメーションを、外来待合以外の食堂等から、また携帯電話やインターネットを利用することにより院外からも見ることができ、他病院や病院関連業者から関心を寄せられ、現在、他病院での設置も検討されています。

平成23年度は、日野病院の色々な活動を、院内に留まらず各方面に向けて発信した年となったのではないのでしょうか。

さて、経営状況は、平成19年度から5年連続の黒字決算を計上することができ、目標であった剰余金への転換が目前に見えてきました。ただ、周辺人口の減少は著しく、予断を許さない状況は今後も続きます。

来年は電子カルテ導入事業という、日野病院にとって大きな事業が予定されています。無事導入が終了し、患者サービスの向上に繋がることを祈っています。

日頃から日野病院を支えていただいている皆さんに心から感謝し、来年の年報もよい報告ができるよう職員一同、更にながらばっていきたくと思っています。

おわりに、年報の編集にあたり資料の提供等協力いただいた関係者の皆さんにお礼申し上げます。

日野病院事務局長 生田 哲二

発 行

日野病院組合 日野病院広報委員会

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田 332 番地

Tel : 0859-72-0351 Fax : 0859-72-0089

URL : <http://www.hinohp.com/>